(2)路面電車沿線地域アンケート調査(住民)

【対象者用】

路面電車沿線住民アンケートのお願い

平素より本市の都市交通行政に対しまして、ご理解、ご協力をいただき御礼申し上げます。
現在、本市では、快適に過ごせるまちづくりを目指して、交通に関する計画づくりを進めています。
つきましては、計画づくりの基礎資料とするために、市民の皆様に対して、アンケート調査を実施いたします。
なお、アンケート調査票にご記入いただいた回答は統計的に処理をいたしますので、個人が特定されることはありません。また、アンケート調査票の内容を他の目的に使用することは一切ございません。
ご協力をお願いいたします。

２０２４年１０月　豊橋市

web 回答、または、紙の調査票(郵送にて返送)のいずれかを選択して、【2024年10月21日(月)まで】にご回答ください。

【本アンケートについて】

○このアンケート調査用紙は、豊橋市に居住する方のうち路面電車の沿線にお住まいの方を対象に、住民基本台帳から無作為に抽出された方にお送りしています。
○アンケート調査用紙は、**【封筒の宛名のご本人様用】１票（本調査票）**、**【家族用】３票**を封入しています。15歳以上の同居の方全員のご回答をお願いします。
（15 歳以上の方が５名様以上いらっしゃる場合は、封筒の宛名のご本人様と、外出機会の多い３名様までご記入をお願いします。）

【web 回答方法】

○各調査票（本調査票は２ページ、家族用は１ページ）にある QRコードを読み取り、回答フォームに沿ってお答えください。
回答の際には、**回答票番号(数字 4 桁)をご入力の上、**ご回答ください。
※調査結果の正確性確保のため、同じ回答票番号を複数人で使い回したり、おひとりで何度も繰り返し回答された場合は、集計から除外する場合があります。

【紙の調査票の回答方法】

○この調査票の回答票番号により web で回答した場合、紙の調査票として使用しないで下さい。
○アンケートへのご回答は、２ページ以降、調査票の各設問に沿ってお答えください。
○回答欄の番号に○印をつけていただくか、回答欄の（　　）に必要事項をご記入ください。
○回答は、調査票に直接書き込んでください。
○ご回答いただいたアンケート調査票は、同封の返信用封筒に入れていただき、
切手を貼らずに 2024 年 10 月 21 日(月)までに、お近くの郵便ポストに投函してください。

≪問合せ先≫
豊橋市役所　都市計画部　都市交通課（担当：加藤、高野）
電話：(0532) 51-2620（代表）
≪調査委託先≫
中央復建コンサルタンツ株式会社　事業創生グループ（担当：須賀）
電話：(03) 3511-2030

- 1 -　　0001

路面電車沿線住民アンケート調査票【封筒の宛名のご本人様用】

《WEB フォームからご回答いただく場合》

右の URL または二次元バーコードから、回答フォームにアクセスし

以下の回答票番号（数字 4 桁）をご入力の上、ご回答ください。

回答票番号：0001

https://questant.jp/q/romen_taisyousya

※この調査票の回答票番号により web で回答した場合、紙の調査票として使用しないで下さい。

※調査結果の正確性確保のため、同じ回答票番号を複数人で使い回したり、お一人で何度も繰り返し回答された場合、集計から除外する場合があります。

問１：世帯の状況について、以下の設問にお答えください。

設問 No	設問・選択肢
1－1	**ご自宅の住所をご記入ください。（町丁目単位まで記入）** 豊橋市（＿＿＿＿＿＿＿＿）町・丁目　字（＿＿＿＿＿＿＿＿） ※字名までご記入ください。
1－2	**お住まいの小学校区を選んでください。** 1．東田　2．旭　3．鷹丘　4．松山　5．新川　6．向山　7．松葉 8．八町　9．岩田　10．豊　11．多米　12．校区が分からない
1－3	**ご家族の人数をご記入ください。** （＿＿＿＿＿＿）人家族 《内訳を教えてください》 未就学児（＿＿＿＿＿＿）人　中学生（＿＿＿＿＿＿）人 小学生（＿＿＿＿＿＿）人　高校生（15 歳）以上（＿＿＿＿＿＿）人 高齢者（65 歳）以上（＿＿＿＿＿＿）人
1－4	**豊橋市に住み始めてから何年ぐらい経ちますか？** 1．2 年以内　2．5 年以内　3．10 年以内　4．20 年以内　5．21 年以上
1－5	**世帯で所有されている「自動車」の保有台数を選んでください。** 1．1 台　2．2 台　3．3 台　4．4 台以上　5．自動車を持っていない
1－6	**世帯で所有されている「自転車」の保有台数を選んでください。** 1．1 台　2．2 台　3．3 台　4．4 台以上　5．自転車を持っていない
1－7	**最寄の路面電車の電停を選んでください。** 1．駅前　2．駅前大通　3．新川　4．札木　5．市役所前　6．豊橋公園前 7．東八町　8．前畑　9．東田坂上　10．東田　11．競輪場前　12．井原 13．赤岩口　14．運動公園前
1－8	**「1－7」で選んだ最寄の路面電車電停までの、徒歩での所要時間を選んでください。** 1．1～2 分　2．3 分以内　3．5 分以内　4．10 分以内　5．15 分以内 6．15 分以上　7．分からない

本アンケートにご回答いただくにあたって、、、

【公共交通をとりまく環境について】
○長期的な利用者の減少、コロナ禍の影響による急激な落ち込みもあり、公共交通事業者の経営環境は悪化し、
　コロナ禍後も利用者数がコロナ以前の水準までには回復していない状況
○全国の多くの路線バス・地域鉄道事業者が赤字となっており、回復の見通しが厳しい
○労働時間に関する規制変更に伴う「2024 年問題」もあり、人手不足が深刻化する中で、路線の維持が課題

今後の安定的な公共交通サービスの提供が全国的な課題であり、豊橋市も同様の課題を抱えている状況

豊橋市では、公共交通の運行や設備投資への支援をはじめ、利用促進を行っています

上記を踏まえ、皆様の回答のご協力をお願いいたします。

問２：回答者ご自身のことについて、以下の設問にお答えください。

設問 No	設問・選択肢
2－1	**あなたの性別・年齢を選んでください。** 1. 男性　2. 女性　3. 回答しない　年齢：(＿＿＿歳)
2－2	**あなたの職業を選んでください。（１つ選択）** 1．中学生　2．高校生　3．大学・短大・専門学校生 4．会社員・公務員　5．自営業　6．農林漁業 7．アルバイト・パート　8．専業主婦（夫）　9．無職 10．その他（＿＿＿＿＿＿＿＿）
2－3	**あなたの自動車の免許証の保有状況を選んでください。（１つ選択）** 1．免許証を持っている（自由に使える自動車などがある） 2．免許証を持っている（自由に使える自動車などがない） 3．免許証を持っていない

問３：公共交通に関する取組みのあり方について、以下の設問にお答えください。

設問 No	設問・選択肢
3－1	**豊橋市では、市民１人ひとりが公共交通への理解と関心を深め、みんなで公共交通を維持・活性化させることを目的とした、「豊橋市の公共交通をともに支え育む条例」（平成 29 年４月１日施行）に基づき、様々な交通施策に取り組んでいます。** **このことについて、あなたはご存知でしたか。該当する番号を選んでください。（１つ選択）** 1．条例の内容に基づいて実際に行動している　2．条例をつくったこともその内容も知っている 3．条例をつくったことだけは知っている　4．全く知らなかった
3－2	**「豊橋市の公共交通をともに支え育む条例」では、市民の役割として「公共交通への理解と関心を深めるよう努める」とともに「過度に自家用車に頼ることなく、公共交通を積極的に利用するよう努める」ことが謳われています。** **今後、あなたはどのように行動したいか教えてください。（複数選択可）** **※同封の「豊橋市の公共交通をともに支え育む条例」パンフレットをご参照ください。** 1．これまでと同様に、公共交通への理解を深める 2．今後は、公共交通への理解を深めようと思う 3．公共交通の活性化に関するイベントなどがあれば積極的に参加する 4．これまでと同様に、過度に自家用車に頼ることなく公共交通を積極的に利用する 5．今後は、過度に自家用車に頼ることなく公共交通を積極的に利用しようと思う 6．今後は、これまで自家用車を利用していた移動を、公共交通に変えようと思う →具体的な移動：＿＿＿＿＿＿　から　＿＿＿＿＿＿　への移動に公共交通を利用 7．特に行動を変えようとは思わない

設問 No	設問・選択肢
3－3	**市民とともに公共交通を支える方策について、あなたのお考えを教えてください。（複数選択可）** 1. 市民全体に対する財源確保策（交通税）を設ける 2. 交通事業者の施設や設備を行政が保有するなど、市が主体的に関与する 3. 利用運賃を値上げする 4. 市民や利用者の有志が、利用運賃に加えて、公共交通維持のための費用を支払う 5. 現在の財源の中で公共交通に関する予算を増額して他の予算を減額し、より積極的に支援を行う 6. 現在市が公共交通に対して行っている支援を続ける 7. 市は支援する必要はない
3－4	**過度に自家用車に依存しないためには、次のうちどれが最も有効と思いますか？（２つまで選択可）** 1. 公共交通のサービスなどを高め、利用しやすくすること 2. 自転車の走行や駐輪の環境などを整備して、利用しやすくすること 3. ゆとりや憩いが感じられる歩道などを整備して、歩きやすくすること 4. 市民が自ら自家用車の利用を控える意識を高めること 5. 地域拠点※に、医療・福祉・商業など様々な都市機能を集約化したまちをつくること ※地域拠点：南栄駅周辺、 川駅周辺、井原停留場周辺、藤沢町周辺、大清水駅周辺、和田辻停留所周辺 6. 新技術※を活用した新たなサービスを導入することで、自家用車以外の移動がしやすくなること ※新技術：自動運転バスなど 7. その他（＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

問４：路面電車の利用について、以下の設問にお答えください。

設問 No	分類	設問・選択肢
4－1	**利用頻度（１つ）**	1．ほとんど毎日　2．週２～３日程度　3．週１日程度　4．月に２～３日程度　5．月に１日程度　6．年に数回 } **問４－２～５をお答えください** 7．利用していない **→５頁目の問４－６へ進んでください**
4－2	**利用目的（複数選択可）**	1．通勤　2．通学　3．買い物　4．通院・福祉サービス 5．行政・金融サービス　6．レジャー・社交　7．塾・習い事 8．業務　9．その他（＿＿＿＿＿＿）
4－3	**最寄の電停のほかに、よく利用する電停（複数選択可）**	1．駅前　2．駅前大通　3．新川　4．札木　5．市役所前 6．豊橋公園前　7．東八町　8．前畑　9．東田坂上　10．東田 11．競輪場前　12．井原　13．赤岩口　14．運動公園前
4－4	**主な目的地（１つ）**	**1．目的地が豊橋市内の方：町・丁目単位までの住所をご記入いただくか、または目的地の住所が分からない場合は施設名や学校名などをご記入ください。** 豊橋市（＿＿＿＿）町・丁目 または、施設や学校名（＿＿＿＿＿＿） **2．目的地が豊橋市外の方：市町村単位までの住所をご記入ください。** （＿＿＿＿）市・町・村

設問 No	分類	設問・選択肢
4－5	路面電車を使う理由 （複数選択可）	1．目的地に速く行けるから　2．運行本数が多いから 3．運賃が安いから　4．時間通りに行けるから 5．自宅と電停が近いから　6．電停を降りてからが便利だから 7．サイクル＆ライド駐輪場があるから 8．電停に駐車場があるから　9．朝早い時間から運行しているから 10．夜遅くまで運行しているから 11．安全だから　12．他に交通手段がないから 13．目的地に駐車場がないから　14．車を運転できないから 15．他人の送迎に頼らないようにしているから 16．お酒を飲む機会があるから　17．座れるから 18．健康維持によいから　19．環境によいから 20．利用促進に貢献するため　21．その他（＿＿＿＿＿＿＿＿） **→問５へ進んでください**
4－6	路面電車を使わない理由 （複数選択可）	1．目的地に行くのに時間がかかるから 2．運行本数が少ないから　3．時間通りに来ないから 4．運賃が高いから　5．電車やバスを乗り継ぐと運賃が高くなるから 6．自宅と電停が遠いから　7．電停を降りてからが不便だから 8．豊橋駅での乗換えが不便だから　9．最寄の電停に駐輪場がない・足りないから 10．最寄の電停に駐車場や車の待機場所がないから 11．始発の時間が遅いから　12．最終の時間が早いから 13．電停で待ちにくい・危険だから　14．他に利用できる交通手段があるから 15．目的地に駐車場があるから　16．自由に利用できる車があるから 17．送迎してくれる家族や知人がいるから 18．車両の乗り降りがしにくいから　19．車内が混雑しているから 20．その他（＿＿＿＿＿＿＿＿）

問５：路面電車の必要性についてお答えください。

設問 No	分類	設問・選択肢
5－1	ご自身にとっての必要性 （１つ）	1．現在利用しているので、必要である 2．現在は利用していないが、今後は必要と思う　**→問 5-1（１）へ進んでください** 3．現在も今後も不要である　**→問 5-1（２）へ進んでください** 4．分からない　**→６頁目の問５－２へ進んでください**
5－1（１）	ご自身に必要と思う理由 （複数選択可）	1．日常生活の外出を支えるもの　2．気軽な外出を支えるもの 3．安い運賃での外出を支えるもの　4．時間通りの外出を支えるもの 5．安心・安全な外出を支えるもの　6．雨などの天気が悪い時の外出を支えるもの 7．健康維持を支えるもの　8．人との交流や出歩くために欠かせないもの 9．車が使えない時の外出を支えるもの 10．送迎者がいないときの外出を支えるもの 11．将来、高齢になって車が運転できなくなった時の外出を支えるもの 12．その他（＿＿＿＿＿＿＿＿） **→６頁目の問５－２へ進んでください**
5－1（２）	ご自身に不要と思う理由 （複数選択可）	1．普段行きたい方向と路線の方向が合っていないから 2．他の交通手段の方が便利だから 3．将来、高齢になって車が運転できなくなることは想像できないから 4．その他（＿＿＿＿＿＿＿＿）

設問 No	分類	設問・選択肢
5－2	地域にとっての必要性（1つ）	1．必要と思う →問 5-2（1）へ進んでください 2．不要と思う →問 5-2（2）へ進んでください 3．分からない →問6へ進んでください
5－2（1）	地域に必要と思う理由（複数選択可）	1．地域のシンボルとして　2．地域の活力を支えるものとして 3．沿線の外からの来訪、来街を促進して交流を支えるものとして 4．高齢者、車がない人、運転できない人などの移動の足を支えるものとして 5．その他（　　） →問6へ進んでください
5－2（2）	地域に不要と思う理由（複数選択可）	1．路面電車が走る道路が狭く、道路が混雑するから 2．路面電車が走る道路が狭く、徒歩や自転車で通行しにくいから 3．路面電車が走る道路では、沿道の出入りがしにくいから 4．景観を損なっているから　5．騒音や振動が気になるから 6．行政負担がかかっているから 7．その他（　　）

問6：路面電車に関する取組みのあり方や価値について、お答えください。

設問 No	設問・選択肢
6－1	●路面電車の運営状況 豊橋市の路面電車は民間交通事業者が運営しており、運行経費が運賃収入を上回り運行の維持が厳しい状況です。 **路面電車を維持していくために、市が積極的に支援（行政負担など）を行うことについて、あなたの考えを選んでください。（1つ選択）** 1．市が積極的に支援してでも、利便性向上のための取組みを行うべき 2．市が積極的に支援してでも、現状のサービスを維持すべき 3．市の支援は最低限にとどめ、現状から大幅に低下しても最低限のサービスを維持できればよい 4．市の支援としては不要であり、路面電車を維持できないことは致し方ない 5．わからない 6．その他（　　）
6－2	**豊橋市に路面電車があることについて、あなたが感じる意義を選んでください。（複数選択可）** 1．日々の通勤通学などを支える移動手段　2．駅までの大事な移動手段 3．交通事故の抑制　4．環境負荷の軽減　5．賑わいの創出 6．まちづくりとしての交通網の形成　7．まちのシンボル 8．特に感じない　9．その他（　　）
6－3	**物価上昇などの社会情勢の変化により仮に運賃の値上げが必要となった場合、将来にわたって路面電車が安全・安心な運行を続けていくために、どのくらいの運賃であれば利用し続けようと思いますか？（1つ選択）　※2024年10月現在の乗車運賃は200円です。** 1．10円値上げまでなら良い（約5%高） 2．20円値上げまでなら良い（約10%高） 3．30円値上げまでなら良い（約15%高） 4．40円以上の値上げでも良い（約20%高） 5．今と同じ運賃が良い（値上げ分は行政負担で賄うべき）

設問 No	設問・選択肢
6－4	**路面電車が運行し続けるために、運賃とは別で負担金（協賛金や支援金）を払うとしたら、毎月１人あたり、いくらなら支払うことができますか？（１つ選択）** 1. 100 円未満　2. 100 円～200 円未満　3. 200 円～500 円未満 4. 500 円～1,000 円未満　5. 1,000 円以上　6. 支払わない

問７：路面電車に関する満足度と重要度について、お答えください。

設問	選択肢	
	【満足度の選択肢】	【重要度の選択肢】
あなたの普段の移動などで、市内の交通施設の状況や利用のしやすさなどの現在の満足度と、限られた財源の中で今後取り組むべき施策としての重要度について、以降の①～㉗項目ごとに右の選択肢から該当する番号をそれぞれ１つ選んで○をつけてください。	1. 満足 2. ほぼ満足 3. どちらでもない 4. やや不満 5. 不満 6. わからない	1. 重要 2. やや重要 3. どちらでもない 4. あまり重要でない 5. 重要でない

【路面電車の利便性】	満足度	重要度
①運賃	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
②運行間隔	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
③運行の正確さ	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
④所要時間	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
⑤電停の位置	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
⑥電停の安全性	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
⑦電停の待ちやすさ	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
⑧電停のバリアフリー※状況 ※スロープを設置して段差をなくすことや、車いすがすれ違えるホーム幅員にすることなど。	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
⑨車両のバリアフリー※状況（ほっトラム以外） ※電停と出入り口の段差のない車両。	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
⑩路面電車の混雑状況	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
⑪路線や運行に関する分かりやすい情報提供	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
⑫路面電車電停付近の自転車駐輪場の整備	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
⑬路面電車電停付近の自動車駐車場や待機場所	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
⑭他の交通手段との乗り換え	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
⑮車両の快適性	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
⑯子育て世帯の利用のしやすさ	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5

【路面電車の魅力向上】	満足度	重要度
⑰騒音や振動	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
⑱電停の美化	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
⑲車両の美化	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
⑳道路上の架線の削減	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
㉑車や自転車がスムーズに走れるような道路拡幅	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
㉒歩行者が快適に歩行できるような歩道整備	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
㉓沿線の賑わい	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
㉔人が集まるようなイベント開催	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
㉕環境に配慮した交通行動の市民意識を高める取組み	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
㉖健康に配慮した交通行動の市民意識を高める取組み	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
㉗まちなか（豊橋駅周辺）の回遊性	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5

その他、路面電車に関するご意見や豊橋市の交通全般に関してご意見がございましたら、ご自由にお書きください。

これでアンケート調査は終了です。ご協力ありがとうございました。

＜集計結果は統計的に処理しますので、個人情報が公表されることは一切ありません。＞

10月21日（月）までに、返信用封筒に入れてポストへご投函ください。

【家族用】

路面電車沿線住民アンケート調査票【家族用】

この調査票は、ご家族の方がご回答ください

web 回答、または、紙の調査票(郵送にて返送)のいずれかを選択して、
【2024年10月21日(月)まで】にご回答ください。

【web 回答方法】

https://questant.jp/q/romen_kazoku

○右の URL または二次元バーコードから、回答フォームにアクセスし
以下の回答票番号(数字 4 桁ー数字 1 桁)をご入力の上、
ご回答ください。

回答票番号: 0001−1

※調査結果の正確性確保のため、同じ回答票番号を複数人で使い回したり、
お一人で何度も繰り返し回答された場合、集計から除外する場合があります。

【紙の調査票の回答方法】

○この調査票の回答票番号により web で回答した場合、紙の調査票として使用しないで下さい。
○アンケートへのご回答は、２ページ以降、調査票の各設問に沿ってお答えください。
○回答欄の番号に○印をつけていただくか、回答欄の（　　）に必要事項をご記入ください。
○回答は、調査票に直接書き込んでください。
○ご回答いただいたアンケート調査票は、同封の返信用封筒に入れていただき、
切手を貼らずに 2024 年 10 月 21 日(月)までに、お近くの郵便ポストに投函してください。

≪問合せ先≫
豊橋市役所　都市計画部　都市交通課（担当：加藤、高野）
電話：(0532) 51-2620（代表）
≪調査委託先≫
中央復建コンサルタンツ株式会社　事業創生グループ（担当：須賀）
電話：(03) 3511-2030

- 1 -

本アンケートにご回答いただくにあたって、、、

【公共交通をとりまく環境について】
○長期的な利用者の減少、コロナ禍の影響による急激な落ち込みもあり、公共交通事業者の経営環境は悪化し、コロナ禍後も利用者数がコロナ以前の水準までには回復していない状況
○全国の多くの路線バス・地域鉄道事業者が赤字となっており、回復の見通しが厳しい
○労働時間に関する規制変更に伴う「2024 年問題」もあり、人手不足が深刻化する中で、路線の維持が課題

今後の安定的な公共交通サービスの提供が全国的な課題であり、豊橋市も同様の課題を抱えている状況

豊橋市では、公共交通の運行や設備投資への支援をはじめ、利用促進を行っています

上記を踏まえ、皆様の回答のご協力をお願いいたします。

問１：回答者ご自身のことについて、以下の設問にお答えください。

設問 No	設問・選択肢
1－1	**あなたの性別・年齢を選んでください。** 1．男性　2．女性　3．回答しない　／　年齢：（＿＿＿歳）
1－2	**あなたの職業を選んでください。（１つ選択）** 1．中学生　2．高校生　3．大学・短大・専門学校生 4．会社員・公務員　5．自営業　6．農林漁業 7．アルバイト・パート　8．専業主婦（夫）　9．無職 10．その他（＿＿＿＿＿＿）
1－3	**あなたの自動車の免許証の保有状況を選んでください。（１つ選択）** 1．免許証を持っている（自由に使える自動車などがある） 2．免許証を持っている（自由に使える自動車などがない） 3．免許証を持っていない

問２：公共交通に関する取組みのあり方について、以下の設問にお答えください。

設問 No	設問・選択肢
2－1	**豊橋市では、市民１人ひとりが公共交通への理解と関心を深め、みんなで公共交通を維持・活性化させることを目的とした、「豊橋市の公共交通をともに支え育む条例」（平成 29 年４月１日施行）に基づき、様々な交通施策に取り組んでいます。** **このことについて、あなたはご存知でしたか。該当する番号を選んでください。（１つ選択）** 1．条例の内容に基づいて実際に行動している　2．条例をつくったこともその内容も知っている 3．条例をつくったことだけは知っている　4．全く知らなかった
2－2	**「豊橋市の公共交通をともに支え育む条例」では、市民の役割として「公共交通への理解と関心を深めるよう努める」とともに「過度に自家用車に頼ることなく、公共交通を積極的に利用するよう努める」ことが謳われています。** **今後、あなたはどのように行動したいか教えてください。（複数選択可）** ※同封の「豊橋市の公共交通をともに支え育む条例」パンフレットをご参照ください。 1．これまでと同様に、公共交通への理解を深める 2．今後は、公共交通への理解を深めようと思う 3．公共交通の活性化に関するイベントなどがあれば積極的に参加する 4．これまでと同様に、過度に自家用車に頼ることなく公共交通を積極的に利用する 5．今後は、過度に自家用車に頼ることなく公共交通を積極的に利用しようと思う 6．今後は、これまで自家用車を利用していた移動を、公共交通に変えようと思う →具体的な移動：＿＿＿＿＿＿　から　＿＿＿＿＿＿　への移動に公共交通を利用 7．特に行動を変えようとは思わない

設問 No	設問・選択肢
2－3	**市民とともに公共交通を支える方策について、あなたのお考えを教えてください。（複数選択可）** 1. 市民全体に対する財源確保策（交通税）を設ける 2. 交通事業者の施設や設備を行政が保有するなど、市が主体的に関与する 3. 利用運賃を値上げする 4. 市民や利用者の有志が、利用運賃に加えて、公共交通維持のための費用を支払う 5. 現在の財源の中で公共交通に関する予算を増額して他の予算を減額し、より積極的に支援を行う 6. 現在市が公共交通に対して行っている支援を続ける 7. 市は支援する必要はない
2－4	**過度に自家用車に依存しないためには、次のうちどれが最も有効と思いますか？（２つまで選択可）** 1. 公共交通のサービスなどを高め、利用しやすくすること 2. 自転車の走行や駐輪の環境などを整備して、利用しやすくすること 3. ゆとりや憩いが感じられる歩道などを整備して、歩きやすくすること 4. 市民が自ら自家用車の利用を控える意識を高めること 5. 地域拠点※に、医療・福祉・商業など様々な都市機能を集約化したまちをつくること ※地域拠点：南栄駅周辺、二川駅周辺、井原停留場周辺、藤沢町周辺、大清水駅周辺、和山辻停留所周辺 6. 新技術※を活用した新たなサービスを導入することで、自家用車以外の移動がしやすくなること ※新技術：自動運転バスなど 7. その他（＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

問３：路面電車の利用について、以下の設問にお答えください。

設問 No	分類	設問・選択肢
3－1	利用頻度（１つ）	1．ほとんど毎日　2．週２～３日程度　3．週１日程度　4．月に２～３日程度　5．月に１日程度　6．年に数回　7．利用していない →4頁目の問３－６へ進んでください　**問３－２～５をお答えください**
3－2	利用目的（複数選択可）	1．通勤　2．通学　3．買い物　4．通院・福祉サービス　5．行政・金融サービス　6．レジャー・社交　7．塾・習い事　8．業務　9．その他（＿＿＿＿＿＿）
3－3	最寄の電停のほかに、よく利用する電停（複数選択可）	1．駅前　2．駅前大通　3．新川　4．札木　5．市役所前　6．豊橋公園前　7．東八町　8．前畑　9．東田坂上　10．東田　11．競輪場前　12．井原　13．赤岩口　14．運動公園前
3－4	主な目的地（１つ）	**1．目的地が豊橋市内の方：町・丁目単位までの住所をご記入いただくか、または目的地の住所が分からない場合は施設名や学校名などをご記入ください。** 豊橋市（＿＿＿＿）町・丁目 または、施設や学校名（＿＿＿＿＿＿） **2．目的地が豊橋市外の方：市町村単位までの住所をご記入ください。** （＿＿＿＿）市・町・村

設問 No	分類	設問・選択肢
3－5	路面電車を使う理由 （複数選択可）	1．目的地に速く行けるから　2．運行本数が多いから 3．運賃が安いから　4．時間通りに行けるから 5．自宅と電停が近いから　6．電停を降りてからが便利だから 7．サイクル＆ライド駐輪場があるから 8．電停に駐車場があるから　9．朝早い時間から運行しているから 10．夜遅くまで運行しているから 11．安全だから　12．他に交通手段がないから 13．目的地に駐車場がないから　14．車を運転できないから 15．他人の送迎に頼らないようにしているから 16．お酒を飲む機会があるから　17．座れるから 18．健康維持によいから　19．環境によいから 20．利用促進に貢献するため　21．その他（＿＿＿＿＿＿＿＿） **→問４へ進んでください**
3－6	路面電車を使わない理由 （複数選択可）	1．目的地に行くのに時間がかかるから 2．運行本数が少ないから　3．時間通りに来ないから 4．運賃が高いから　5．電車やバスを乗り継ぐと運賃が高くなるから 6．自宅と電停が遠いから　7．電停を降りてからが不便だから 8．豊橋駅での乗換えが不便だから　9．最寄の電停に駐輪場がない・足りないから 10．最寄の電停に駐車場や車の待機場所がないから 11．始発の時間が遅いから　12．最終の時間が早いから 13．電停で待ちにくい・危険だから　14．他に利用できる交通手段があるから 15．目的地に駐車場があるから　16．自由に利用できる車があるから 17．送迎してくれる家族や知人がいるから 18．車両の乗り降りがしにくいから　19．車内が混雑しているから 20．その他（＿＿＿＿＿＿＿＿）

問４：路面電車の必要性についてお答えください。

設問 No	分類	設問・選択肢
4－1	ご自身にとっての必要性 （1つ）	1．現在利用しているので、必要である 2．現在は利用していないが、今後は必要と思う **→問 4-1（1）へ進んでください** 3．現在も今後も不要である　**→問 4-1（2）へ進んでください** 4．分からない　**→5頁目の問４－２へ進んでください**
4－1（1）	ご自身に必要と思う理由 （複数選択可）	1．日常生活の外出を支えるもの　2．気軽な外出を支えるもの 3．安い運賃での外出を支えるもの　4．時間通りの外出を支えるもの 5．安心・安全な外出を支えるもの　6．雨などの天気が悪い時の外出を支えるもの 7．健康維持を支えるもの　8．人との交流や出歩くために欠かせないもの 9．車が使えない時の外出を支えるもの 10．送迎者がいないときの外出を支えるもの 11．将来、高齢になって車が運転できなくなった時の外出を支えるもの 12．その他（＿＿＿＿＿＿＿＿） **→5頁目の問４－２へ進んでください**
4－1（2）	ご自身に不要と思う理由 （複数選択可）	1．普段行きたい方向と路線の方向が合っていないから 2．他の交通手段の方が便利だから 3．将来、高齢になって車が運転できなくなることは想像できないから 4．その他（＿＿＿＿＿＿＿＿）

設問 No	分類	設問・選択肢
4－2	地域にとっての必要性（1つ）	1．必要と思う　**→問 4-2（1）へ進んでください** 2．不要と思う　**→問 4-2（2）へ進んでください** 3．分からない　**→問５へ進んでください**
4－2（1）	地域に必要と思う理由（複数選択可）	1．地域のシンボルとして　2．地域の活力を支えるものとして 3．沿線の外からの来訪、来街を促進して交流を支えるものとして 4．高齢者、車がない人、運転できない人などの移動の足を支えるものとして 5．その他（＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿） **→問５へ進んでください**
4－2（2）	地域に不要と思う理由（複数選択可）	1．路面電車が走る道路が狭く、道路が混雑するから 2．路面電車が走る道路が狭く、徒歩や自転車で通行しにくいから 3．路面電車が走る道路では、沿道の出入りがしにくいから 4．景観を損なっているから　5．騒音や振動が気になるから 6．行政負担がかかっているから 7．その他（＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

問５：路面電車に関する取組みのあり方や価値について、お答えください。

設問 No	設問・選択肢
5－1	**●路面電車の運営状況** 豊橋市の路面電車は民間交通事業者が運営しており、運行経費が運賃収入を上回り運行の維持が厳しい状況です。 **路面電車を維持していくために、市が積極的に支援（行政負担など）を行うことについて、あなたの考えを選んでください。（1つ選択）** 1．市が積極的に支援してでも、利便性向上のための取組みを行うべき 2．市が積極的に支援してでも、現状のサービスを維持すべき 3．市の支援は最低限にとどめ、現状から大幅に低下しても最低限のサービスを維持できればよい 4．市の支援としては不要であり、路面電車を維持できないことは致し方ない 5．わからない 6．その他（＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）
5－2	**豊橋市に路面電車があることについて、あなたが感じる意義を選んでください。（複数選択可）** 1．日々の通勤通学などを支える移動手段　2．駅までの大事な移動手段 3．交通事故の抑制　4．環境負荷の軽減　5．賑わいの創出 6．まちづくりとしての交通網の形成　7．まちのシンボル 8．特に感じない　9．その他（＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）
5－3	**物価上昇などの社会情勢の変化により仮に運賃の値上げが必要となった場合、将来にわたって路面電車が安全・安心な運行を続けていくために、どのくらいの運賃であれば利用し続けようと思いますか？（1つ選択）　※2024 年 10 月現在の乗車運賃は 200 円です。** 1．10 円値上げまでなら良い（約 5%高） 2．20 円値上げまでなら良い（約 10%高） 3．30 円値上げまでなら良い（約 15%高） 4．40 円以上の値上げでも良い（約 20%高） 5．今と同じ運賃が良い（値上げ分は行政負担で賄うべき）

設問 No	設問・選択肢
5－4	路面電車が運行し続けるために、運賃とは別で負担金（協賛金や支援金）を払うとしたら、毎月１人あたり、いくらなら支払うことができますか？（１つ選択） 1．100 円未満　2．100 円～200 円未満　3．200 円～500 円未満 4．500 円～1,000 円未満　5．1,000 円以上　6．支払わない

問６：路面電車に関する満足度と重要度について、お答えください。

設問	選択肢	
	【満足度の選択肢】	【重要度の選択肢】
あなたの普段の移動などで、市内の交通施設の状況や利用のしやすさなどの現在の満足度と、限られた財源の中で今後取り組むべき施策としての重要度について、以降の①～㉗項目ごとに右の選択肢から該当する番号をそれぞれ１つ選んで○をつけてください。	1．満足 2．ほぼ満足 3．どちらでもない 4．やや不満 5．不満 6．わからない	1．重要 2．やや重要 3．どちらでもない 4．あまり重要でない 5．重要でない

【路面電車の利便性】	満足度	重要度
①運賃	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
②運行間隔	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
③運行の正確さ	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
④所要時間	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
⑤電停の位置	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
⑥電停の安全性	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
⑦電停の待ちやすさ	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
⑧電停のバリアフリー※状況 ※スロープを設置して段差をなくすことや、車いすがすれ違えるホーム幅員にすることなど。	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
⑨車両のバリアフリー※状況（ほっトラム以外） ※電停と出入り口の段差のない車両。	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
⑩路面電車の混雑状況	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
⑪路線や運行に関する分かりやすい情報提供	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
⑫路面電車電停付近の自転車駐輪場の整備	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
⑬路面電車電停付近の自動車駐車場や待機場所	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
⑭他の交通手段との乗り換え	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
⑮車両の快適性	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
⑯子育て世帯の利用のしやすさ	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5

【路面電車の魅力向上】	満足度	重要度
⑰騒音や振動	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
⑱電停の美化	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
⑲車両の美化	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
⑳道路上の架線の削減	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
㉑車や自転車がスムーズに走れるような道路拡幅	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
㉒歩行者が快適に歩行できるような歩道整備	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
㉓沿線の賑わい	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
㉔人が集まるようなイベント開催	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
㉕環境に配慮した交通行動の市民意識を高める取組み	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
㉖健康に配慮した交通行動の市民意識を高める取組み	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
㉗まちなか（豊橋駅周辺）の回遊性	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5

その他、路面電車に関するご意見や豊橋市の交通全般に関してご意見がございましたら、ご自由にお書きください。

これでアンケート調査は終了です。ご協力ありがとうございました。

＜集計結果は統計的に処理しますので、個人情報が公表されることは一切ありません。＞

10月21日（月）までに、返信用封筒に入れてポストへご投函ください。

2.2 標本誤差の範囲の設定

本来、アンケート調査を行う場合、全母集団を対象とすることが望ましいが、実際には適当な人数を選んで精度の高い調査結果を得なければならない。そのため、アンケートの回答結果が、どの程度の精度を持った回答結果であるのかを検討することが必要であり、その精度は標本誤差を算出することで把握できる。標本誤差とは、ある設問の回答割合に対する誤差を示しており、これは以下の式で表すことができる。

$$\sigma = k \sqrt{\frac{(M-n)}{(M-1)} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

M：母集団　　n：有効回答数　　p：結果の比率

k：信頼度による定数　　σ：標本誤差

※kは信頼度を決めると自動的に決まる定数で、信頼度は統計的な慣習として95%とすることが多く、信頼度95%ならばkは1.96となる。

本調査の回答結果について、回答者全体の標本誤差の範囲を設定すると、下表のようになる。例えば、本調査において、回答数1,500の設問を単純集計した場合、その設問で「A」という回答が全体の50%であったとすれば、市民アンケート調査の全母集団（市内在住の満15歳以上の方（日本国籍））に同じ設問をしても、統計学的には95%の確率で「A」は50±2.52%の範囲内となる。標本の大きさは、p（結果の比率）が50%の場合が最も安全に（最も大きく）なるため、市民アンケート調査の全体の回答結果が最も分散していた場合でも、全母集団から得られる結果と比べて、±2.52%以下の誤差しか生じないことになり、精度の高い結果といえる。ただし、年代別等では、それぞれの有効回答数は少なくなるため、結果については標本誤差の範囲が広いことを考慮して見るべきである。

表1-3　本調査における標本誤差の範囲

n	90%または10%程度	80%または20%程度	70%または30%程度	60%または40%程度	50%程度
2,000	±1.31	±1.75	±2.00	±2.14	±2.19
1,500	±1.51	±2.02	±2.31	±2.47	±2.52
1,000	±1.86	±2.48	±2.84	±3.03	±3.09
500	±2.63	±3.50	±4.01	±4.29	±4.38
300	±3.39	±4.52	±5.18	±5.54	±5.66
100	±5.83	±7.84	±8.98	±9.60	±9.80
20	±13.25	±17.53	±20.08	±21.47	±21.91

3．調査結果

以下より、市民アンケート調査及び路面電車沿線地域アンケート調査（住民）の調査結果を示す。なお、公共交通に関する取組のあり方に関する設問（市民 4-1～5、6-1～3、沿線 3-1～4、6-1～4）は、両アンケートで同一の設問となっているため、「3.4 公共交通に関する取組のあり方について」で合わせて掲載する。

各調査結果を割合で示している場合は、小数点以下第２位を四捨五入して算出しているため、個々の値の合計が 100 にならない場合がある。

3.1 回収結果

各アンケートの回収結果は以下のとおり。

表 1-4 回収結果

調査	配布数（通）	回収数（通）	回収率	記入人数	
				総数（人）	1 通あたり
市民アンケート調査	5,000	1,088	21.8%	1,904	1.75
路面電車沿線地域アンケート調査（住民）	1,500	464	30.9%	836	1.80

3.2 市民アンケート調査

(1)世帯の属性

1) 居住地

- すべての小学校区から 10 票以上の回答を得ている。
- 居住地を 12 地域別にみると、地域４中心部地域の割合が最も高く約２割、次いで地域 11 臨海部地域が約 1 割を占めている。

＜市民 1-1 お住まいの小学校区を選んでください＞

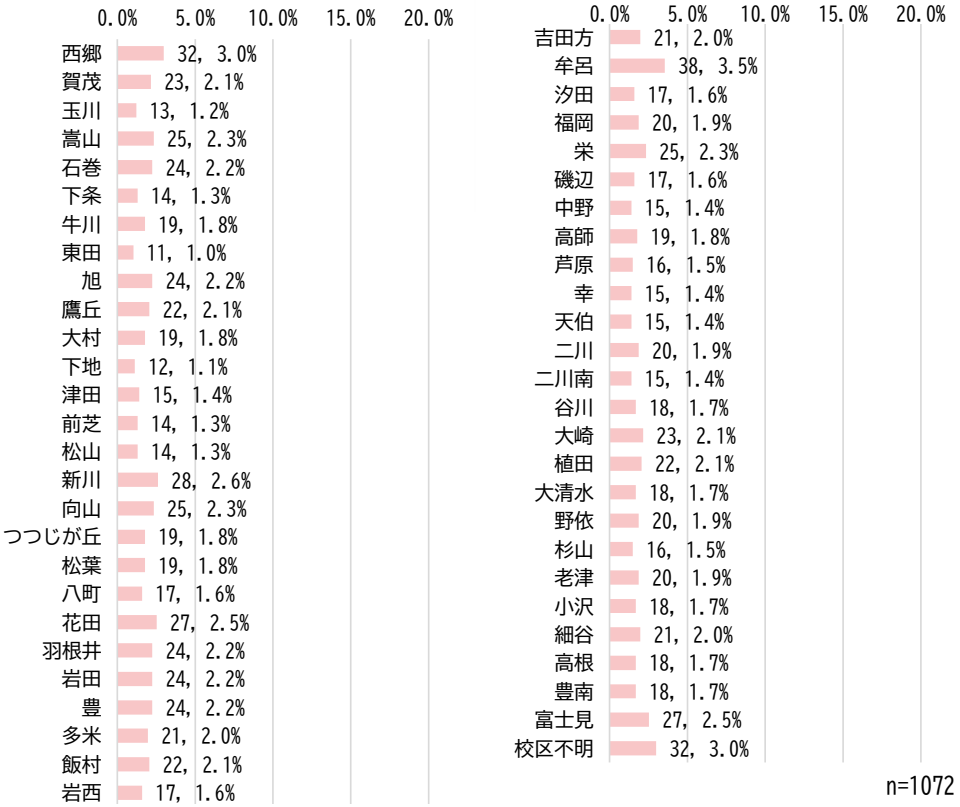


図 1-1　＜市民＞小学校区別の居住地

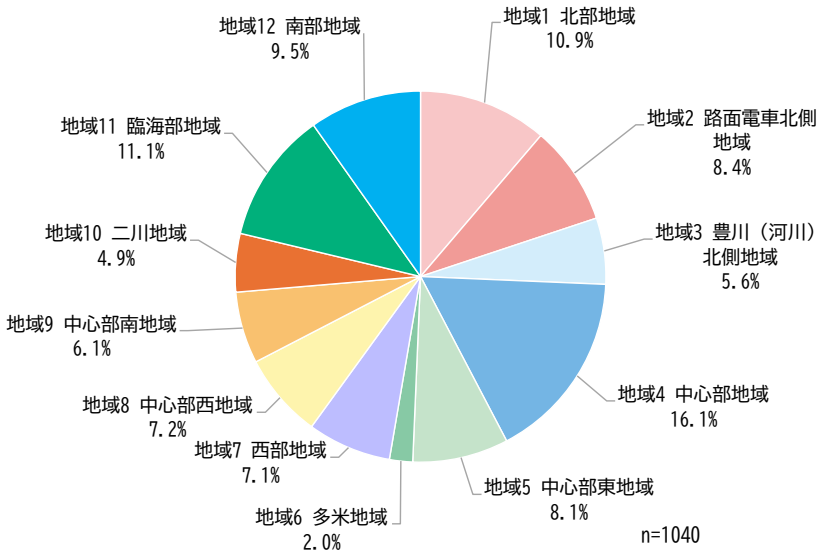


図 1-2　＜市民＞地域別の居住地

表 1-5　参考　地域区分と設定の考え方

地域	地域区分	区分設定の考え方	含まれる小学校区
1	北部地域	市域北側の比較的人口が少ない市街化区域外一帯を設定	西郷、賀茂、玉川、嵩山、石巻
2	路面電車北側地域	路面電車の北側で市街化区域を多く含む校区を設定	下条、牛川、東田、旭、鷹丘
3	豊川（河川）北側地域	豊川(河川)の北側一帯を設定	大村、下地、津田、前芝
4	中心部地域	豊橋駅を中心とした人口・施設が集積する市中心部を設定	松山、新川、向山、つつじが丘、松葉、八町、花田、羽根井
5	中心部東地域	路面電車終点付近の南側～ＪＲ東海道本線の北側の市街化区域を多く含む地域一帯を設定	岩田、豊、飯村、岩西
6	多米地域	路面電車の東側の市街化区域外を多く含む地域を設定	多米
7	西部地域	市中心部より西側で、海岸線までの人口が低密度に広がる地域一帯を設定	吉田方、牟呂、汐田
8	中心部西地域	市中心部より南側で、市街化区域を多く含む豊鉄渥美線西側地域一帯を設定	福岡、栄、磯辺、中野
9	中心部南地域	市中心部より南側で、市街化区域を多く含む東海道本線の南側から豊鉄渥美線東側地域一帯を設定	高師、芦原、幸、天伯
10	二川地域	二川駅周辺と市東部の工業地域を含む地域一帯を設定	二川、二川南、谷川
11	臨海部地域	臨海部と豊鉄渥美線沿線の市街化区域外一帯を設定	大崎、植田、大清水、野依、杉山、老津
12	南部地域	市南側の人口が低密度に広がる地域一帯を設定	小沢、細谷、高根、豊南、富士見

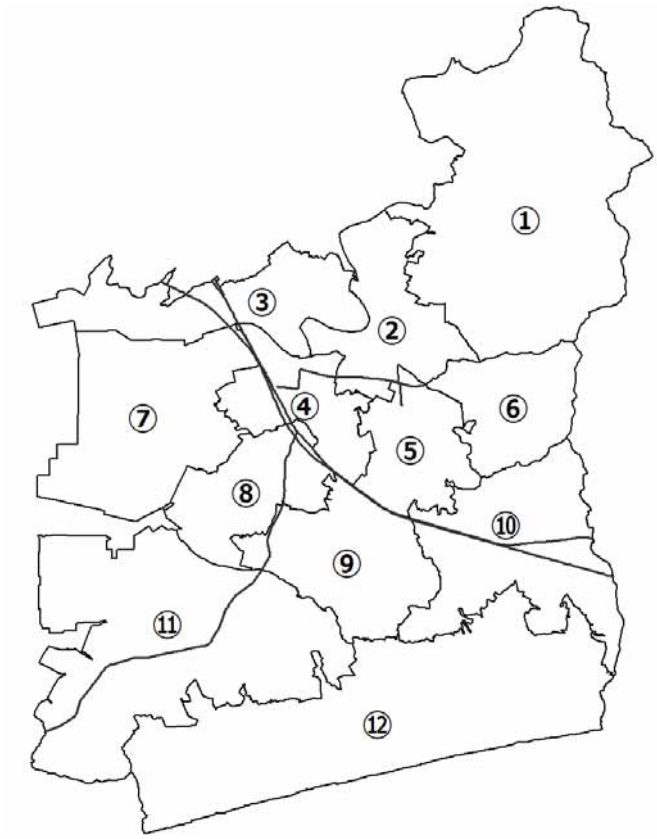


図 1-3　参考　地域区分

2) 家族人数

- 回答者世帯の家族の人数は、２人が最も高く約４割、次いで１人が約２割を占めている。
- 家族の年齢構成の内訳をみると、約６割の世帯が高齢者（65 歳以上）が家族にいると回答している。

＜市民 1-2 ご家族の人数を教えてください＞

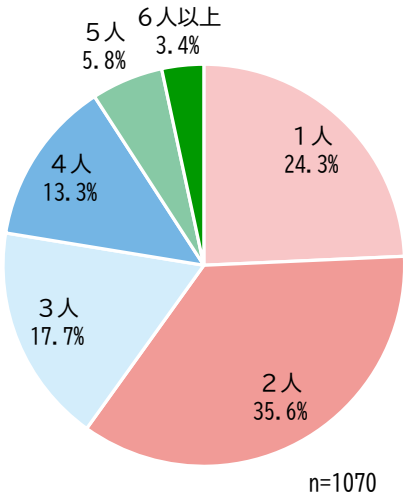
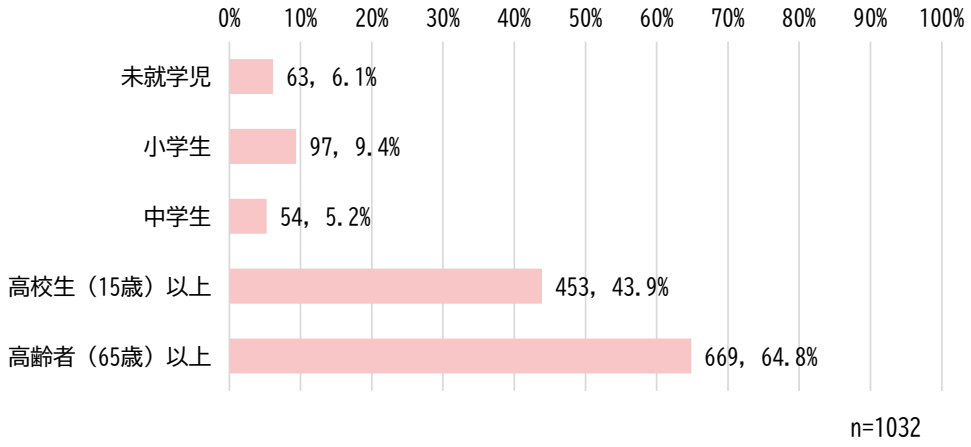


図 1-4　＜市民＞家族の人数

＜市民 1-2（ご家族の）内訳を教えてください＞



※各世代がいると回答した世帯を集計

図 1-5　＜市民＞家族に含まれる世代

3) 居住歴

- 回答者（世帯）の居住歴は、21 年以上の割合が最も高く約８割を占めている。

＜市民 1-3　豊橋市に住み始めてから何年ぐらい経ちますか？＞

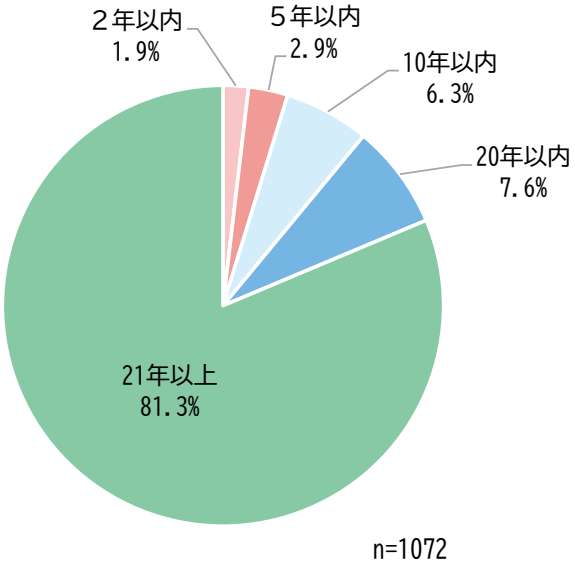


図 1-6　＜市民＞居住歴

4) 自動車及び自転車の保有台数

- 回答者の世帯での自動車の保有台数は、１台の割合が最も高く約４割、次いで２台が約３割を占めている。
- 回答者の世帯での自転車の保有台数は、持っていないの割合が最も高く約４割、次いで１台が約３割を占めている。

＜市民 1-4　世帯で所有されている「自動車」の保有台数を選んでください＞

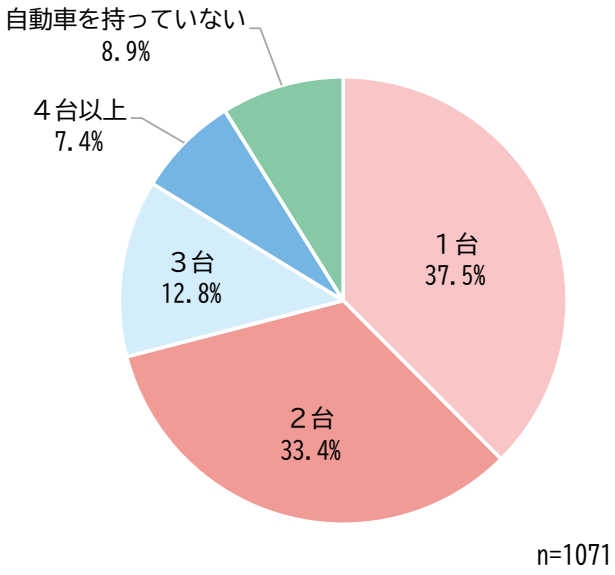


図 1-7　＜市民＞自動車の保有台数

＜市民 1-5 世帯で所有されている「自転車」の保有台数を選んでください。＞

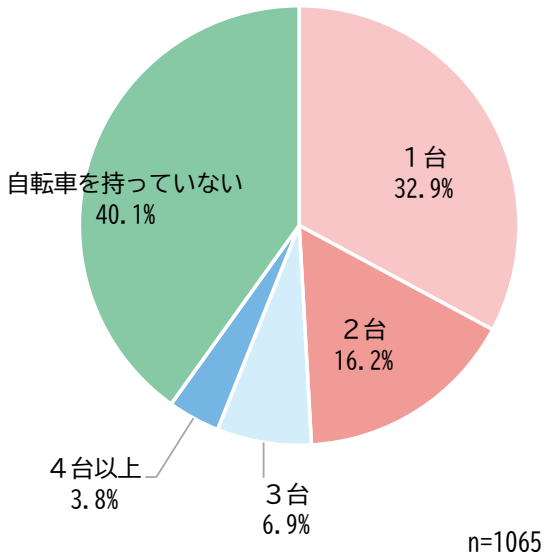


図 1-8　＜市民＞自転車の保有台数

5）駅･バス停の認知度

- 最寄り鉄道駅・電停について、知っているか徒歩では行けないかのいずれかを聞くと、回答者（世帯）の約７割が知っており、その他の約３割は徒歩では行けない。
- 最寄りバス停について、回答者（世帯）の約７割は最寄りバス停を知っている。一方、場所はわかるが名称がわからないが約２割、バス停がどこにあるかわからないが約１割となっている。

＜市民 1-6 自宅の最寄り鉄道駅または路面電車電停を教えてください＞

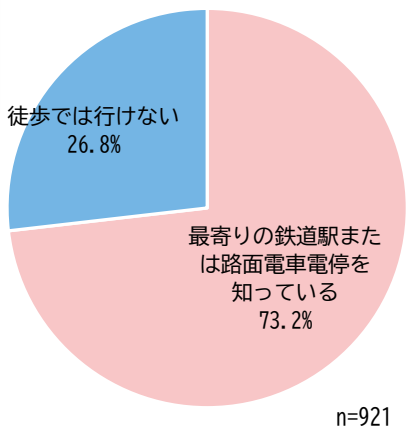


図 1-9　＜市民＞最寄り鉄道駅・電停の状況

＜市民 1-6 自宅の最寄りバス停を教えてください＞

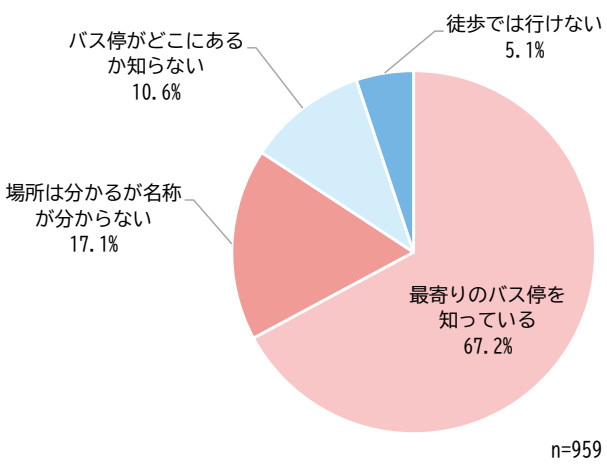


図 1-10　＜市民＞最寄りバス停の状況

6) 駅･バス停までの所要時間

- 最寄り鉄道駅・電停までの所要時間でみると、15 分以上の割合が最も高く約４割、次いで５～10 分以内が約２割を占めている。
- 最寄りバス停までの所要時間でみると、３～５分以内の割合が最も高く約３割、次いで５～10 分以内が約２割を占めている。
- 最寄り鉄道駅・電停と最寄りバス停までの所要時間の関係性でみると、駅・電停まで 10 分以上かつバス停まで５～10 分以内の割合が最も高く約４割、次いで駅・バス停まで 15 分以内かつバス停まで 10 分以内が４割を占めている。

＜市民 1-6 自宅の最寄鉄道駅または路面電車電停までの徒歩でのおおよその所要時間を選んでください＞

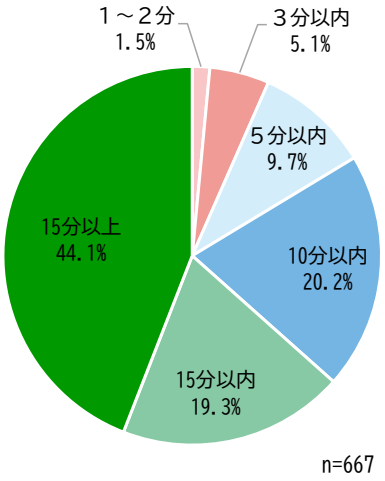


図 1-11　＜市民＞最寄り駅・電停までの所要時間

＜市民 1-6 自宅の最寄バス停までの徒歩でのおおよその所要時間を選んでください＞

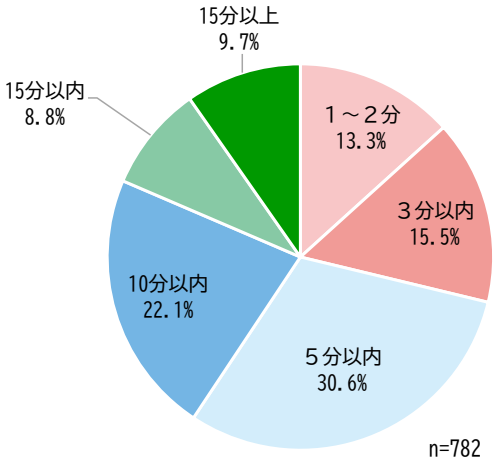


図 1-12　＜市民＞最寄りバス停までの所要時間

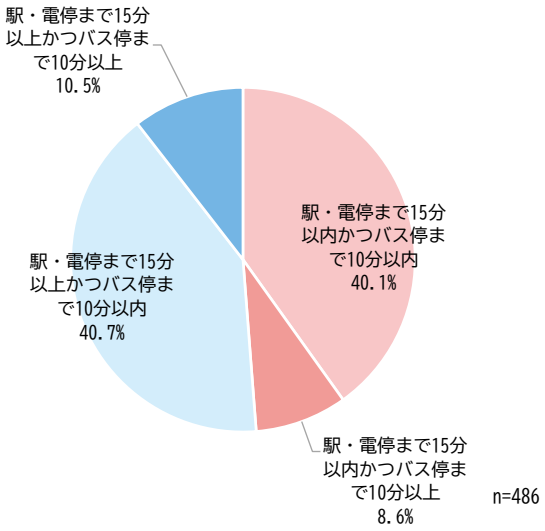


図 1-13　＜市民＞駅・電停及びバス停までの所要時間

7) 最寄り駅･電停

- 市民アンケートの居住地を最寄り駅・電停で見ると、豊橋駅・豊橋駅前の回答が最も多く約 130 件、次いで二川駅が約 60 件、大清水駅が約 50 件となっている。

＜市民 1-6 自宅の最寄鉄道駅または路面電車電停の名称をご記入ください＞

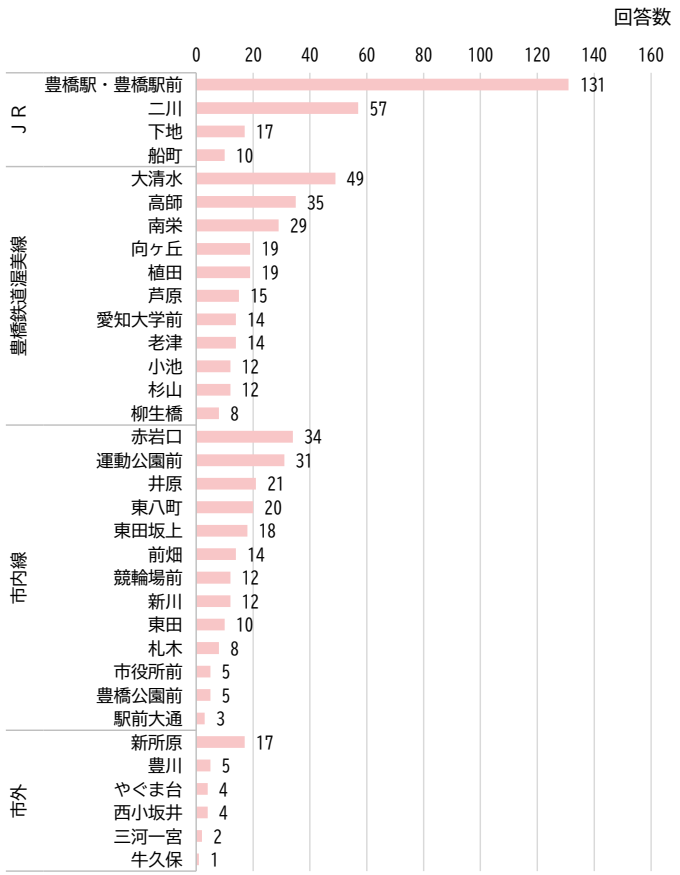


図 1-14　＜市民＞最寄り駅・電停

(2)移動実態

1) 最もよく行く目的地

- 目的毎に最もよく行く目的地を市内外別にみると、通院では市内の割合が最も高く、９割以上となっている。一方、その他（レジャーなど）では、市外が約６割となっている。

＜市民 2-1 目的ごとに、最もよく行く目的地（市内・市外）を教えてください＞

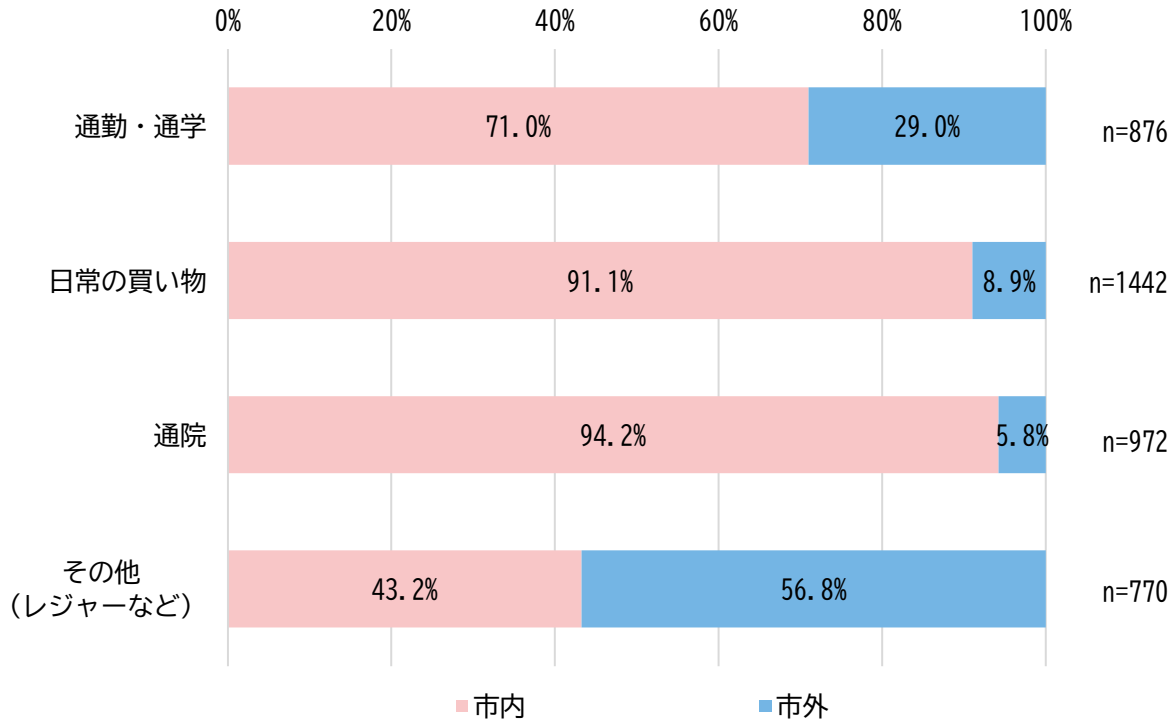
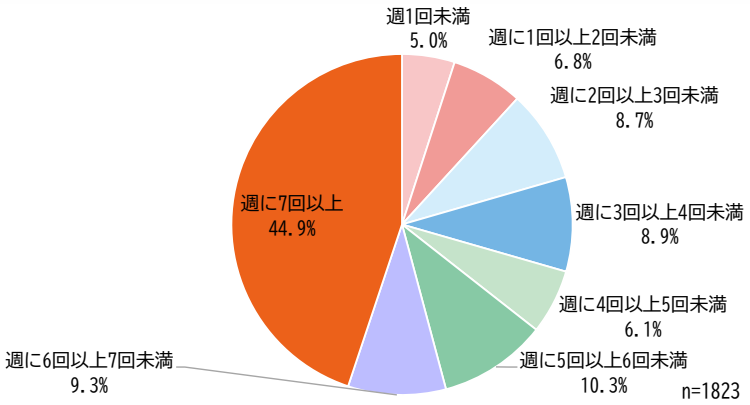


図 1-15　＜市民＞最もよく行く目的地（市内・市外）

2) 外出頻度

- 外出頻度は、週に７回以上の割合が最も高く、約４割を占めている。

＜市民 2-1 目的ごとに、週当たりのお出かけの回数を教えてください＞

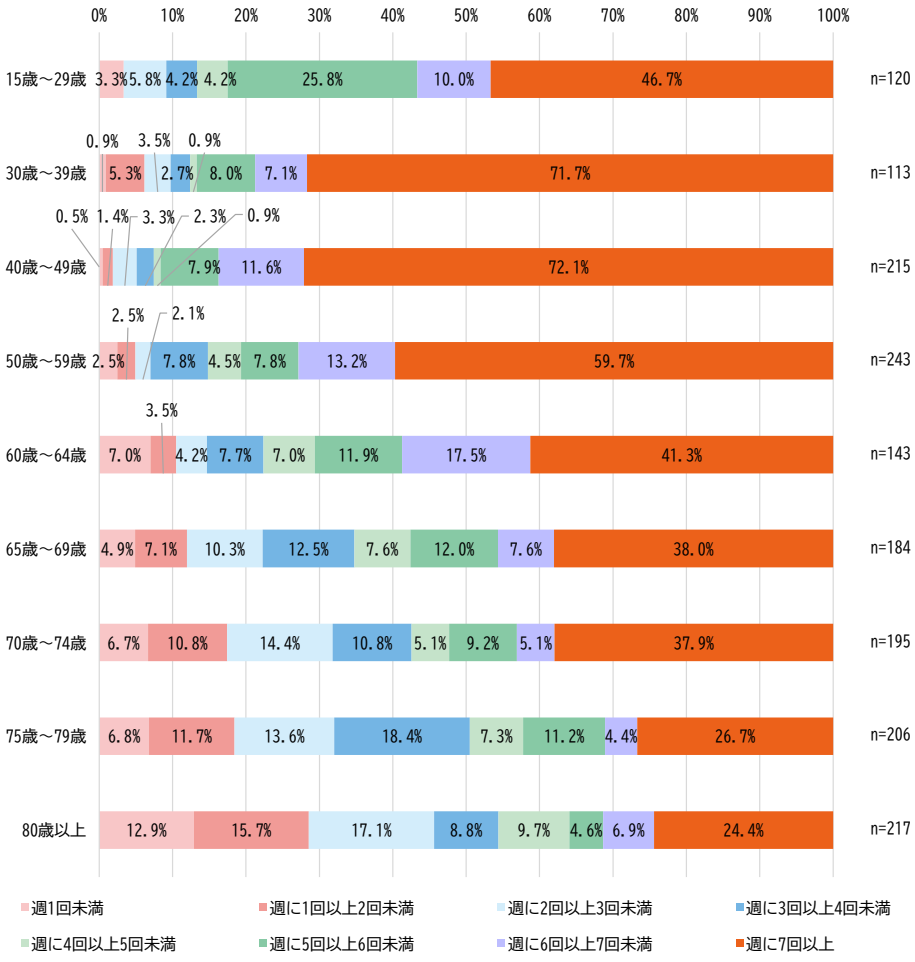


※外出頻度：目的別の週当たりのお出かけの回数の総計

図 1-16　＜市民＞外出頻度

① 年齢別の外出頻度

- 年齢別の外出頻度をみると、40～49 歳で週に７回以上の割合が最も高く、50 歳以降で低下している。

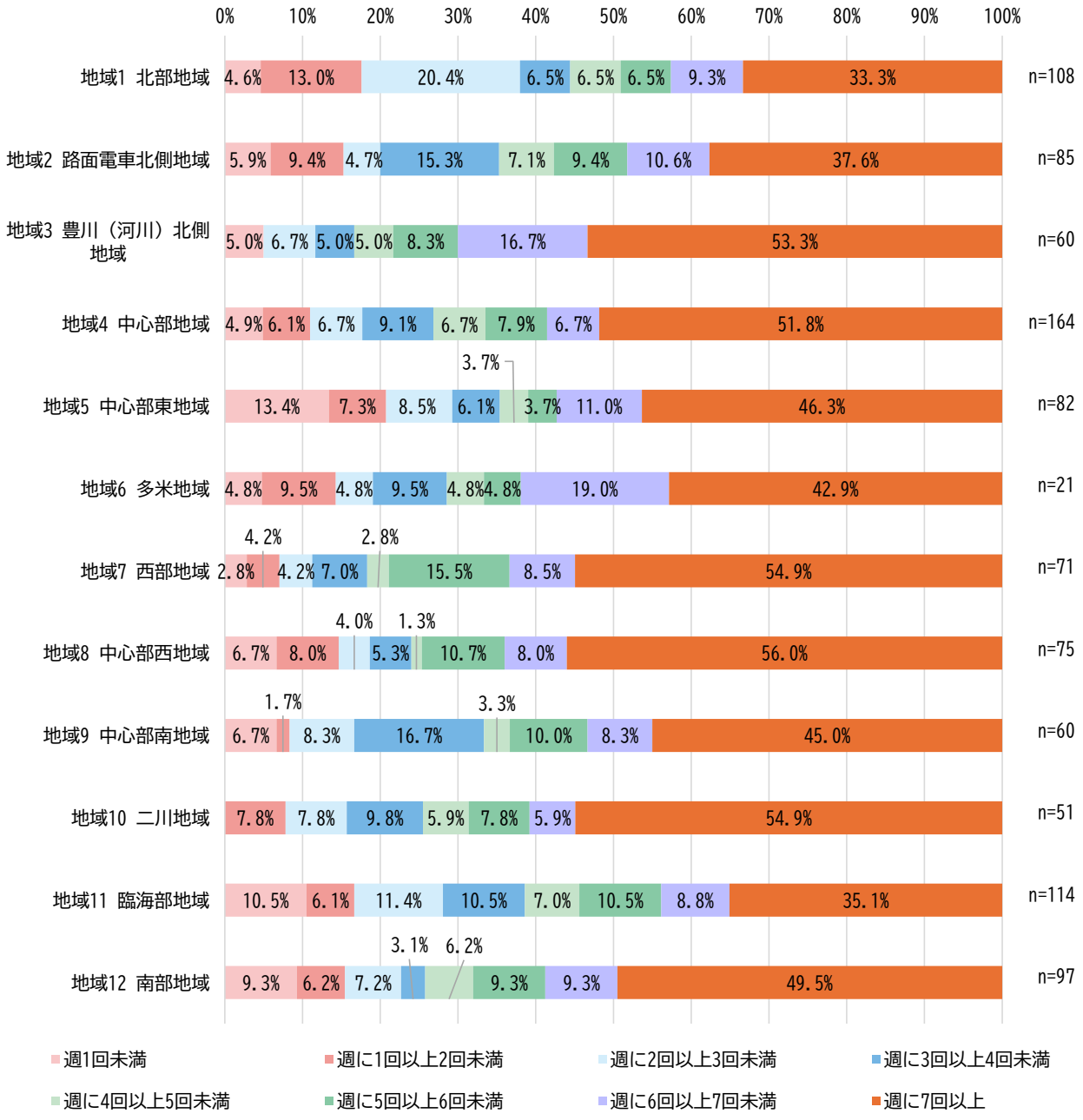


※外出頻度：目的別の週当たりのお出かけの回数の総計

図 1-17　＜市民＞年代別の外出頻度

② 地域別の外出頻度

- 地域別の外出頻度をみると、特に地域１，２，11 で週に７回以上の割合が低くなっている。



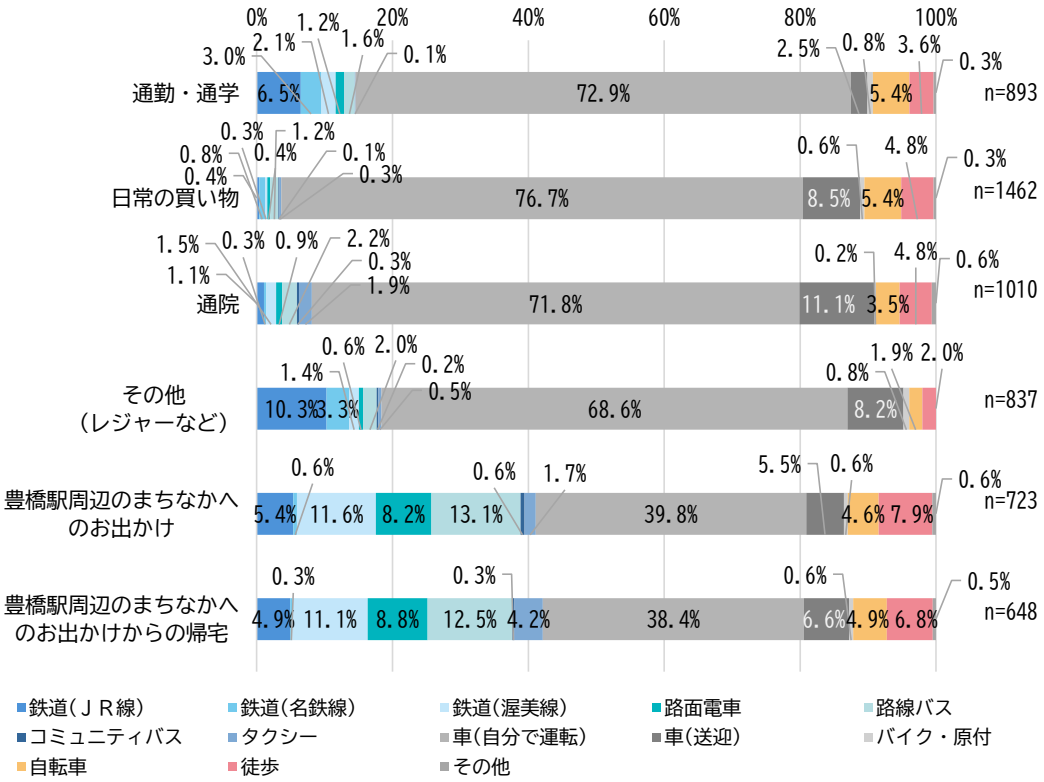
※外出頻度：目的別の週当たりのお出かけの回数の総計

図 1-18　＜市民＞地域別の外出頻度

3) 目的別交通手段分担率

- 目的別交通手段分担率は、すべての目的で車（自分で運転）の割合が最も高く、特に日常の買い物では約８割を占めている。「豊橋駅周辺のまちなかへのお出かけ（及び帰宅）」では、車（自分で運転）が約４割となり、鉄道やバスなどの公共交通の利用が多くなっている。

＜市民 2-1 目的ごとに、主な移動手段を選んでください＞



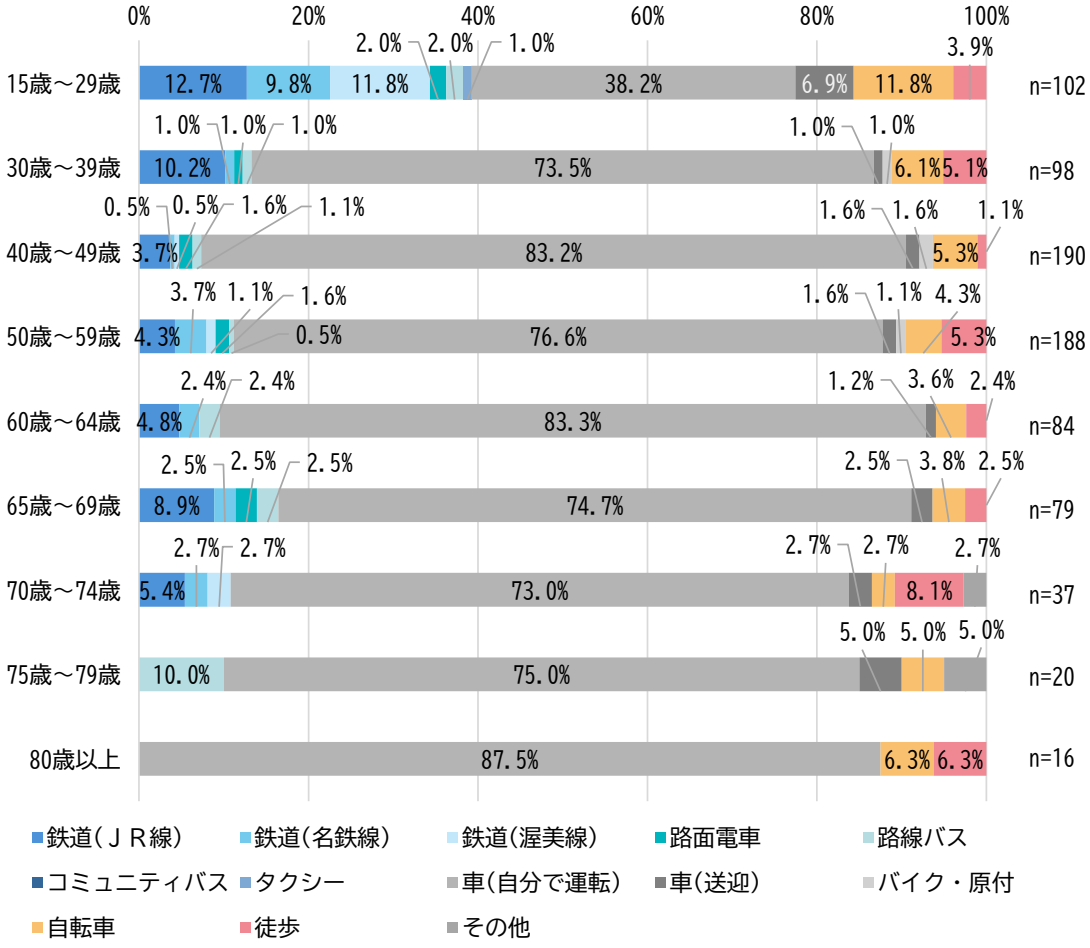
※複数選択から、代表交通手段を集計

図 1-19　＜市民＞目的別の主な交通手段

① 年代別の目的別交通手段分担率

- 通勤・通学の年代別の交通手段分担率をみると、「15～29 歳」は、他の年代と比べて鉄道（ＪＲ線、名鉄線、豊鉄渥美線）や路面電車、車（送迎）の割合が高くなっている。

＜市民 2-1 目的ごとに、主な移動手段を選んでください＞
【通勤・通学】



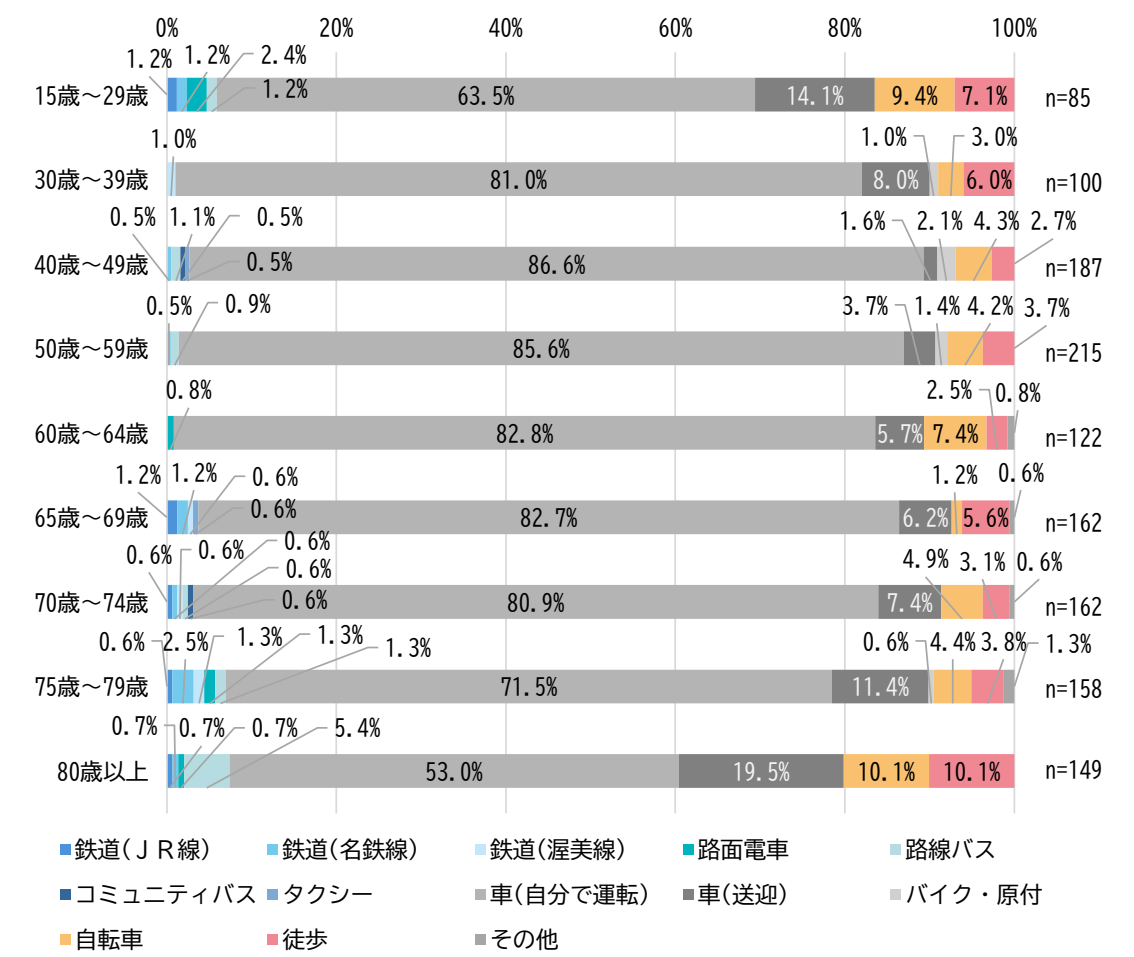
※複数選択から、代表交通手段を集計

図 1-20　＜市民＞通勤・通学の年代別主な交通手段

- 日常の買い物をみると、「15～29 歳」及び「80 歳以上」は、他の年代と比べて車（自分で運転）の割合が低くなっている。

＜市民 2-1 目的ごとに、主な移動手段を選んでください＞

【日常の買い物】



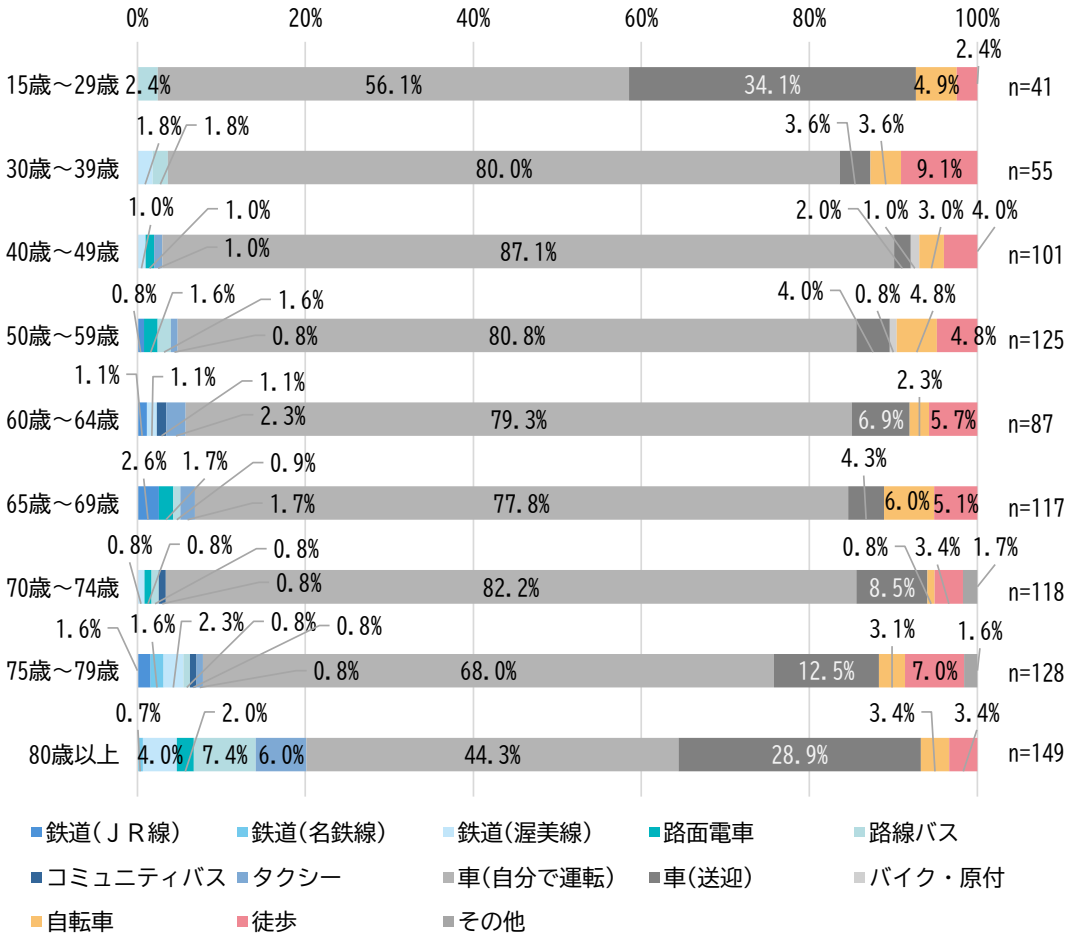
※複数選択から、代表交通手段を集計

図 1-21　＜市民＞日常の買い物の年代別主な交通手段

- 通院をみると、「15～29 歳」や「75 歳以上」は、他の世代と比べて車（自分で運転）の割合が低く、車（送迎）の割合が高い。また、80 歳以上は他の年代と比べて公共交通の割合が高くなっている。

＜市民 2-1 目的ごとに、主な移動手段を選んでください＞

【通院】

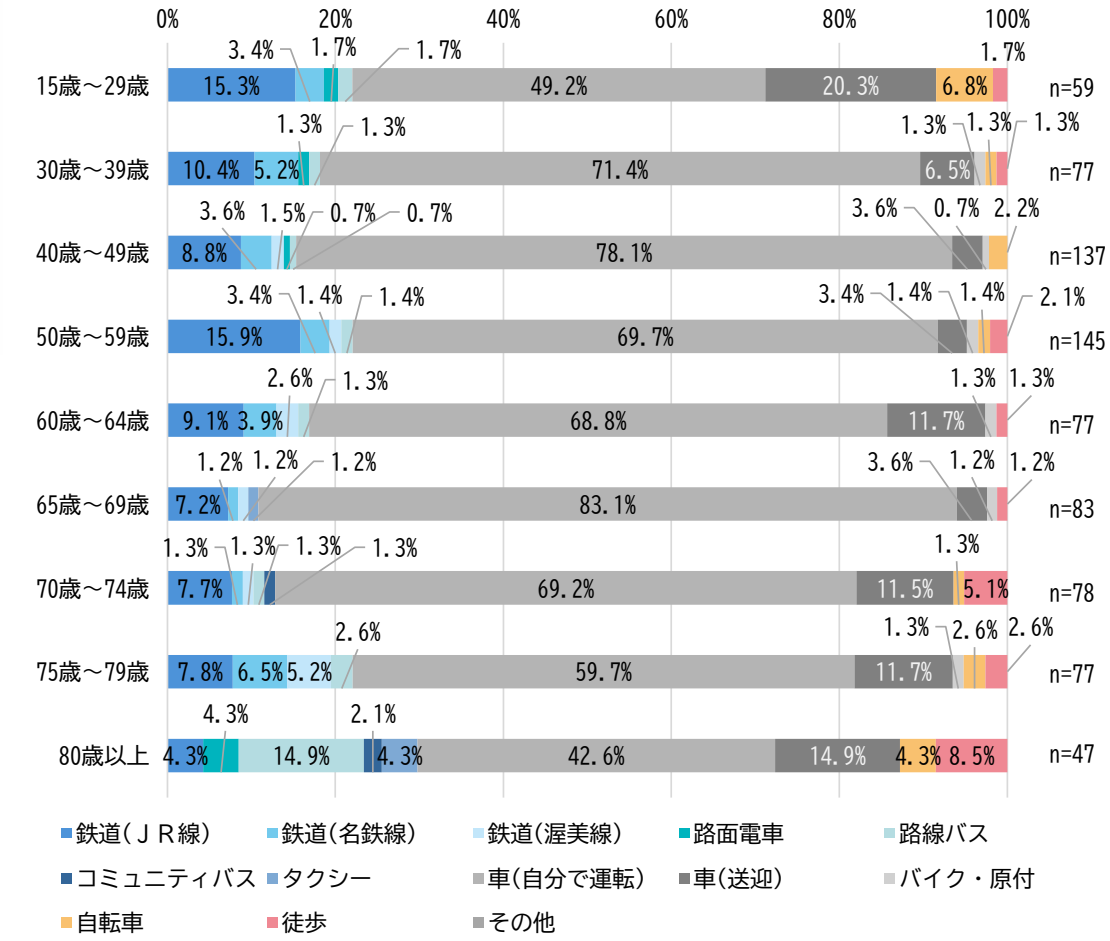


※複数選択から、代表交通手段を集計

図 1-22　＜市民＞通院の年代別主な交通手段

- その他（レジャーなど）をみると、「15～29 歳」や「80 歳以上」は、他の年代と比べて車（自分で運転）の割合が低くなっている。

＜市民 2-1 目的ごとに、主な移動手段を選んでください＞
【その他（レジャーなど）】

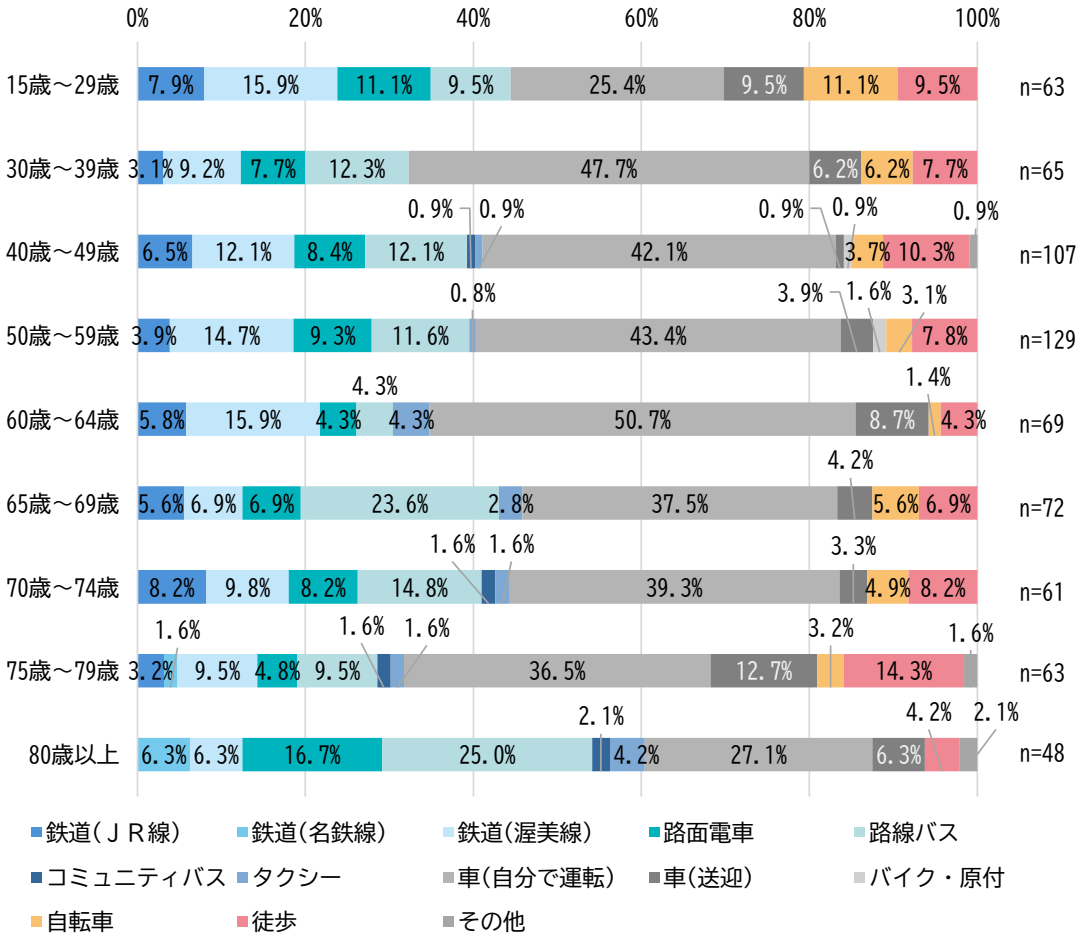


※複数選択から、代表交通手段を集計

図 1-23　＜市民＞その他（レジャーなど）の年代別主な交通手段

- 豊橋駅周辺のまちなかへのお出かけをみると、「15～29 歳」や「80 歳以上」は、他の年代と比べて車（自分で運転）の割合が低い。また、「80 歳以上」で路面電車や路線バスの割合が高くなっている。

＜市民 2-1 目的ごとに、主な移動手段を選んでください＞
【豊橋駅周辺のまちなかへのお出かけ】



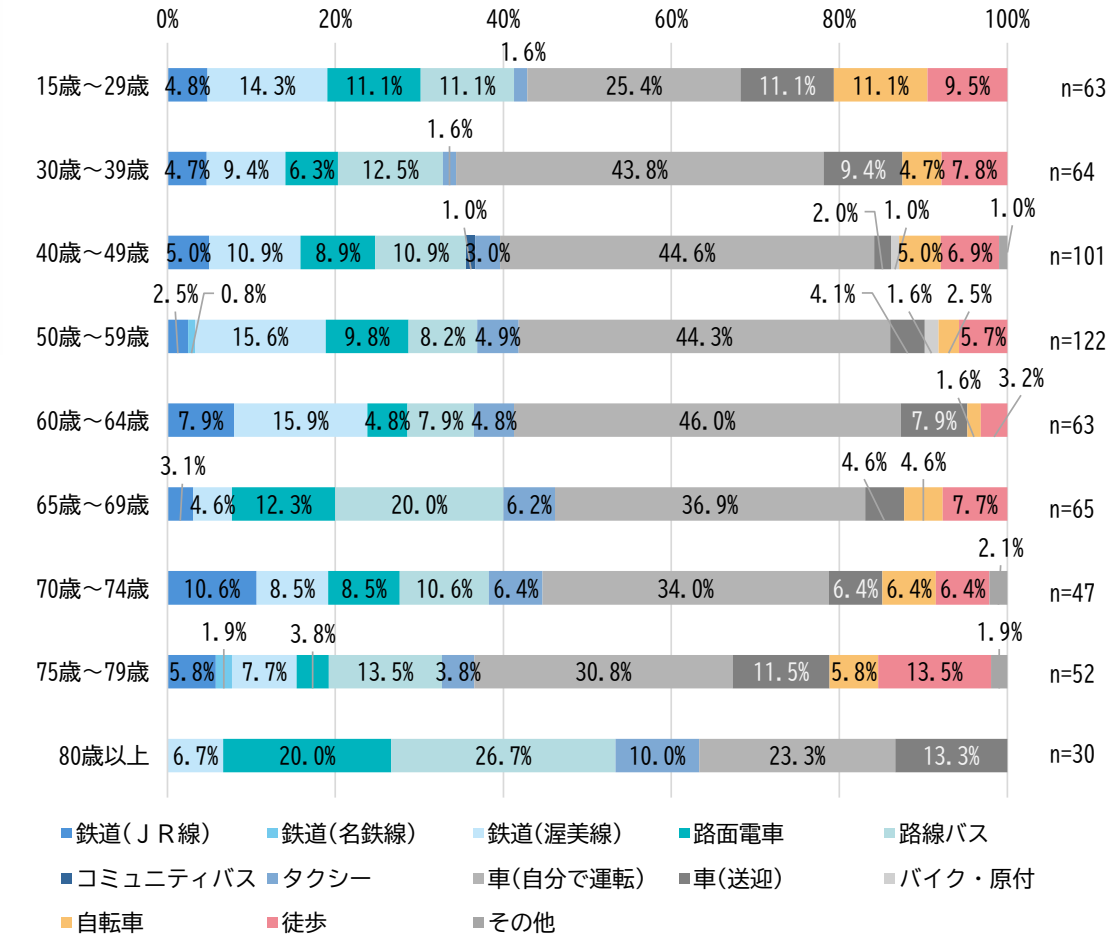
※複数選択から、代表交通手段を集計

図 1-24　＜市民＞豊橋駅周辺のまちなかへのお出かけの年代別主な交通手段

- 豊橋駅周辺のまちなかへのお出かけからの帰宅をみると、「15～29 歳」や「80 歳以上」は、他の年代と比べて車（自分で運転）の割合が低くなっている。

＜市民 2-1 目的ごとに、主な移動手段を選んでください＞

【豊橋駅周辺のまちなかへのお出かけからの帰宅】



※複数選択から、代表交通手段を集計

図 1-25　＜市民＞豊橋駅周辺のまちなかへのお出かけからの帰宅の年代別主な交通手段

② 地域別の目的別交通手段分担率

- 通勤・通学の地域別の交通手段分担率をみると、「地域４中心部地域」は、他の地域と比べて車（自分で運転）の割合が低く、公共交通（鉄道、路面電車、バス、タクシー）や徒歩、自転車の割合が高くなっている。また、「地域２路面電車北側地域」でも他の地域と比べて公共交通の割合が高くなっている。
- 一方、特に「地域３豊川（河川）北側地域」「地域 11 臨海部地域」「地域 12 南部地域」では、他の地域と比べて車（自分で運転）の割合が高くなっている。

＜市民 2-1 目的ごとに、主な移動手段を選んでください＞

【通勤・通学】

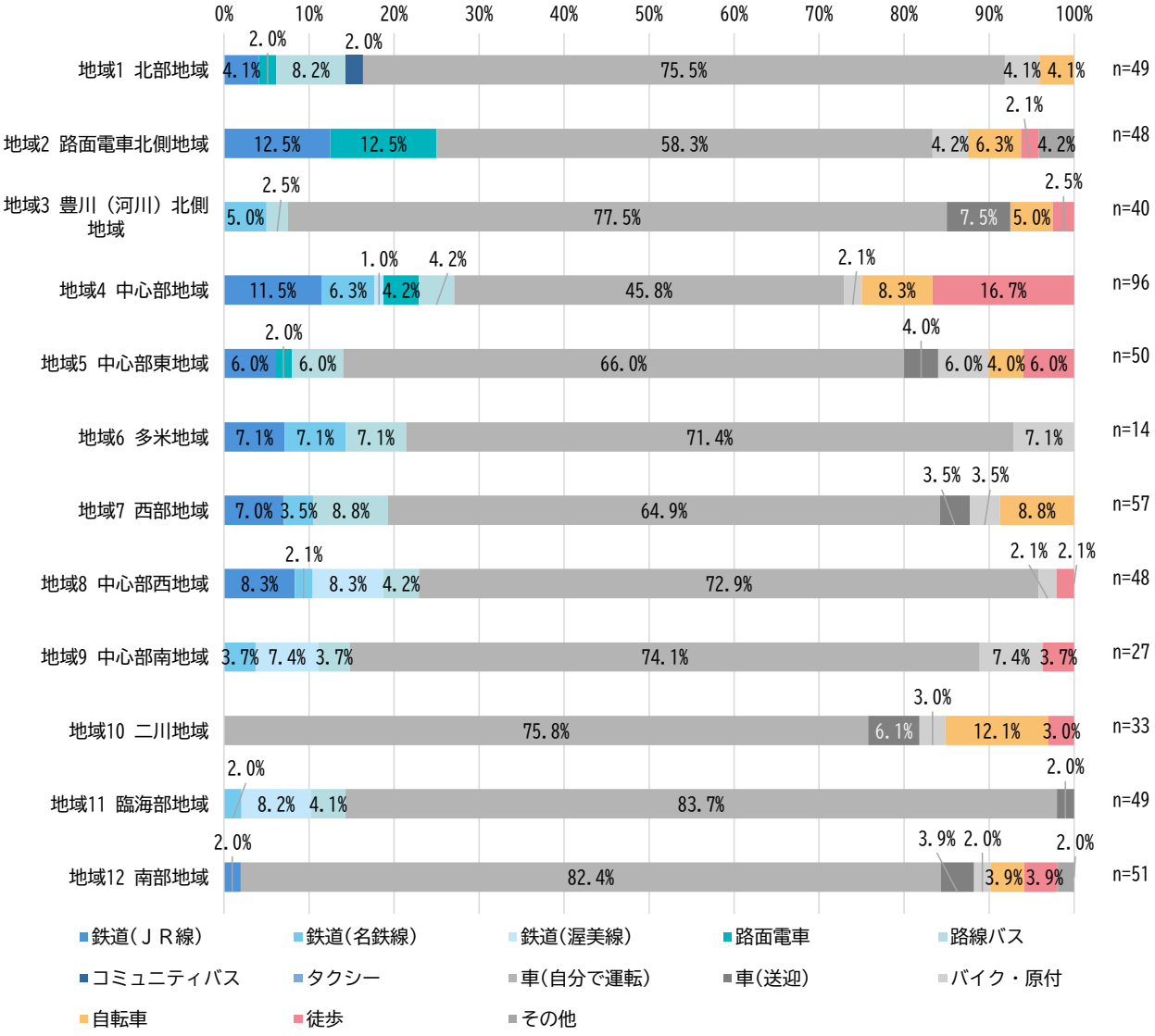


図 1-26　＜市民＞通勤・通学の地域別主な移動手段

- 日常の買い物をみると、「地域４中心部地域」「地域７西部地域」「地域８中心部西地域」「地域９中心部南地域」は、他の地域と比べて車（自分で運転）の割合が低く、自転車や徒歩の割合が高くなっている。

＜市民 2-1 目的ごとに、主な移動手段を選んでください＞

【日常の買い物】

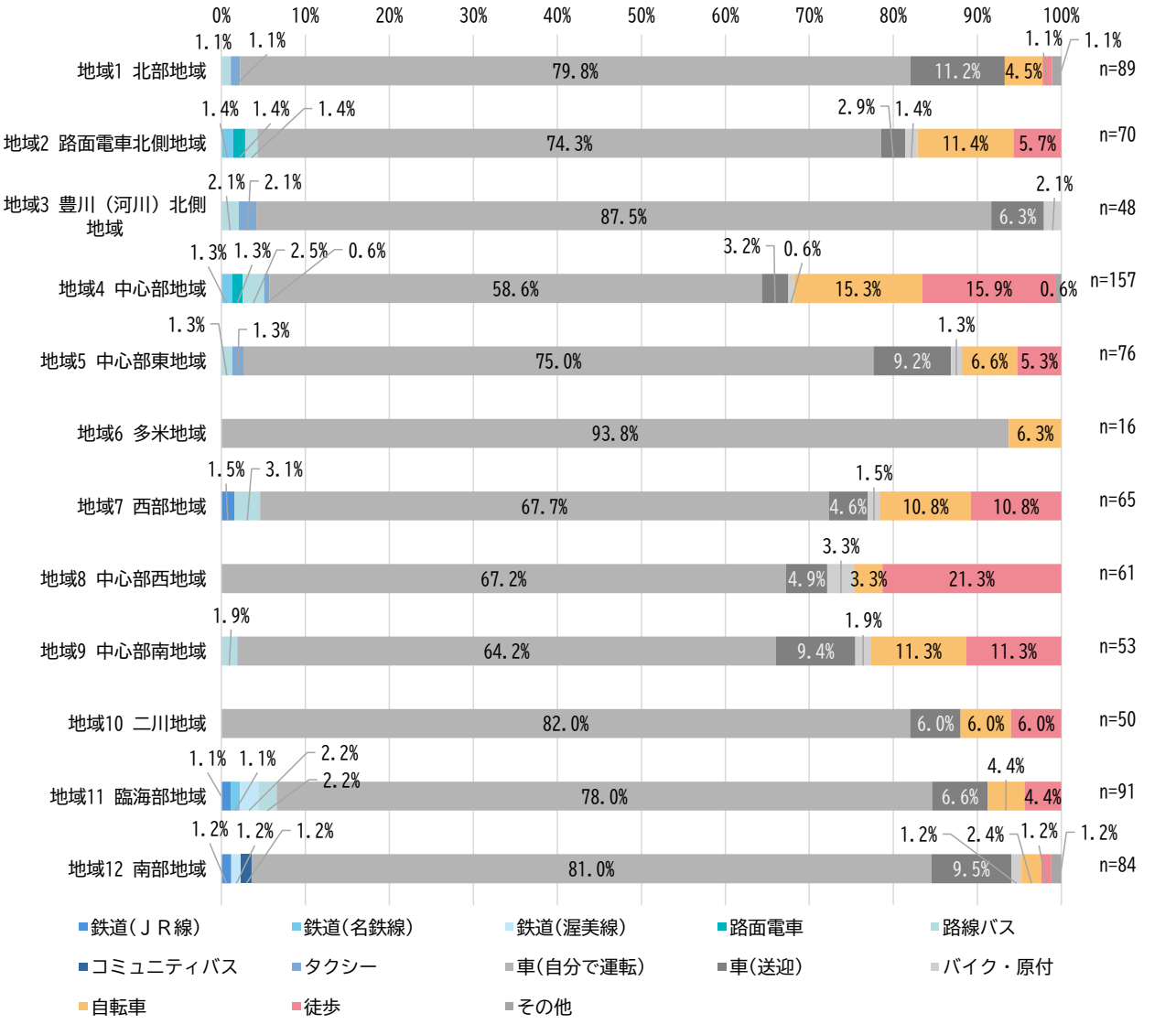


図 1-27　＜市民＞日常の買い物の地域別主な移動手段

- 通院をみると、「地域４中心部地域」「地域８中心部西地域」は、他の地域と比べて車（自分で運転）の割合が低く、徒歩の割合が高くなっている。

＜市民 2-1 目的ごとに、主な移動手段を選んでください＞

【通院】

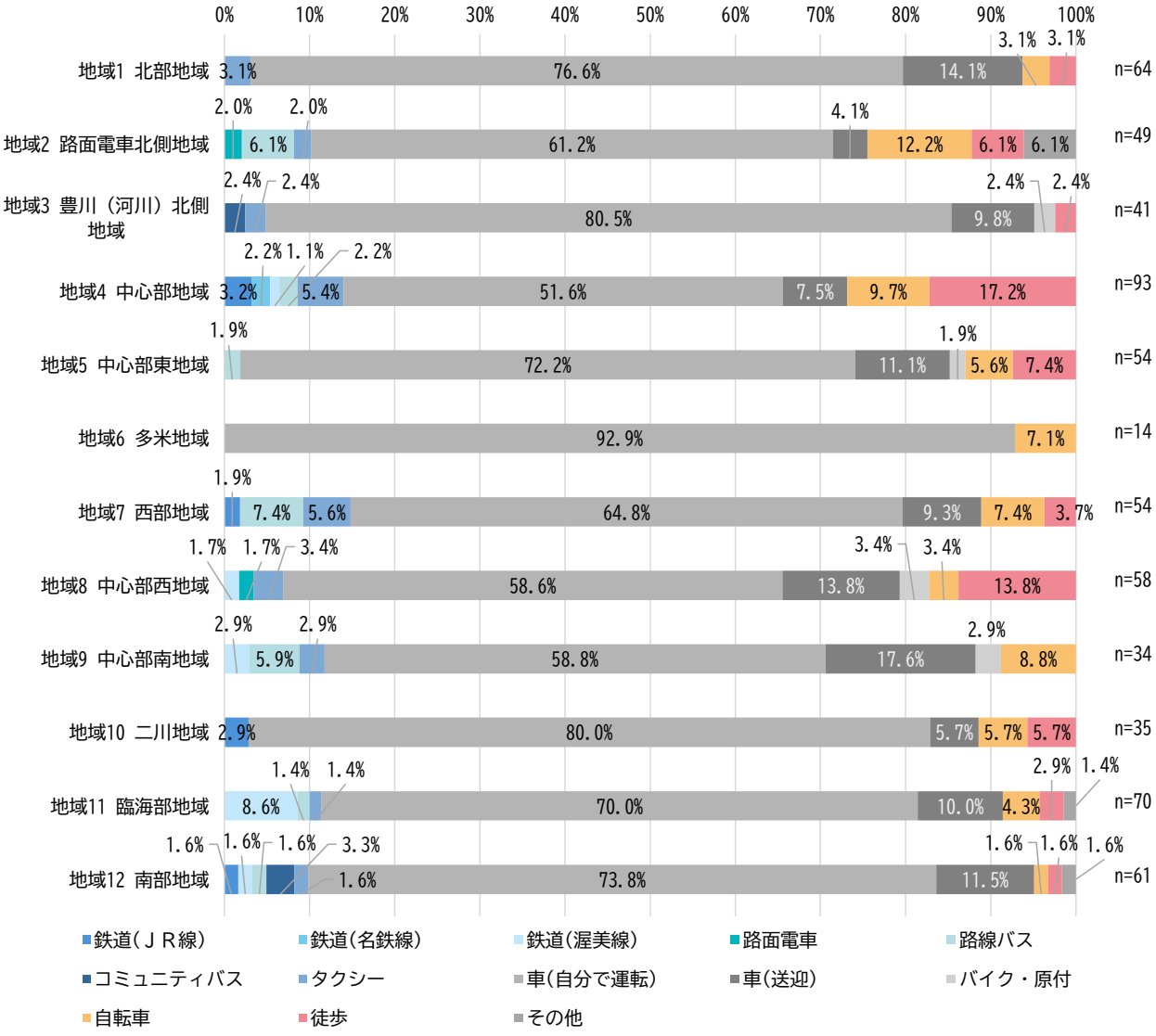


図 1-28　＜市民＞通院の地域別主な移動手段

- その他（レジャーなど）をみると、「地域４中心部地域」は、他の地域と比べて車（自分で運転）の割合が低くなっている。

＜市民 2-1 目的ごとに、主な移動手段を選んでください＞
【その他（レジャーなど）】

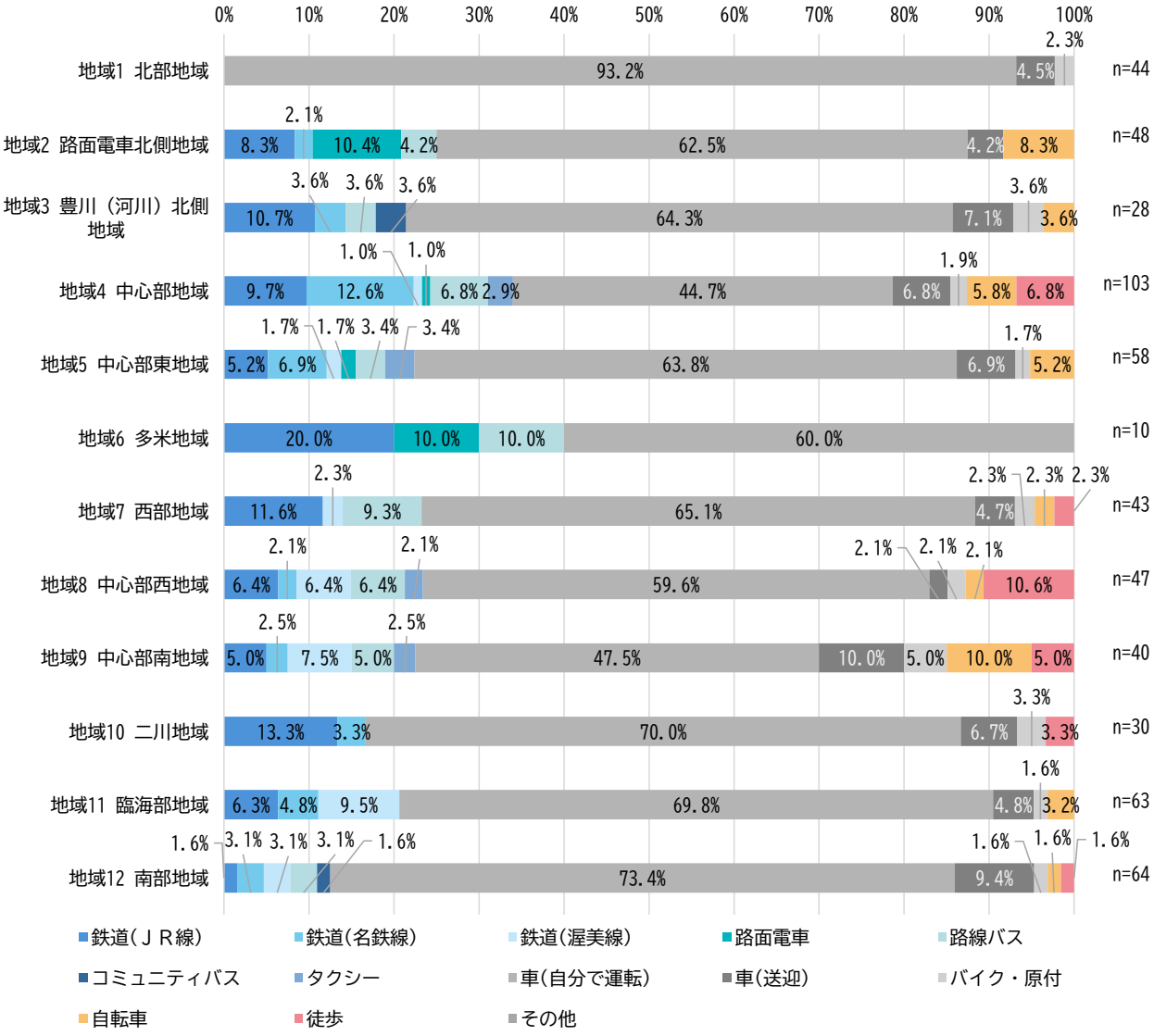


図 1-29　＜市民＞その他（レジャーなど）の地域別主な移動手段

- 豊橋駅周辺のまちなかへのお出かけをみると、「地域４中心部地域」は、他の地域と比べて車（自分で運転）の割合が低く、自転車と徒歩の割合は高くなっている。また、「地域５中心部東地域」「地域８中心部西地域」「地域９中心部南地域」は、他の地域と比べて車（自分で運転）の割合が低く、公共交通（鉄道、路面電車、バス、タクシー）の割合が高くなっている。

＜市民 2-1 目的ごとに、主な移動手段を選んでください＞

【豊橋駅周辺のまちなかへのお出かけ】

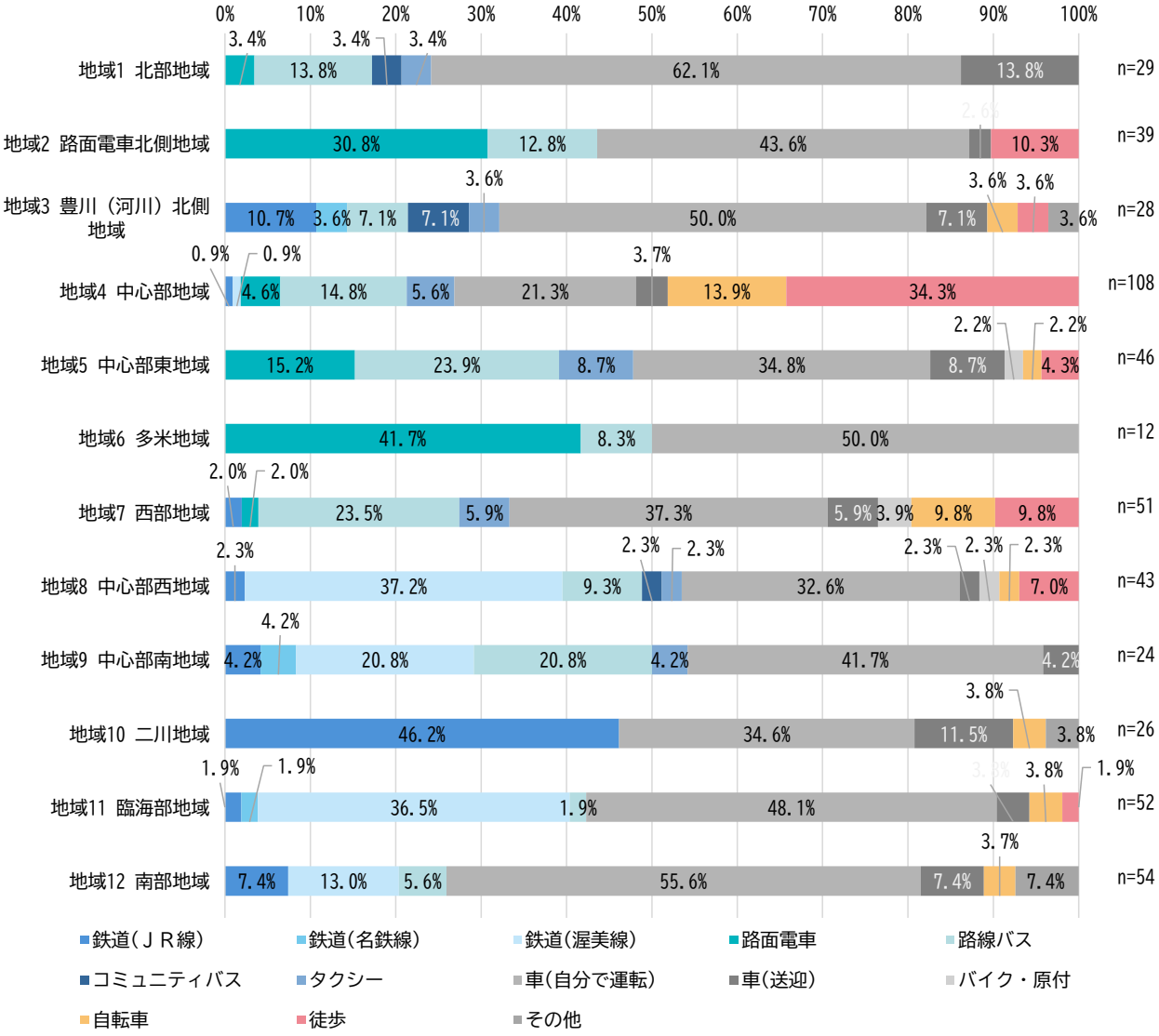


図 1-30　＜市民＞豊橋駅周辺のまちなかへのお出かけの地域別主な移動手段

- 豊橋駅周辺のまちなかへのお出かけからの帰宅をみると、「地域４中心部地域」「地域７西部地域」は、他の地域と比べて車（自分で運転）の割合が低く、自転車と徒歩の割合が高くなっている。

＜市民 2-1 目的ごとに、主な移動手段を選んでください＞
【豊橋駅周辺のまちなかへのお出かけからの帰宅】

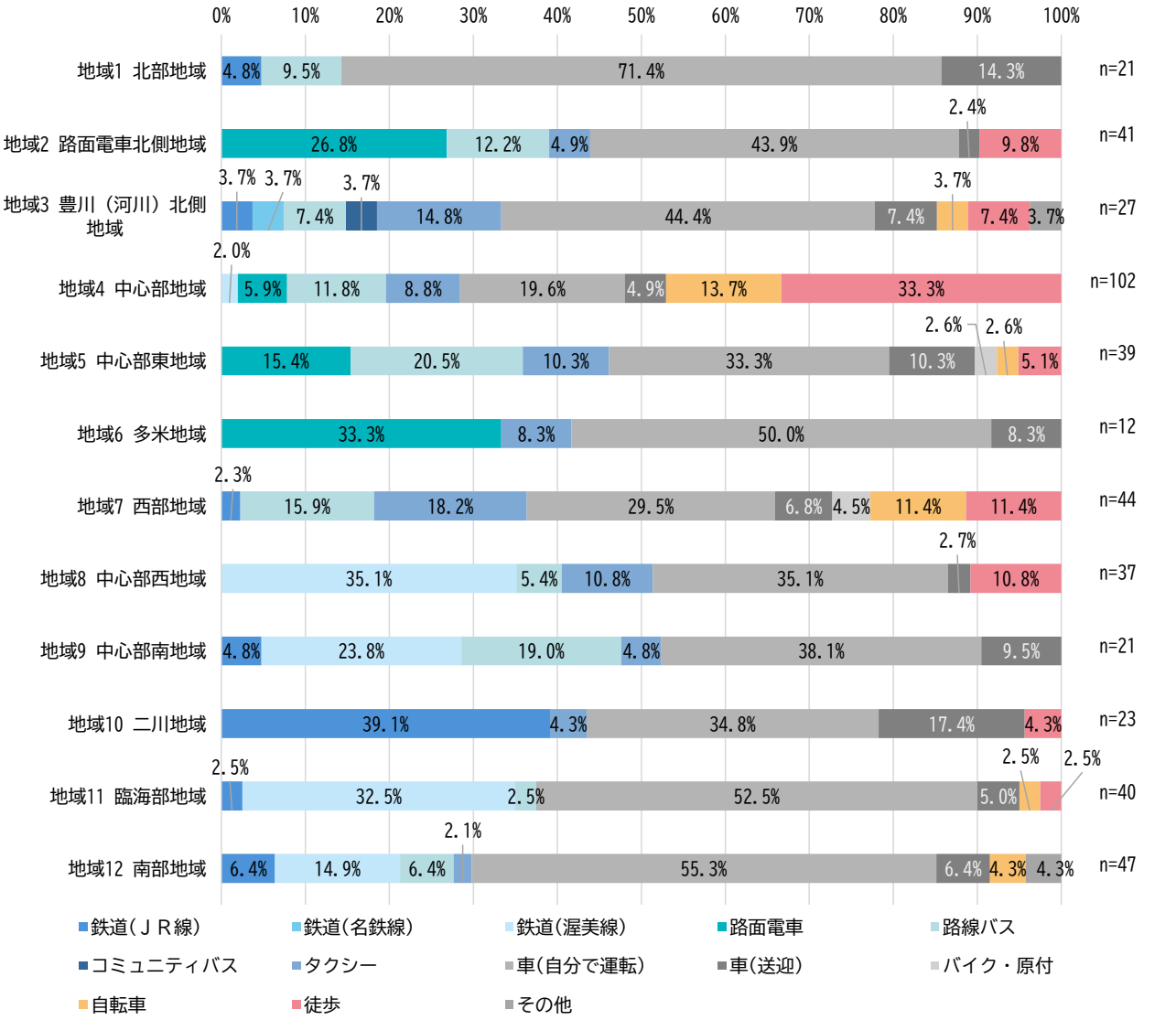


図 1-31　＜市民＞豊橋駅周辺のまちなかへのお出かけからの帰宅の地域別主な移動手段

4) 交通手段を利用する理由

- 目的別の交通手段を利用する理由をみると、「通勤・通学」や「通院」では、他の目的と比べて「早くいけるから」「他に交通手段がないから」の割合が高くなっている。「日常の買い物」では「荷物があるから」、「その他（レジャーなど）」は「楽だから」、「豊橋駅周辺のまちなかへのお出かけ（帰宅）」では「お酒を飲む機会があるから」が高くなっている。

＜市民 2-1 目的ごとに、主な移動手段を選ぶ理由を選んでください＞

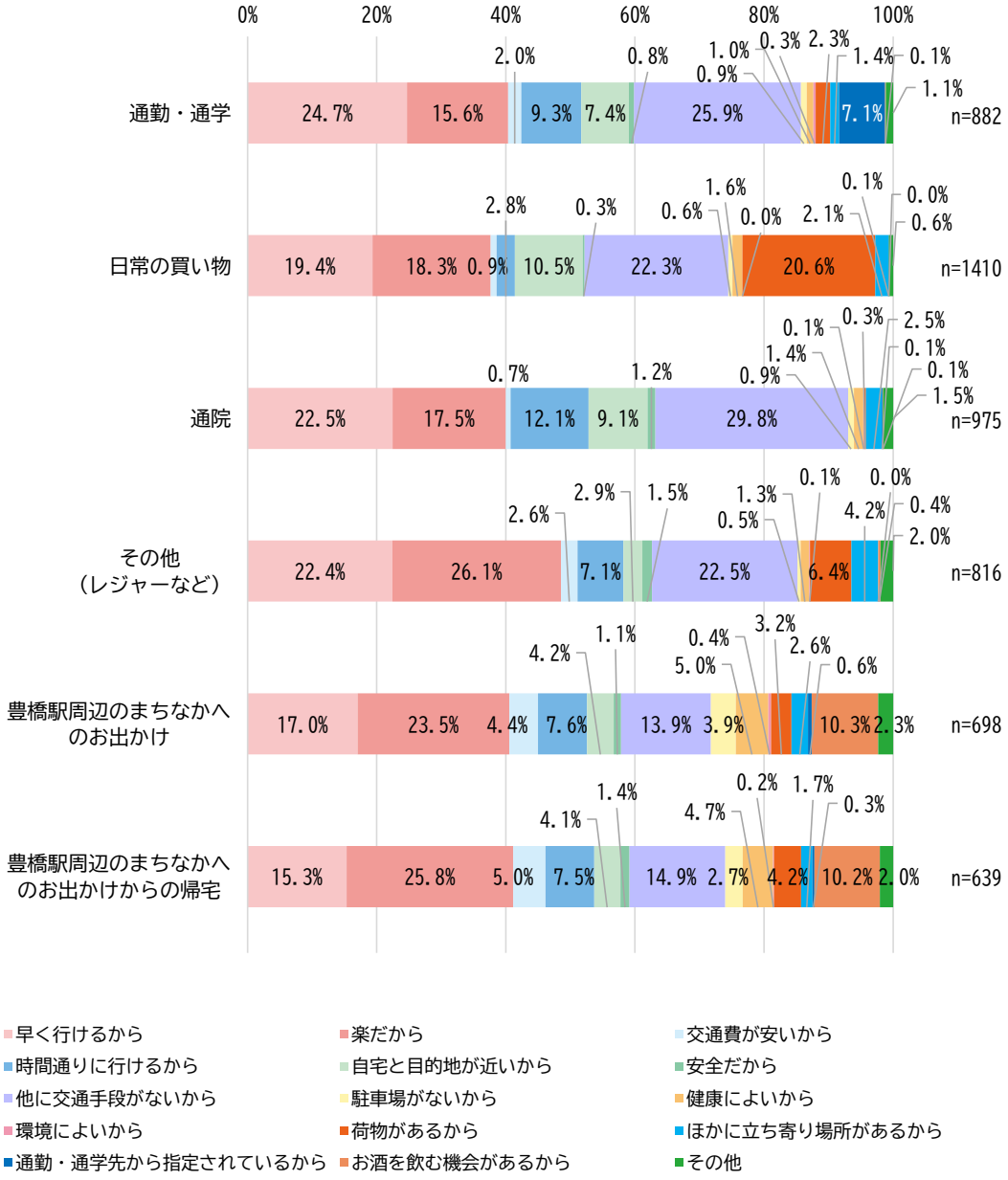


図 1-32　＜市民＞目的別の主な交通手段を利用する理由

5) 移動に関する困りごとの度合い

- 目的別の困りごとの度合いは、「豊橋駅周辺のまちなかへのお出かけ（からの帰宅）」で困っているとやや困っているの割合が高く、それぞれ約２割を占めている。

＜市民 2-2　問 2-1 でご回答いただいた移動を行うにあたって、困っている度合いを選んでください＞

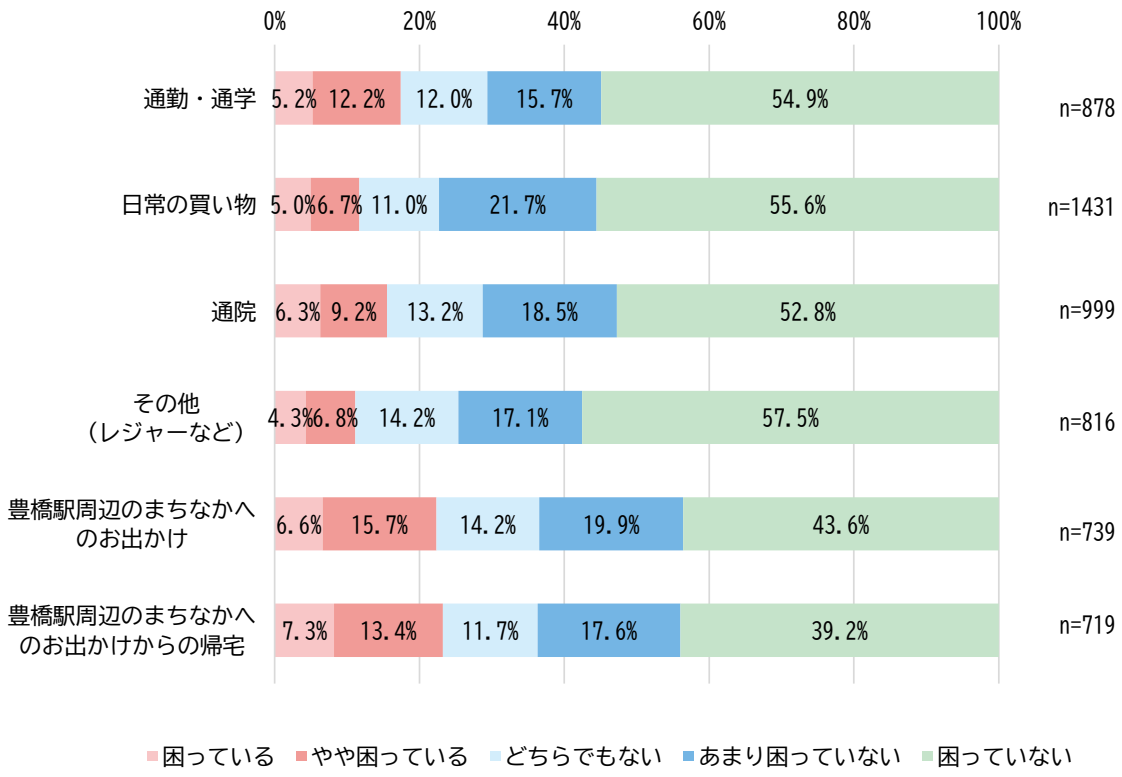


図 1-33　＜市民＞目的別の困りごとの度合い

① 年代別の目的別困りごとの度合い

- 通勤・通学目的の年代別の困りごとをみると、「15～29 歳」は、他の年代と比べて困っているとやや困っているの割合が高く、「65～69 歳」では低くなっている。

＜市民 2-2　問 2-1 でご回答いただいた移動を行うにあたって、困っている度合いを選んでください＞
【通勤・通学】

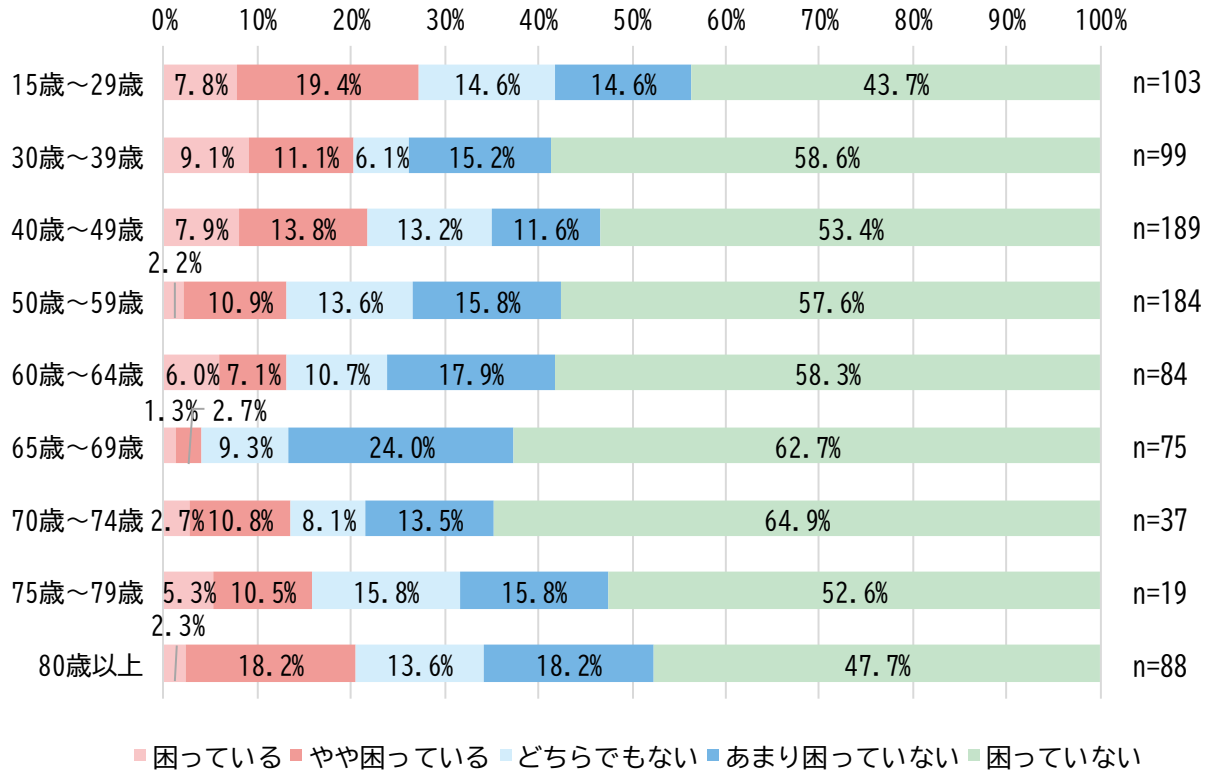


図 1-34　＜市民＞通勤・通学の年代別困りごとの度合い

- 日常の買い物目的をみると、「80 歳以上」は、他の年代と比べて困っているとやや困っているの割合が高くなっている。

＜市民 2-2　問 2-1 でご回答いただいた移動を行うにあたって、困っている度合いを選んでください＞
【日常の買い物】

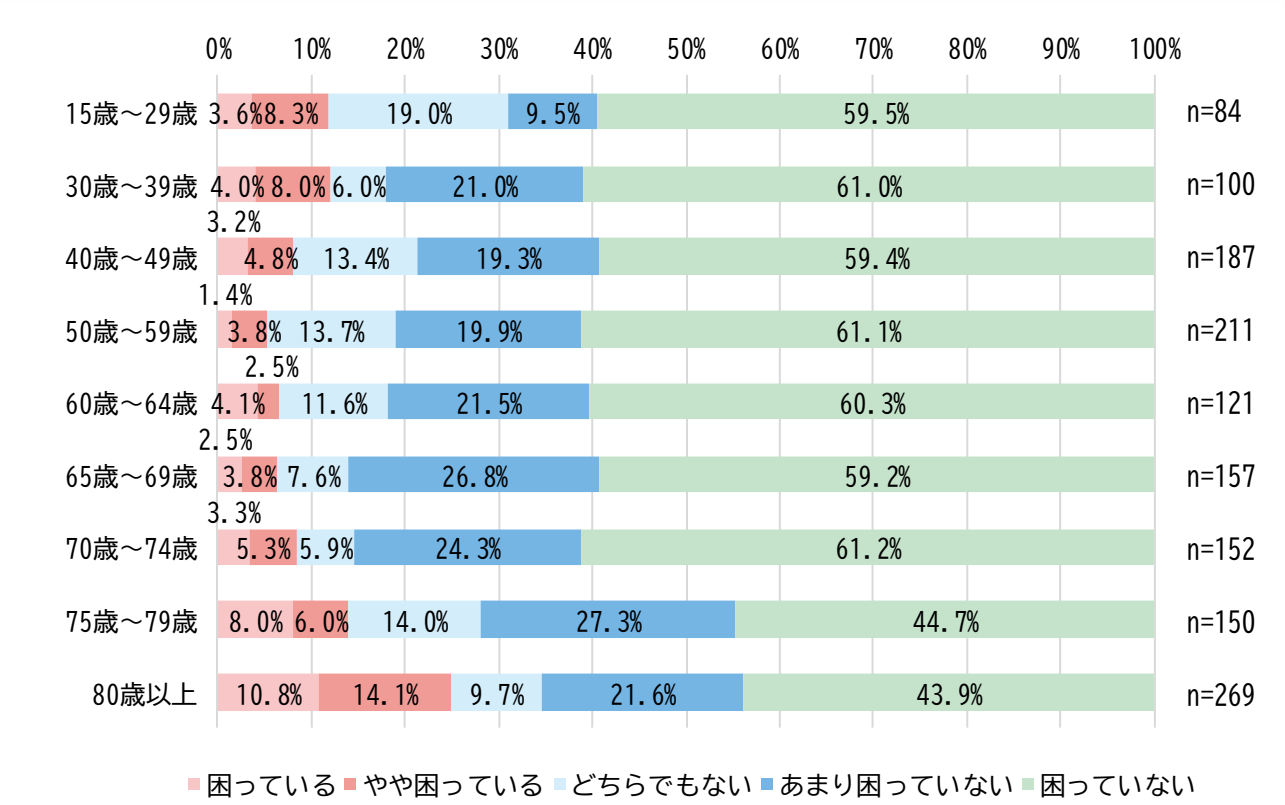


図 1-35　＜市民＞日常の買い物の年代別困りごとの度合い

- 通院目的をみると、「80 歳以上」は、他の年代と比べて困っているとやや困っているの割合が高くなっている。

＜市民 2-2　問 2-1 でご回答いただいた移動を行うにあたって、困っている度合いを選んでください＞
【通院】

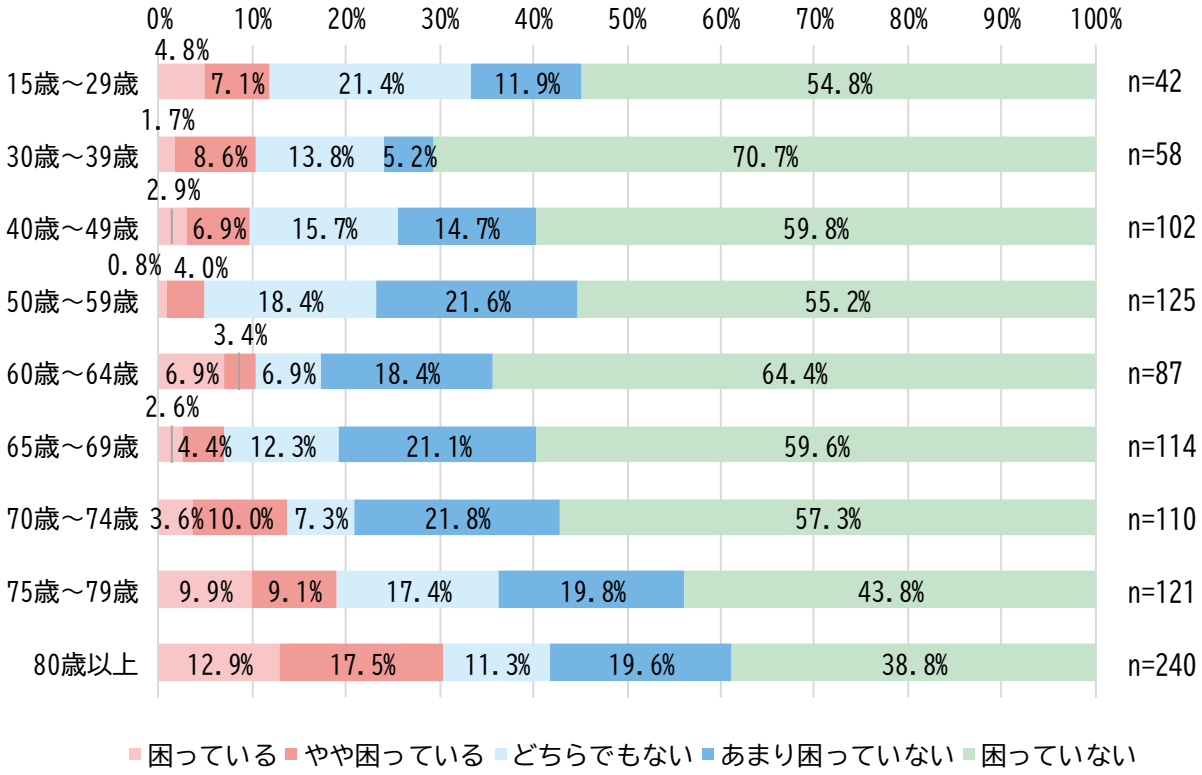


図 1-36　＜市民＞通院の年代別困りごとの度合い

- その他（レジャー）目的をみると、「80 歳以上」は他の年代と比べて困っているとやや困っているの割合が高くなっている。

＜市民 2-2　問 2-1 でご回答いただいた移動を行うにあたって、困っている度合いを選んでください＞
【その他（レジャー等）】

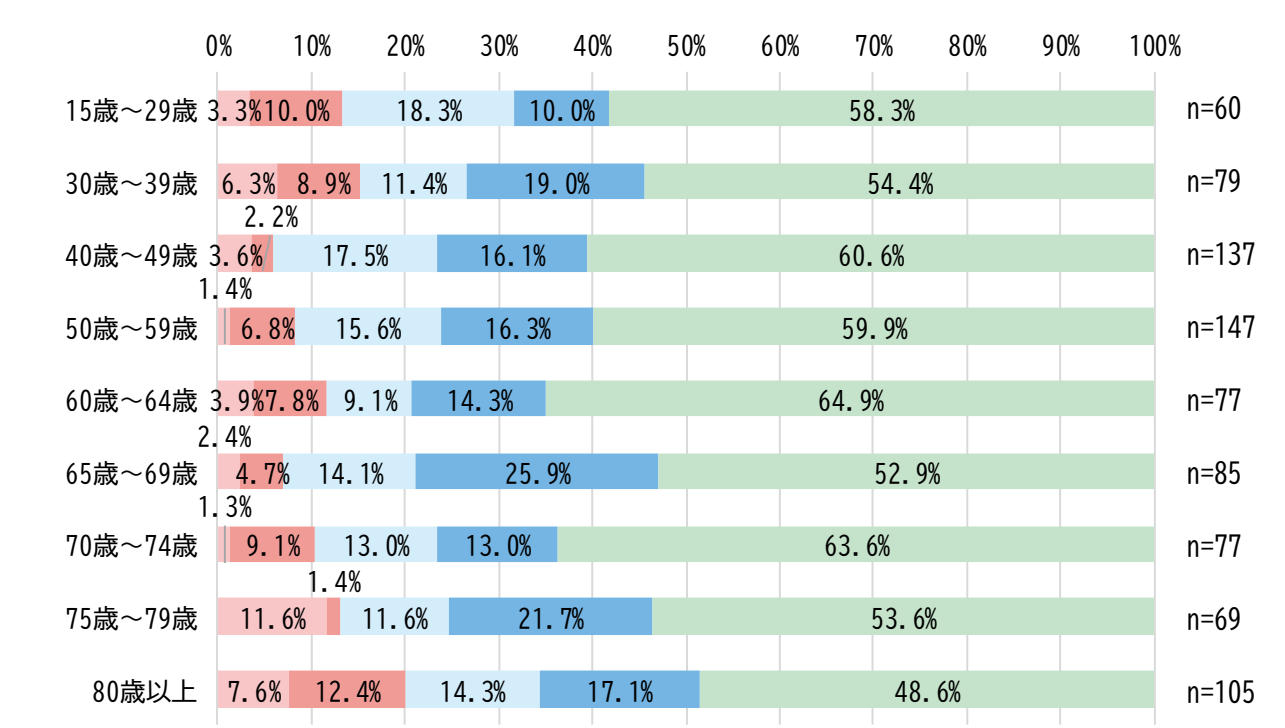


図 1-37　＜市民＞その他（レジャー等）の年代別困りごとの度合い

- 豊橋駅周辺のまちなかへのお出かけをみると、「80 歳以上」は、他の年代と比べて困っているとやや困っているの割合が高くなっている。その他、「15～29 歳」「60～64 歳」「75～79 歳」でも約３割となっている。

＜市民 2-2　問 2-1 でご回答いただいた移動を行うにあたって、困っている度合いを選んでください＞
【豊橋駅周辺のまちなかへのお出かけ】

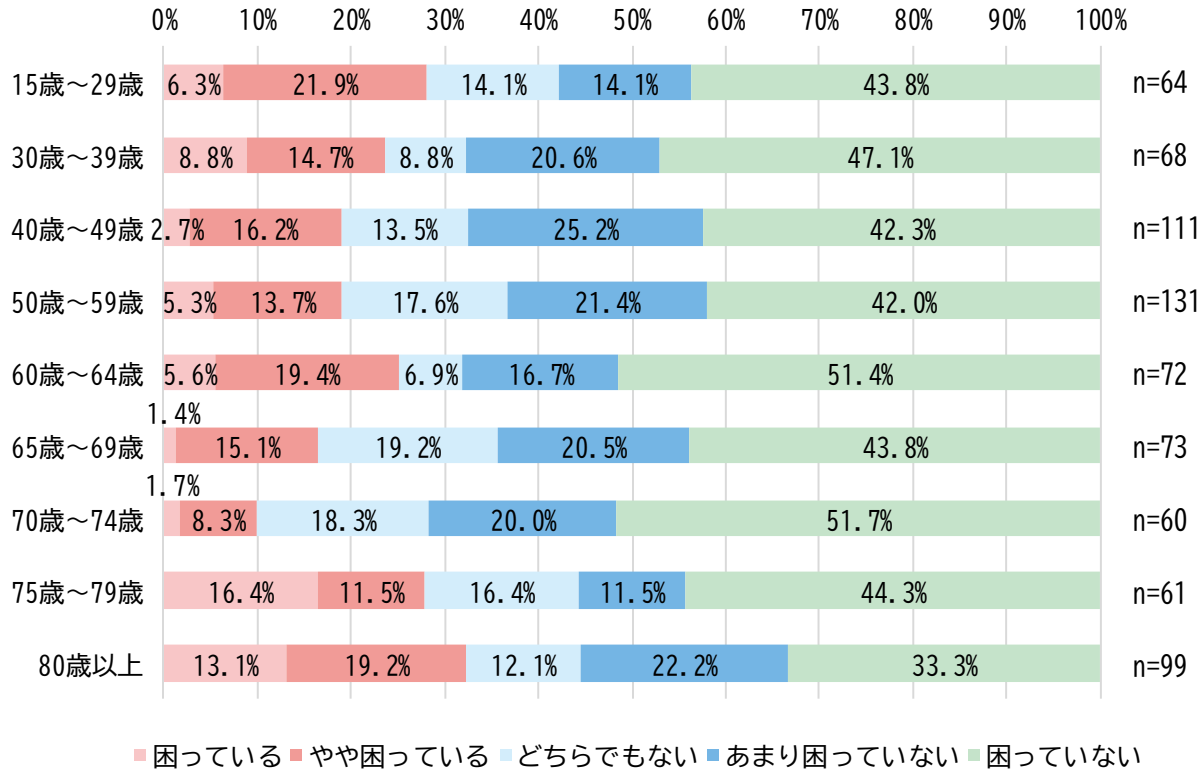


図 1-38　＜市民＞豊橋駅周辺のまちなかへのお出かけの年代別困りごとの度合い

- 豊橋駅周辺のまちなかへのお出かけからの帰宅目的をみると、「80 歳以上」は、他の年代と比べて困っているとやや困っているの割合が高くなっている。その他、「15～29 歳」「30～39 歳」「60～64 歳」でも約３割となっている。

＜市民 2-2　問 2-1 でご回答いただいた移動を行うにあたって、困っている度合いを選んでください＞
【豊橋駅周辺のまちなかへのお出かけからの帰宅】

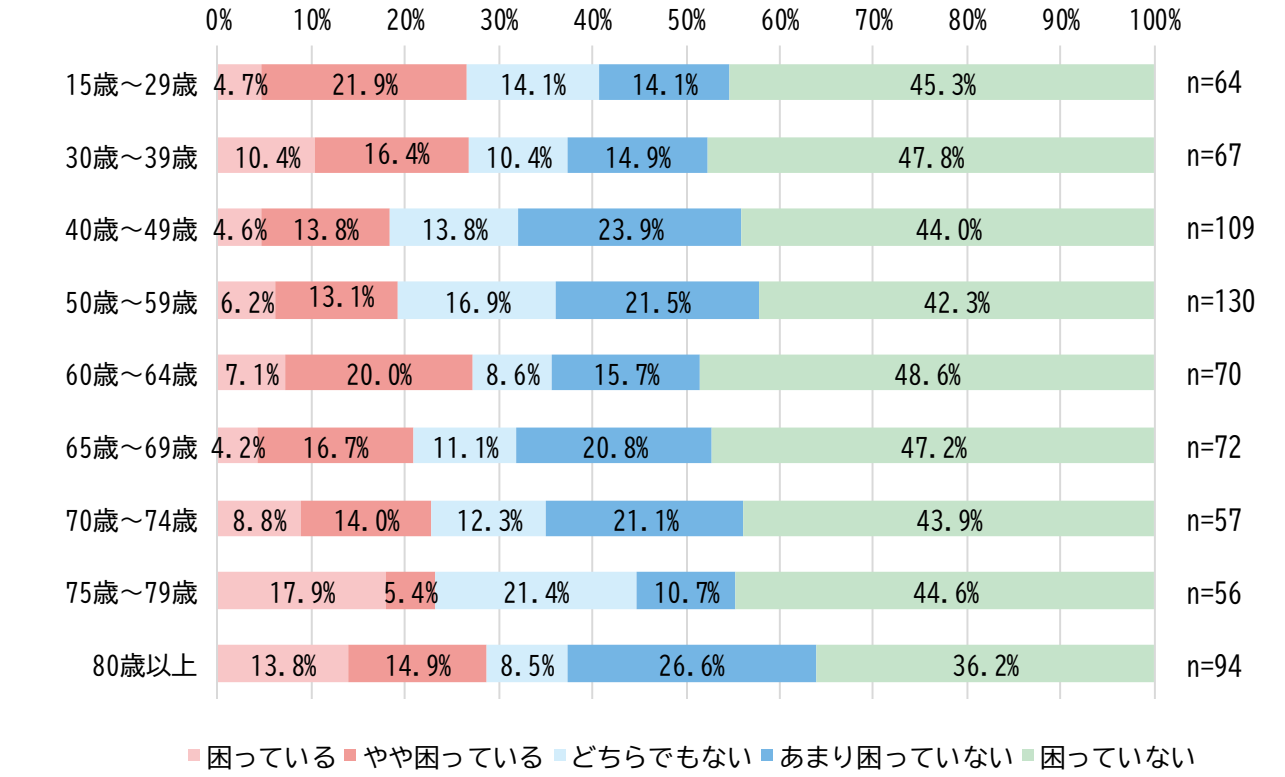


図 1-39　＜市民＞豊橋駅周辺のまちなかへのお出かけからの帰宅の年代別困りごとの度合い

② 地域別の目的別困りごとの度合い

- 通勤・通学目的の地域別の困りごとをみると、「地域３豊川（河川）北側地域」は、他の地域と比べて困っているとやや困っているの割合が高くなっている。

＜市民 2-2　問 2-1 でご回答いただいた移動を行うにあたって、困っている度合いを選んでください＞
【通勤・通学】

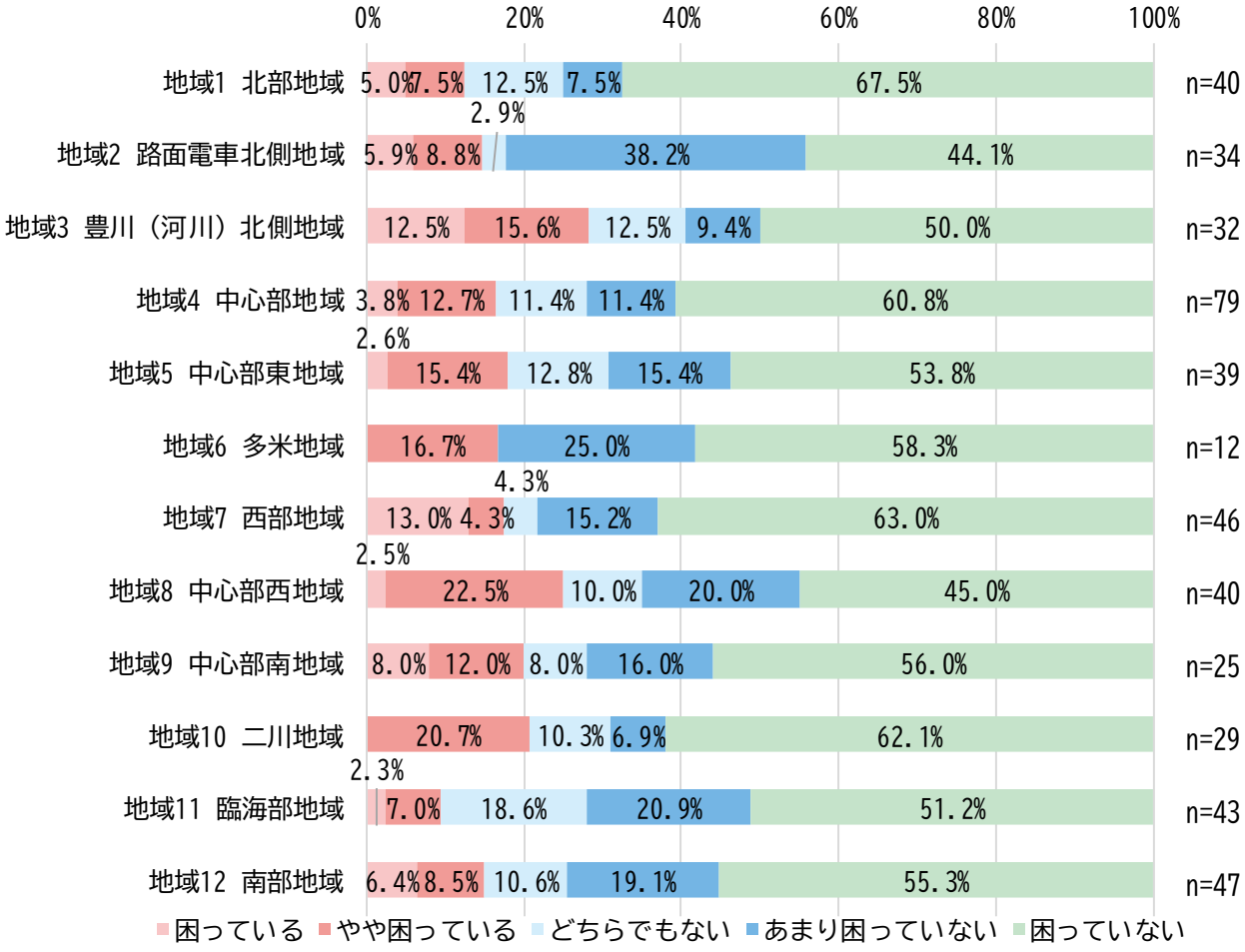


図 1-40　＜市民＞通勤・通学の地域別困りごとの度合い

- 日常の買い物目的をみると、「地域 1 北部地域」「地域 10 二川地域」は、他の地域と比べて困っているとやや困っているの割合が高くなっている。

＜市民 2-2　問 2-1 でご回答いただいた移動を行うにあたって、困っている度合いを選んでください＞
【日常の買い物】

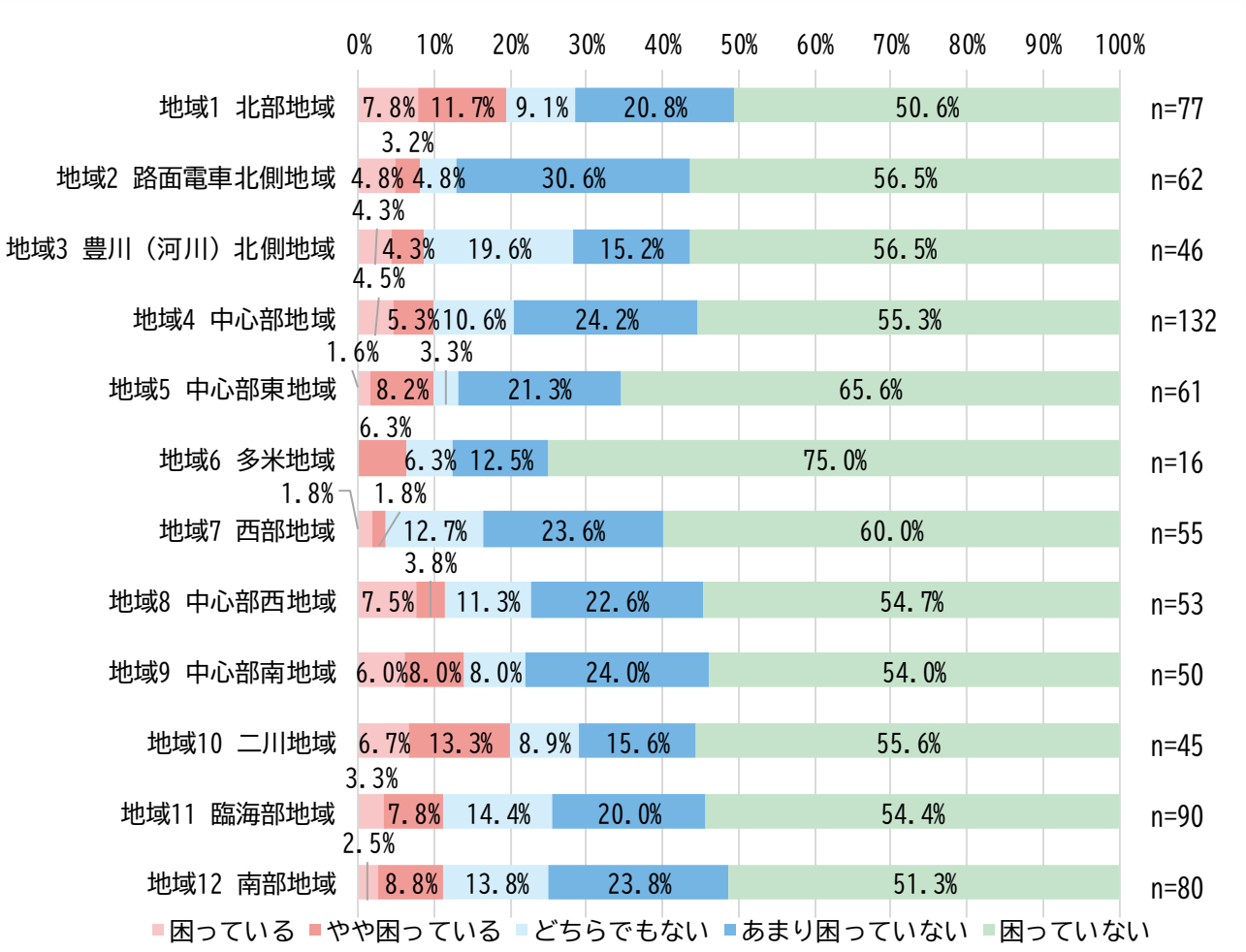


図 1-41　＜市民＞日常の買い物の地域別困りごとの度合い

- 通院目的をみると、「地域 1 北部地域」は、他の地域と比べて困っているとやや困っているの割合が高くなっている。

＜市民 2-2　問 2-1 でご回答いただいた移動を行うにあたって、困っている度合いを選んでください＞
【通院】

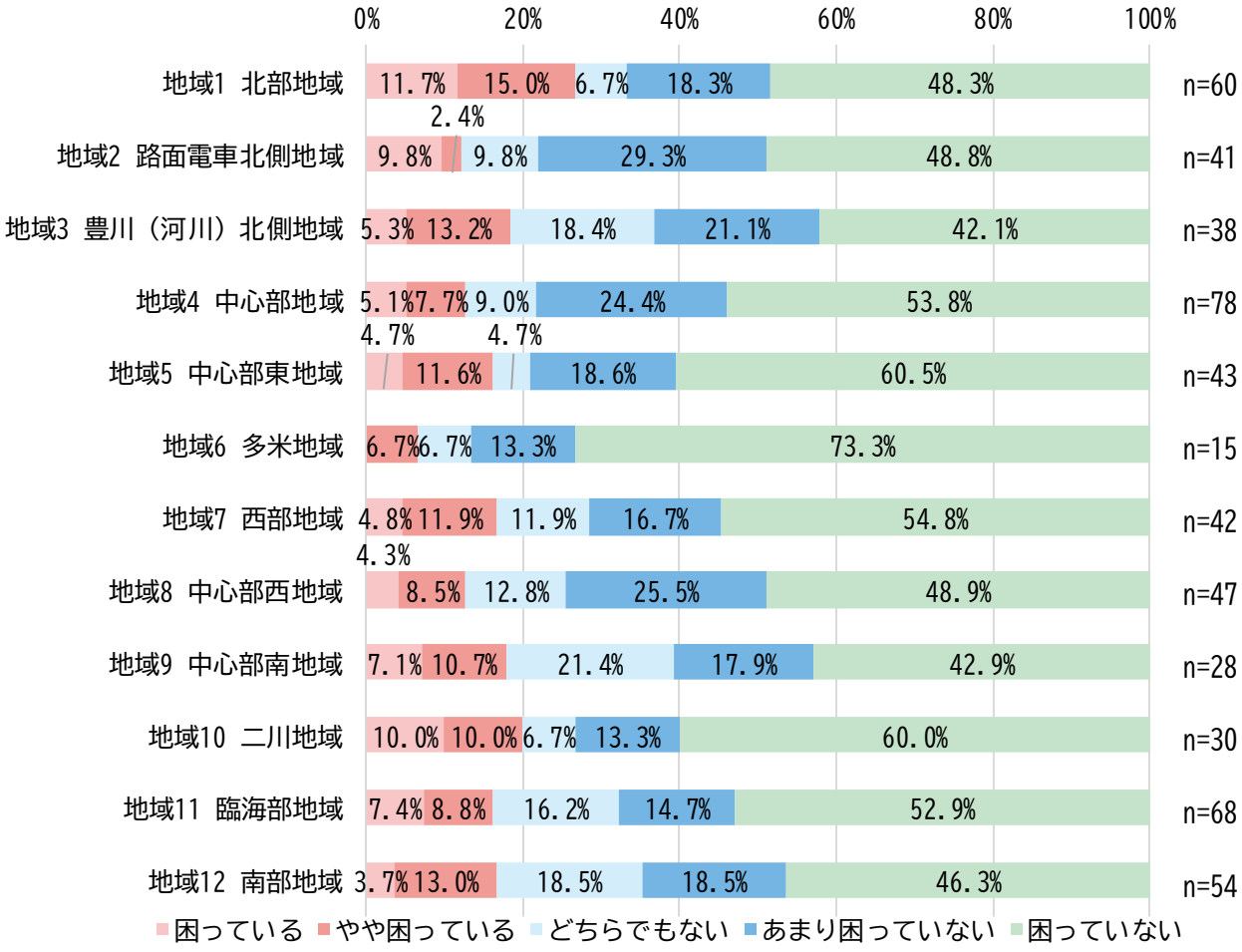


図 1-42　＜市民＞通院の地域別困りごとの度合い

- その他（レジャー）目的をみると、「地域６多米地域」はサンプル数が８と少ないが、他の地域と比べて困っているとやや困っているの割合が高くなっている。

＜市民 2-2　問 2-1 でご回答いただいた移動を行うにあたって、困っている度合いを選んでください＞
【その他（レジャー等）】

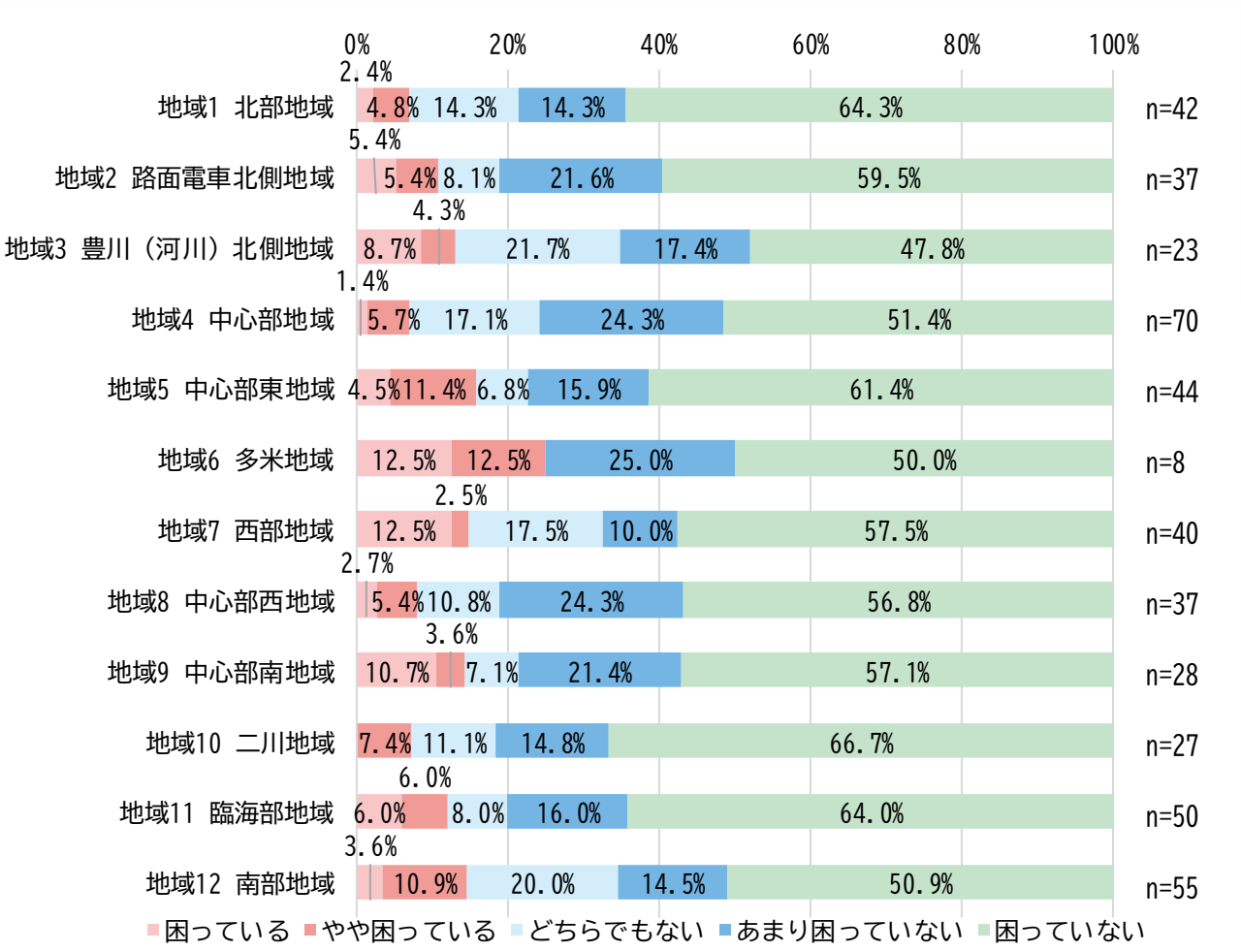


図 1-43　＜市民＞その他（レジャー等）の地域別困りごとの度合い

- 豊橋駅周辺のまちなかへのお出かけ目的をみると、「地域７西部地域」「地域 12 南部地域」、サンプル数が 10 と少ない「地域６多米地域」は、他の地域と比べて困っているとやや困っているの割合が高くなっている。

＜市民 2-2　問 2-1 でご回答いただいた移動を行うにあたって、困っている度合いを選んでください＞
【豊橋駅周辺のまちなかへのお出かけ】

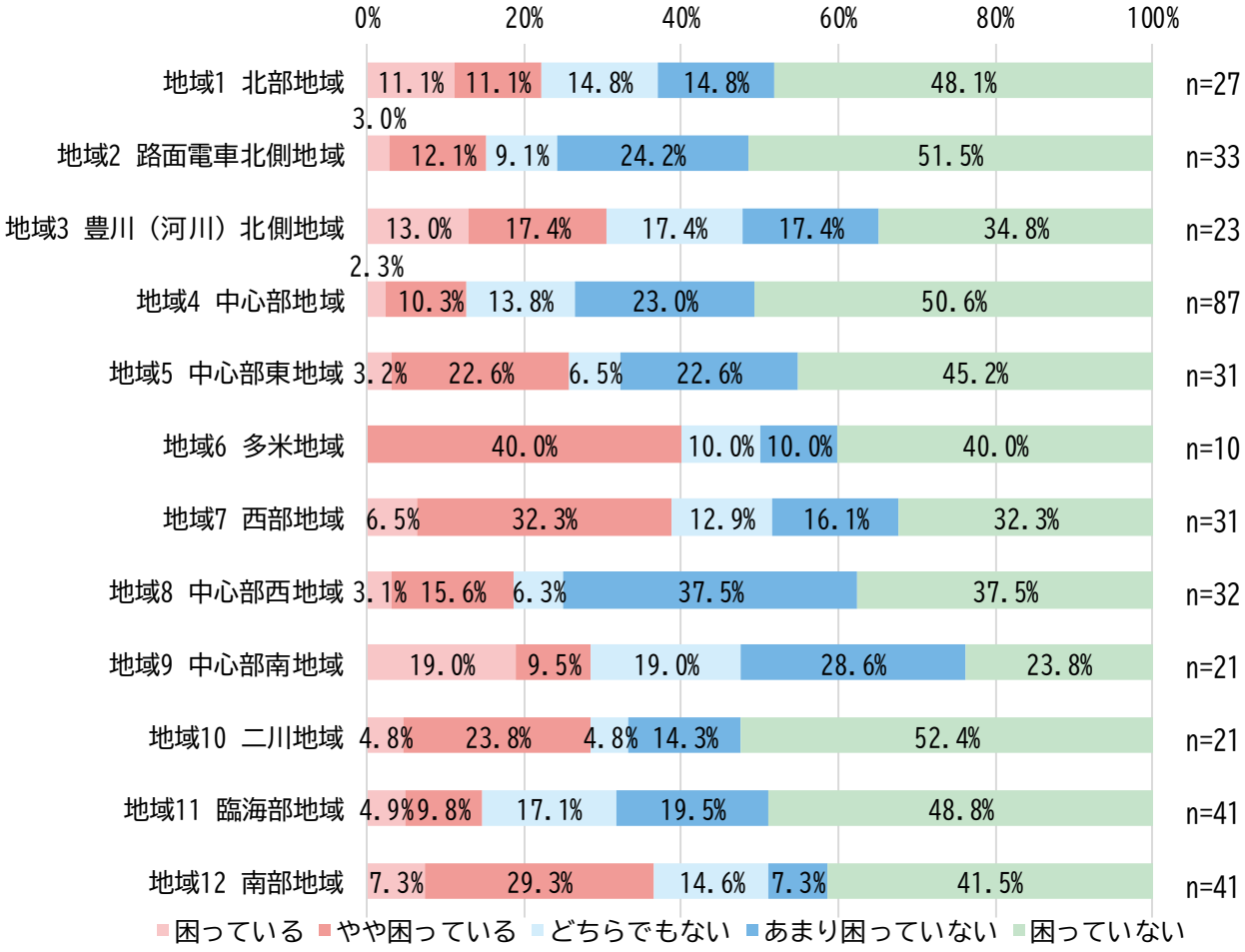


図 1-44　＜市民＞豊橋駅周辺のまちなかへのお出かけの地域別困りごとの度合い

- 豊橋駅周辺のまちなかへのお出かけからの帰宅目的をみると、サンプル数が 10 と少ないが、「地域６多米地域」は、他の地域と比べて困っているとやや困っているの割合が高くなっている。その他、「地域３豊川（河川）北側地域」「地域 10 二川地域」「地域 12 南部地域」でも３割以上となっている。

＜市民 2-2　問 2-1 でご回答いただいた移動を行うにあたって、困っている度合いを選んでください＞
【豊橋駅周辺のまちなかへのお出かけからの帰宅】

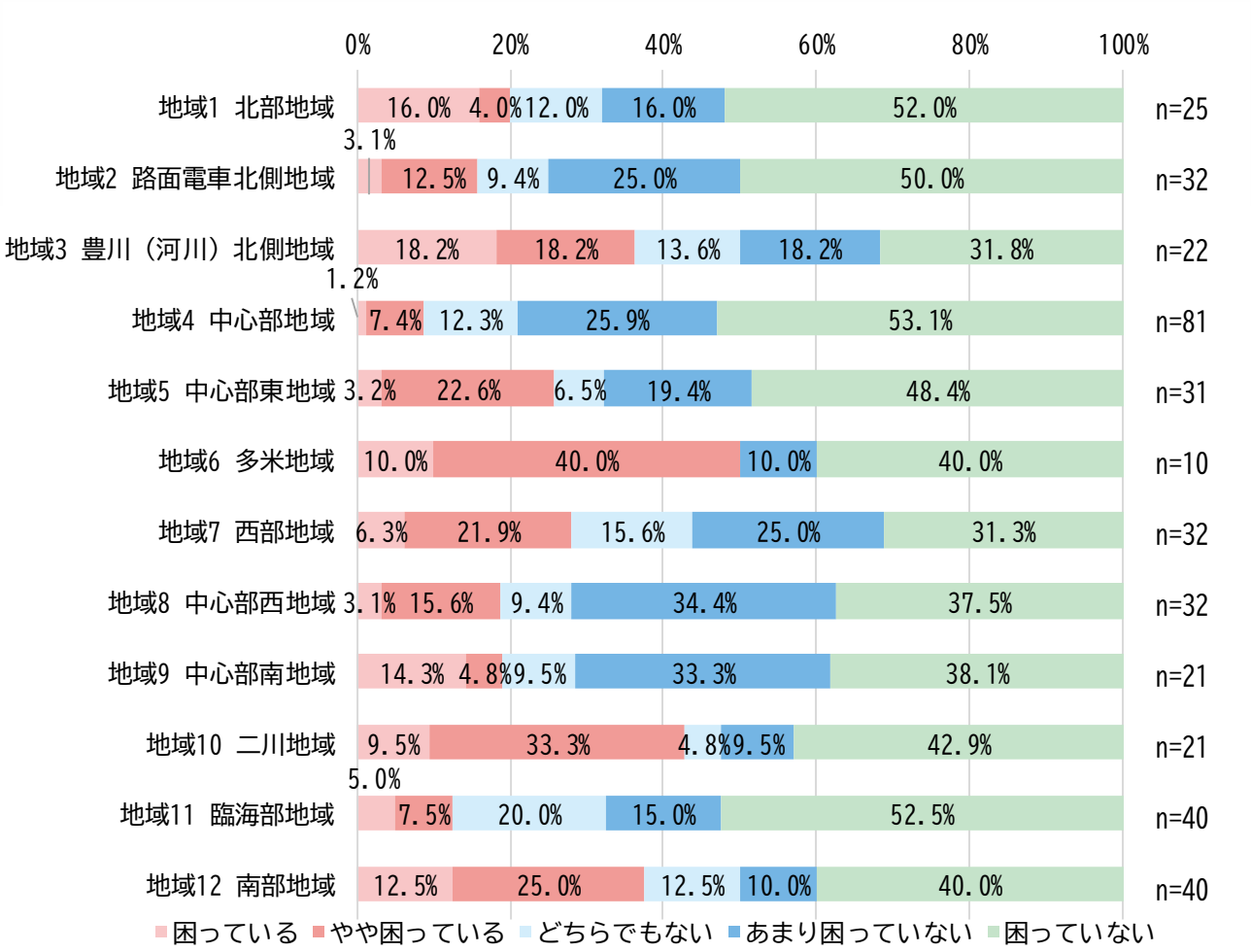
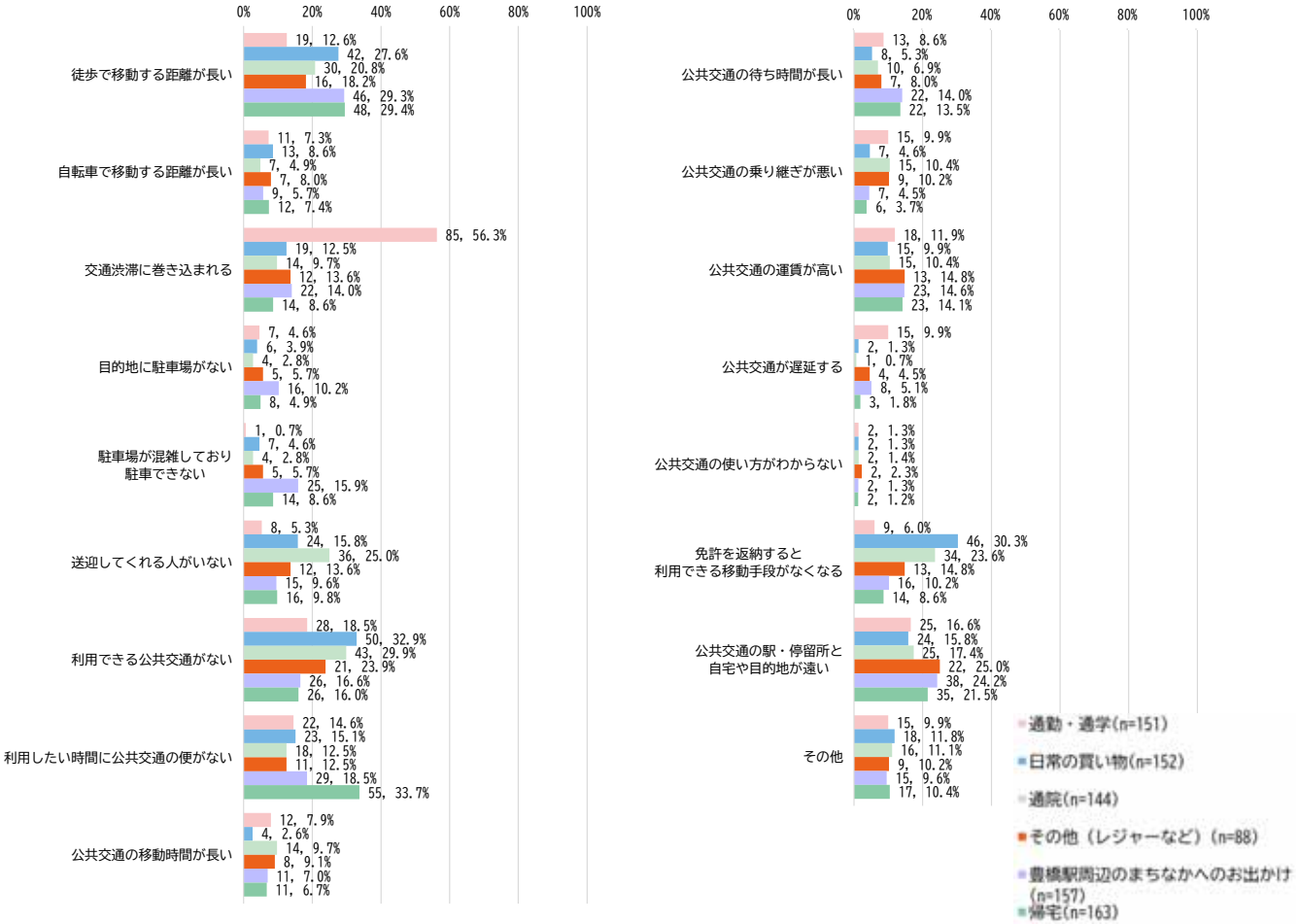


図 1-45　＜市民＞豊橋駅周辺のまちなかへのお出かけからの帰宅の地域別困りごとの度合い

6) 移動に関する困りごと

- 移動に関する困りごとを目的別にみると、「交通渋滞に巻き込まれる」は、通勤・通学で困っている人のうち約６割が回答している。その他、３割を超える回答は、「利用できる公共交通がない」の日常の買い物、「利用したい時間に公共交通の便がない」の帰宅、「免許を返納すると利用できる移動手段がなくなる」の日常の買い物となっている。

＜市民 2-2　問 2-1 でご回答いただいた移動を行うにあたって、困っている内容を選んでください＞



※＜市民＞2-2「移動に関する困っている度合い」で「1.困っている」「2.やや困っている」を選択した回答の「移動に関する困りごと（無回答除く）」を集計

図 1-46　＜市民＞目的別の困りごと

(3)交通手段別の利用状況

1) 交通手段の利用状況の変化

- 交通手段の利用状況の変化をみると、「自動車・バイク」で大きく増えたと増えたの割合が高く、合わせて約２割を占めている。
- 一方、鉄道では、大きく減ったとやや減ったの割合が高く、約２割を占めている。また、平成 27 年と比べても、大きく減ったとやや減った、以前からほとんど利用していないの割合が上昇しており、令和６年では合わせて過半数を超えている。

＜市民３　５～10 年くらい前と現在を比べた利用の変化＞

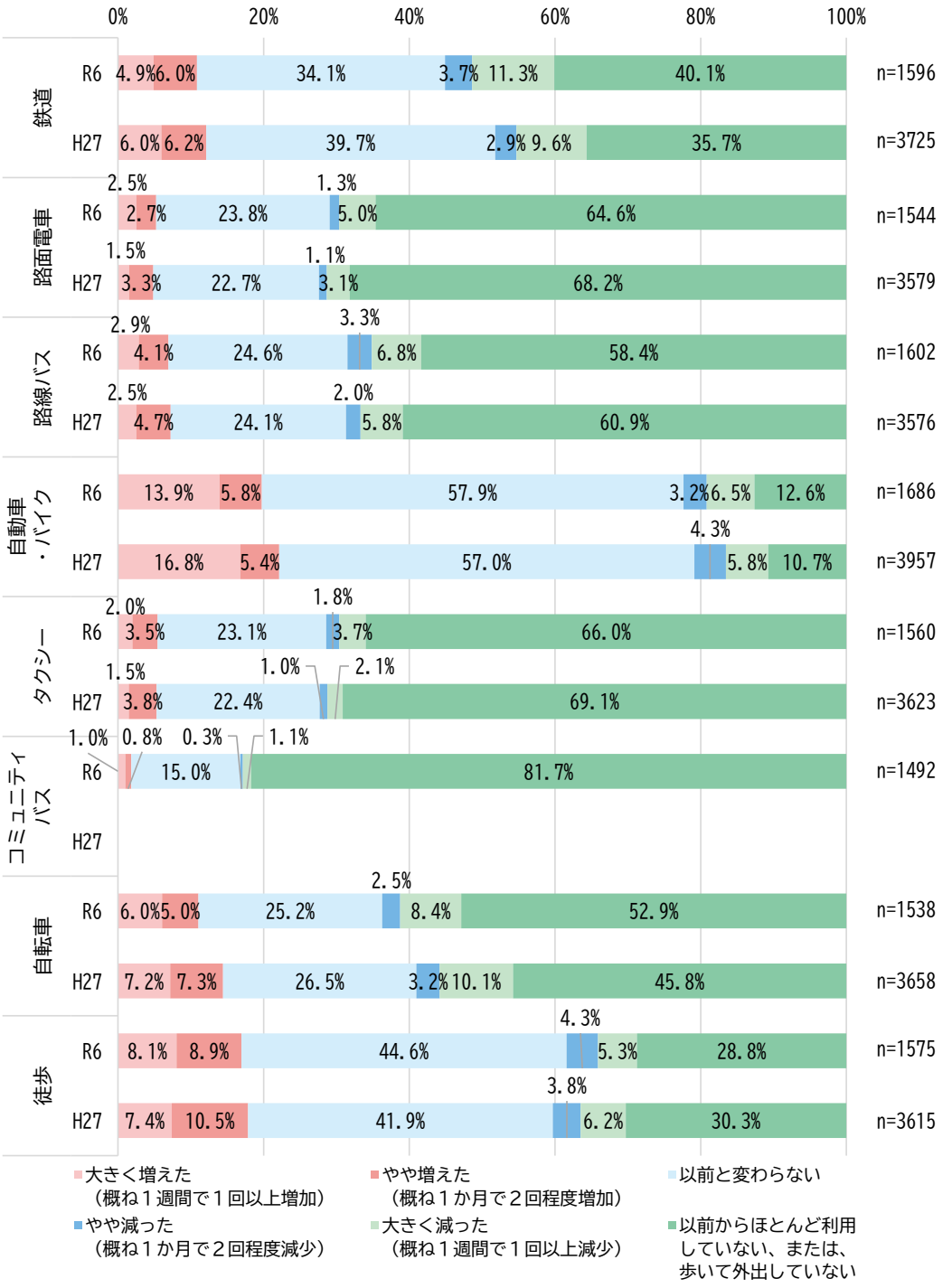


図 1-47　＜市民＞交通手段の利用状況の変化

2) 地域別の手段別利用状況の変化

- 鉄道の利用について地域別にみると、「地域１北部地域」「地域４中心部地域」「地域８中心部西地域」「地域 11 臨海部地域」を除き、大きく増えたとやや増えたより、大きく減ったとやや減ったの割合が高くなっている。

＜市民３　５～10 年くらい前と現在を比べた利用の変化＞

【鉄道】

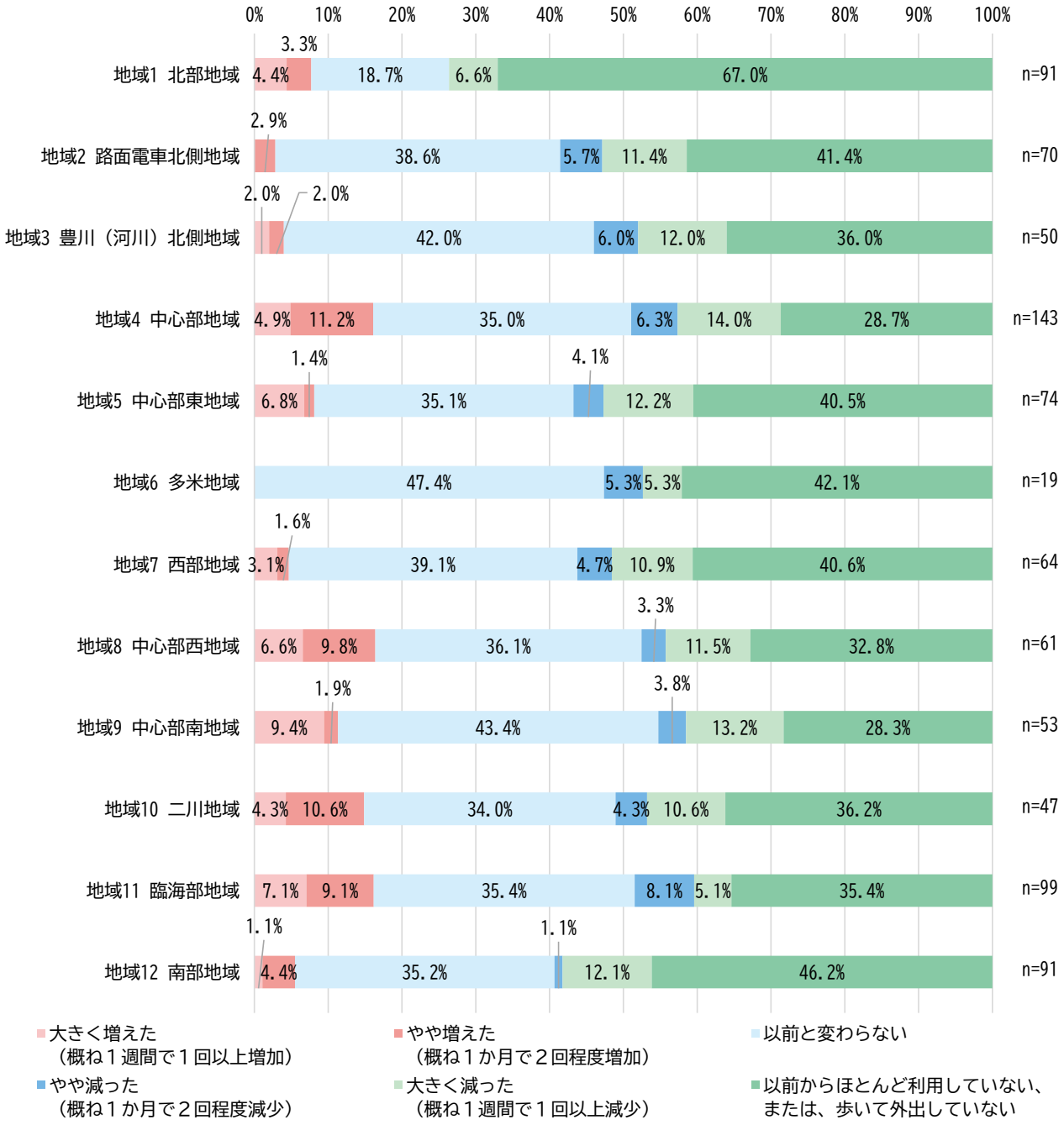


図 1-48　＜市民＞鉄道の地域別交通手段-利用状況の変化

- 路面電車についてみると、「地域１北部地域」「地域４中心部地域」「地域７西部地域」を除き、大きく増えたとやや増えたより、大きく減ったとやや減ったの割合が高くなっている。

＜市民３　５～10 年くらい前と現在を比べた利用の変化＞

【路面電車】

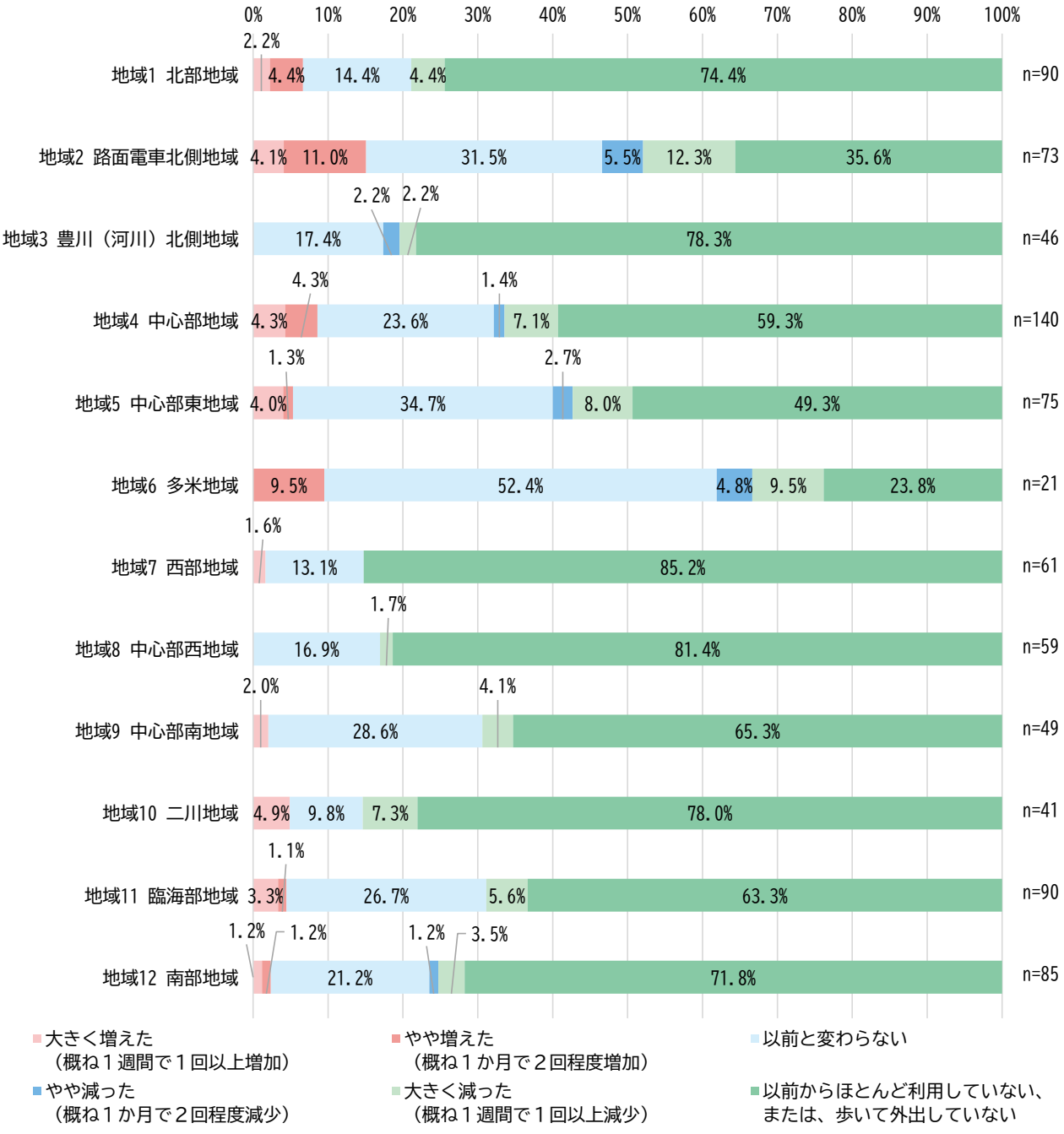


図 1-49　＜市民＞路面電車の地域別交通手段利用状況の変化

- 路線バスについてみると、「地域１北部地域」「地域４中心部地域」「地域８中心部西地域」を除き、大きく増えたとやや増えたより、大きく減ったとやや減ったの割合が高くなっている。

＜市民３　５～10 年くらい前と現在を比べた利用の変化＞
【路線バス】

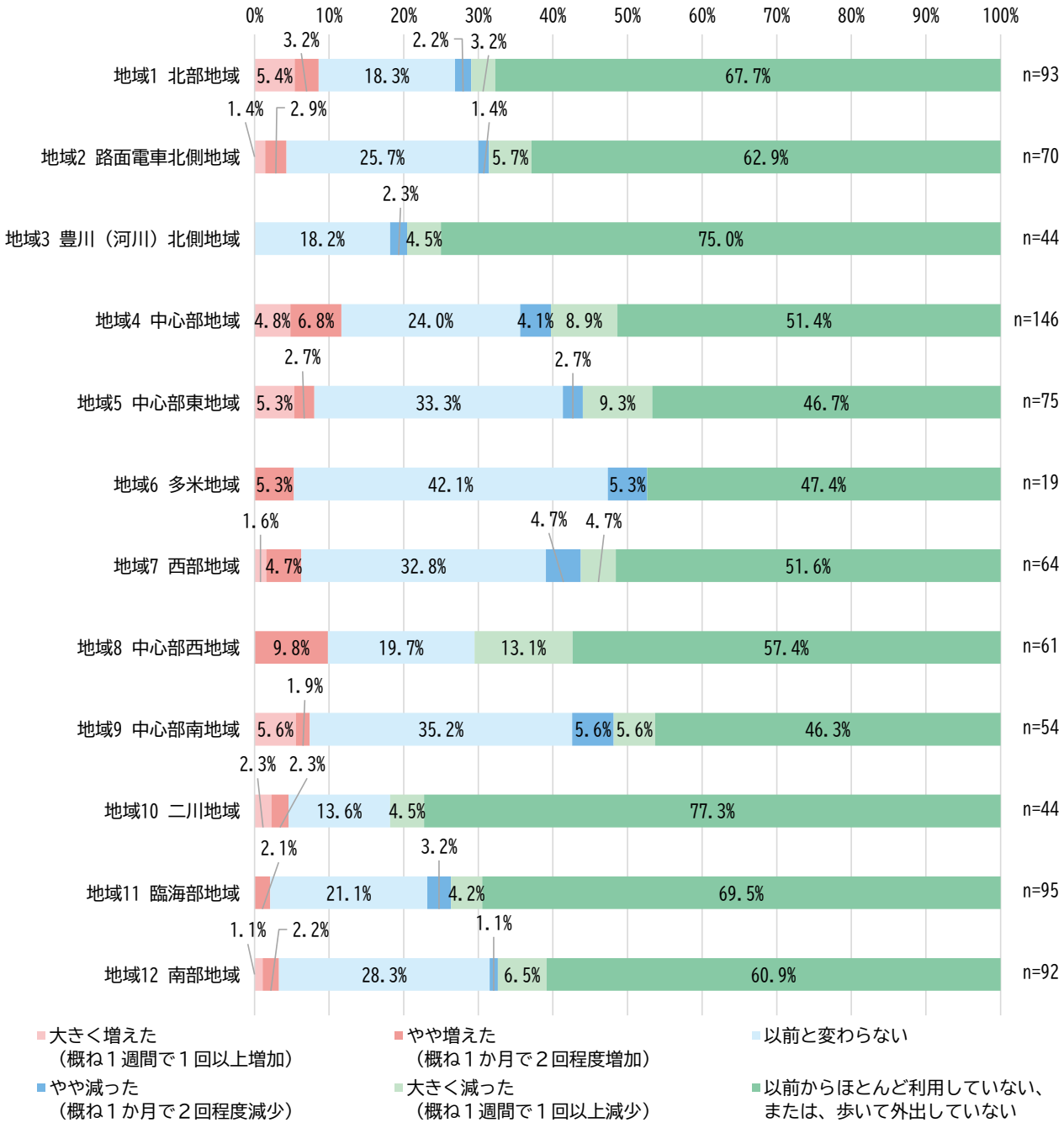


図 1-50　＜市民＞路線バスの地域別交通手段利用状況の変化

- 自動車・バイクについてみると、「地域３豊川（河川）北側地域」「地域 10 二川地域」を除き、大きく減ったとやや減ったより、大きく増えたとやや増えたの割合が高くなっている。

＜市民３　５～10 年くらい前と現在を比べた利用の変化＞
【自動車・バイク】

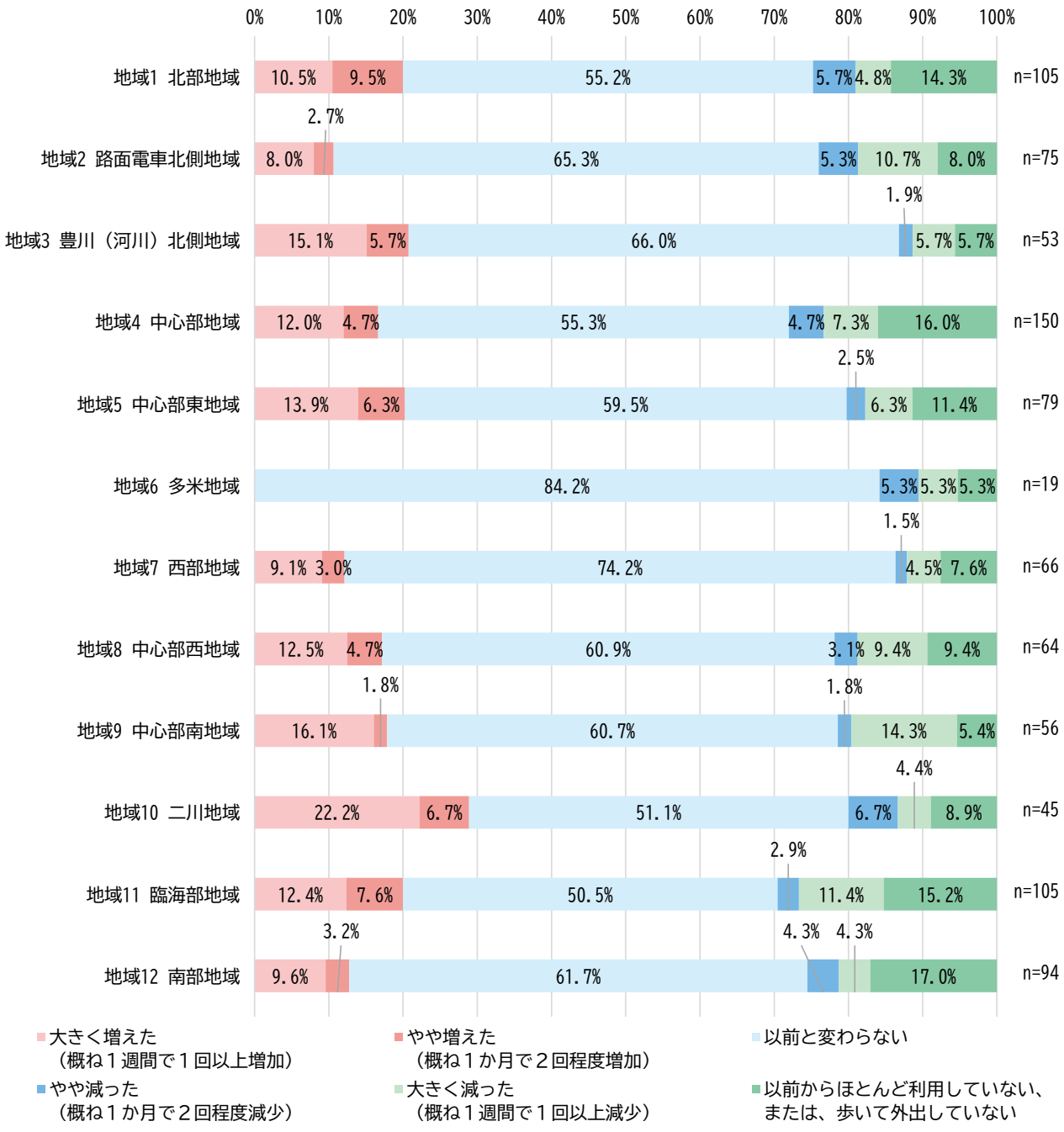


図 1-51　＜市民＞自動車・バイクの地域別交通手段利用状況の変化

- タクシーについてみると、「地域４中心部地域」は、他の地域と比べて大きく増えたとやや増えたの割合が高くなっている。一方、「地域５中心部東地域」「地域 11 臨海部地域」では、大きく減ったとやや減ったの割合が高くなっている。

＜市民３　５～10 年くらい前と現在を比べた利用の変化＞
【タクシー】

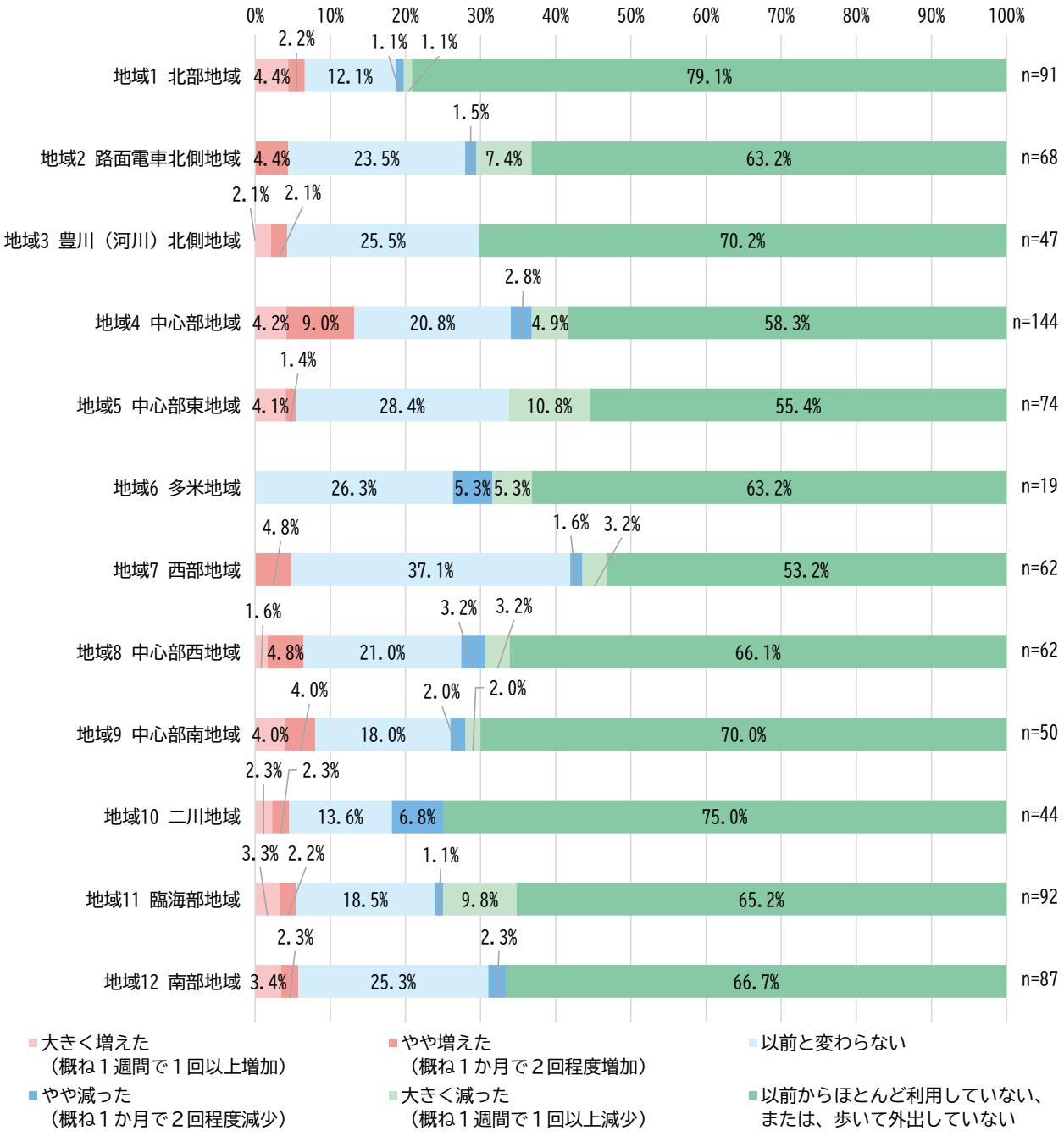


図 1-52　＜市民＞タクシーの地域別交通手段利用状況の変化

- コミュニティバスについてみると、「地域１北部地域」は、他の地域と比べて大きく増えたとやや増えたの割合が高くなっている。

＜市民３　５～10 年くらい前と現在を比べた利用の変化＞
【コミュニティバス】

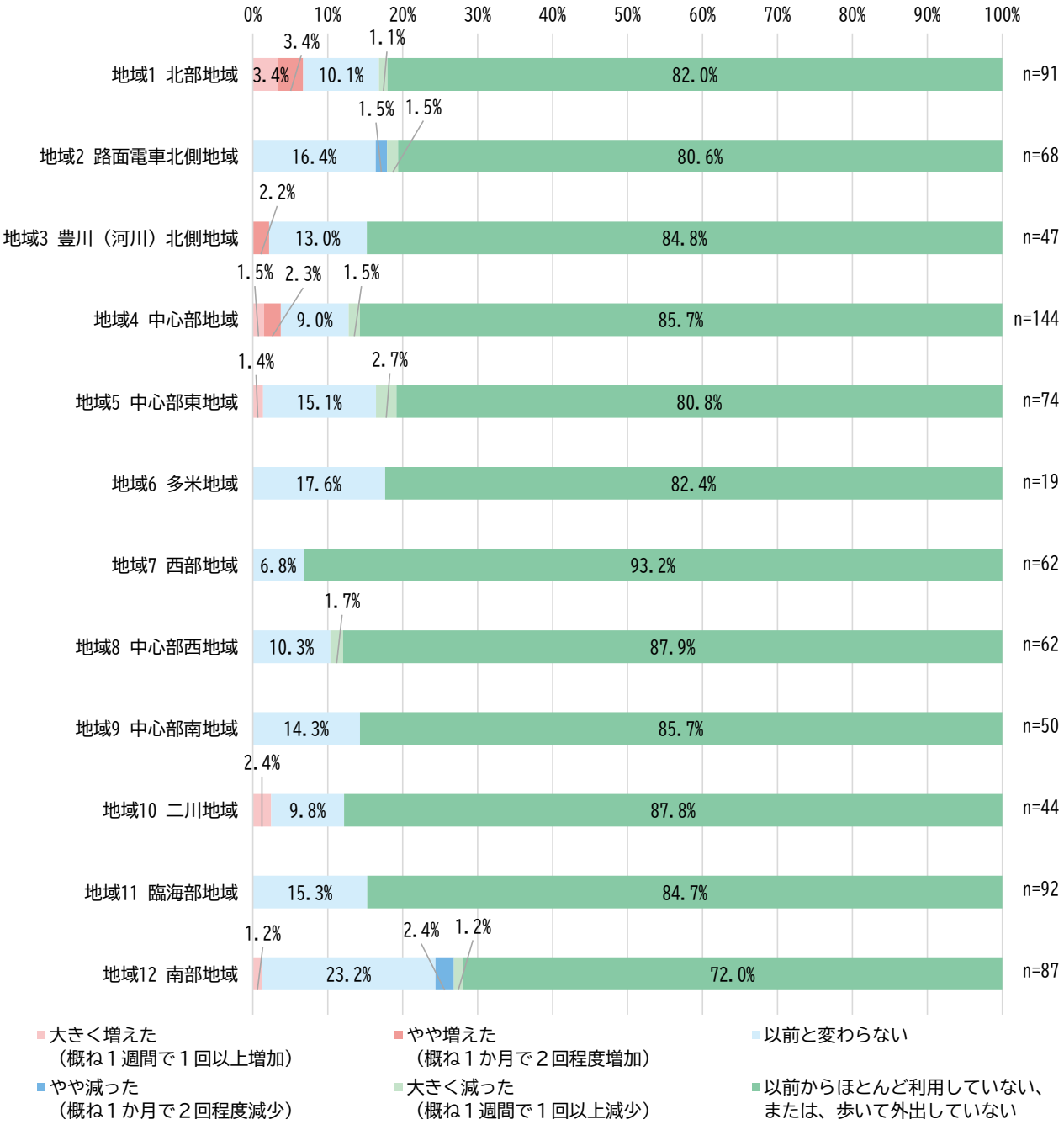


図 1-53　＜市民＞コミュニティバスの地域別交通手段利用状況の変化

- 自転車についてみると、「地域 10 二川地域」は、他の地域と比べて大きく増えたとやや増えたの割合が高くなっている。一方、「地域４中心部地域」では大きく減ったとやや減ったの割合が高くなっている。

＜市民３　５～10 年くらい前と現在を比べた利用の変化＞
【自転車】

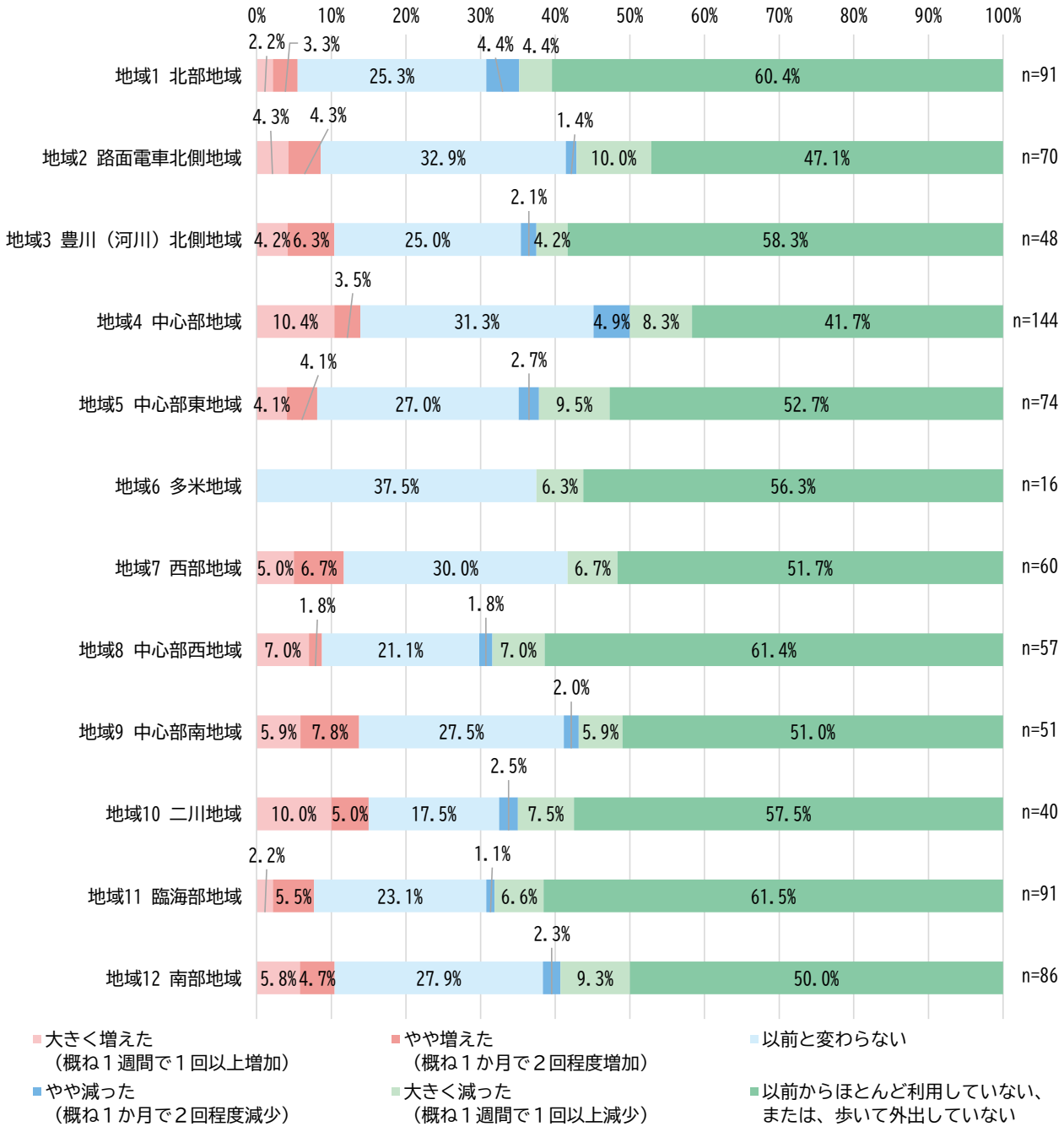


図 1-54　＜市民＞自転車の地域別交通手段利用状況の変化

- 徒歩についてみると、「地域６多米地域」を除き、大きく減ったとやや減ったより、大きく増えたとやや増えたの割合が高くなっている。

＜市民３　５～10 年くらい前と現在を比べた利用の変化＞

【徒歩】

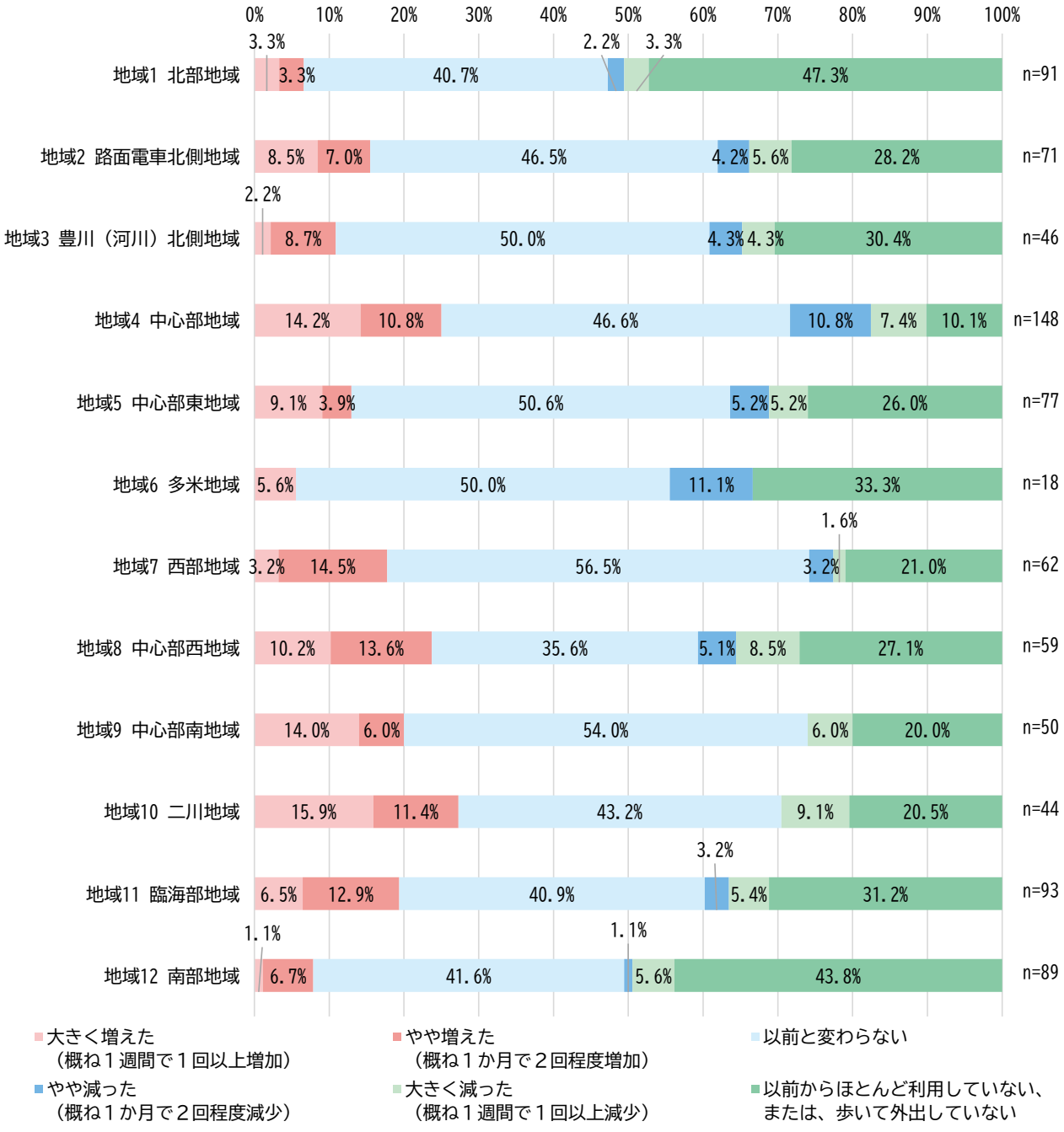


図 1-55　徒歩の地域別交通手段利用状況の変化

3) 交通手段が変化した理由

① 交通手段の利用が増えた理由

- 交通手段の利用が増えた理由をみると、「健康に良いから」では、自転車及び徒歩の回答者のうち４割以上が回答している。
- 「生活環境（就職・進学など）の変化」では、鉄道及び路面電車、路線バスの回答者のうちそれぞれ約４割が回答している。
- 「便利になったから」では、コミュニティバスの回答者の約２割が回答している。

＜市民３　５～10 年くらい前と現在を比べて利用が増えた理由＞

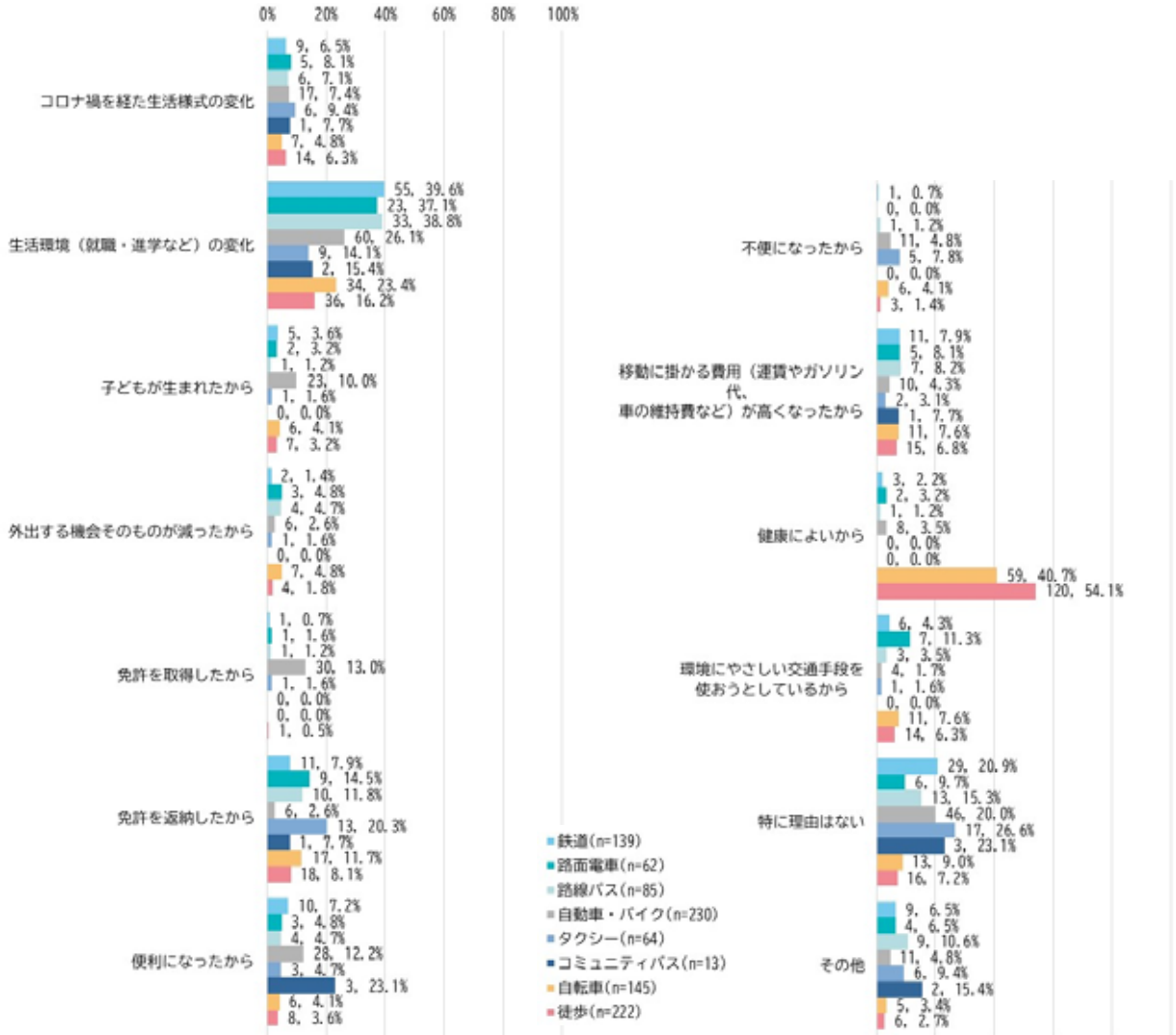


図 1-56　交通手段の利用が増えた理由

② 交通手段の利用が減った理由

- 交通手段の利用が減った理由は、「生活環境（就職・進学など）の変化」や「外出する機会そのものが減ったから」の割合が高くなっている。

＜市民３　５～10 年くらい前と現在を比べて利用が減った理由＞

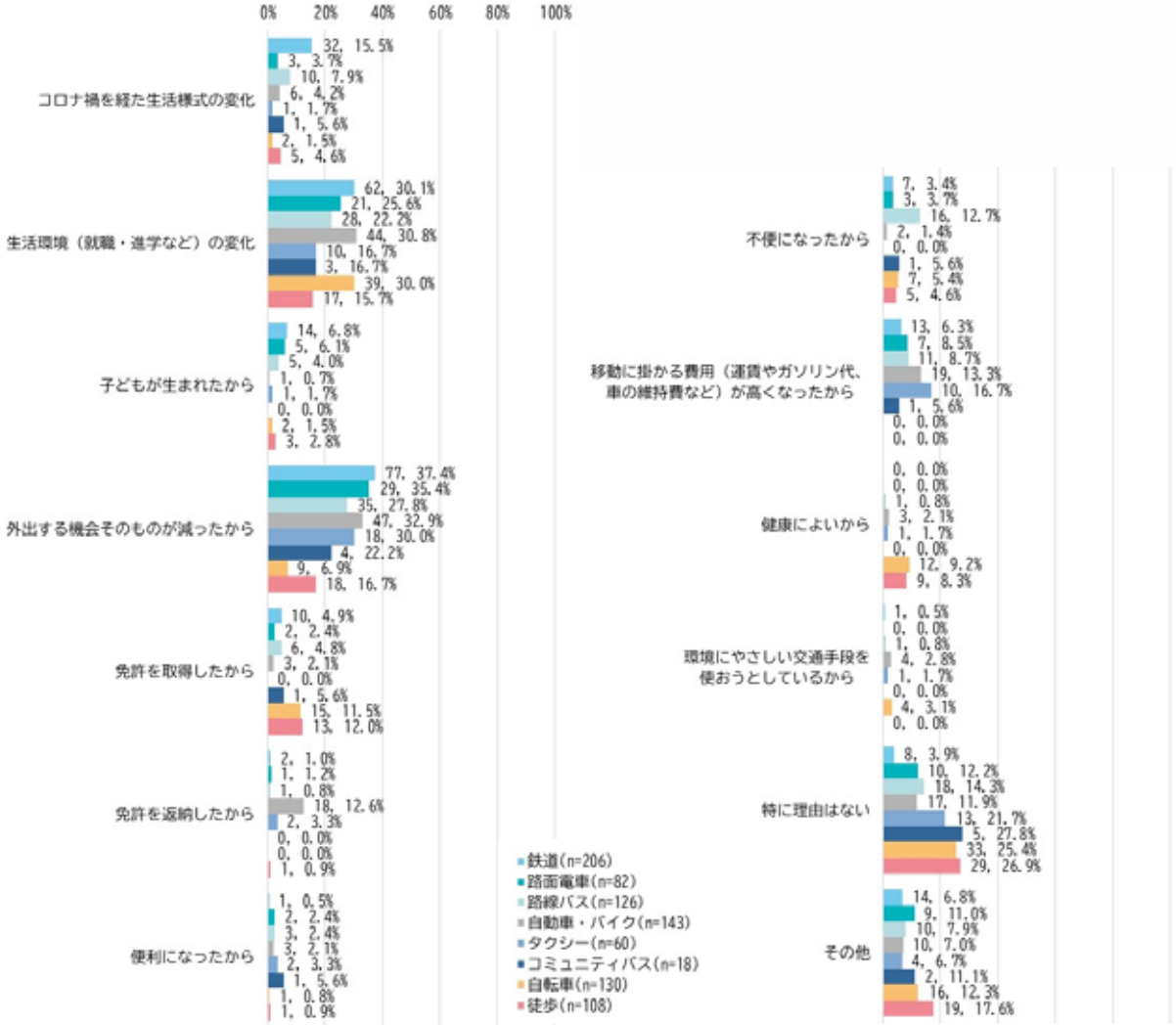


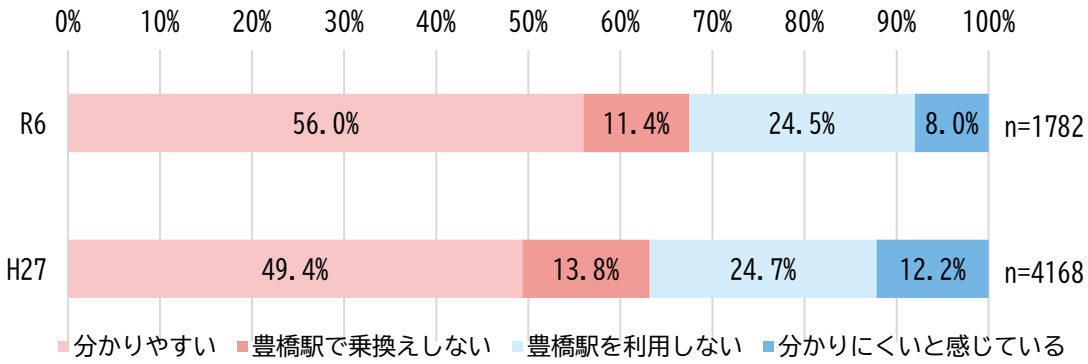
図 1-57　交通手段の利用が減った理由

(4)公共交通の利便性向上に関する取組のあり方

1) 豊橋駅の乗換え利便性

- 豊橋駅の乗換え利便性は、分かりやすいの割合が最も高く、約６割を占めている。
- 平成 27 年度の計画策定時と比較すると、分かりやすいの割合が約７％上昇している。

＜市民 5-1 豊橋駅の鉄道（ＪＲ線、名鉄名古屋本線、豊鉄渥美線）、路面電車、バス、タクシーの各公共交通機関相互の乗換えの分かりやすさについて選んでください。＞



資料：【市民アンケート】豊橋市都市・地域総合交通戦略（仮称）策定委託業務報告書（平成 27 年度）

図 1-58　＜市民＞豊橋駅の乗換え利便性

2) 路線バスの料金

① 自宅最寄りバス停から豊橋駅までの料金について

- 自宅最寄りバス停から豊橋駅までの望ましい料金は、200 円程度の割合が最も高く、約３割を占めており、次いで 300 円程度が約２割を占めている。

＜市民 5-2 自宅の最寄りバス停から豊橋駅までのバスを使いやすい路線とするためには、バスの運賃（片道）はどの程度が望ましいと思いますか？＞

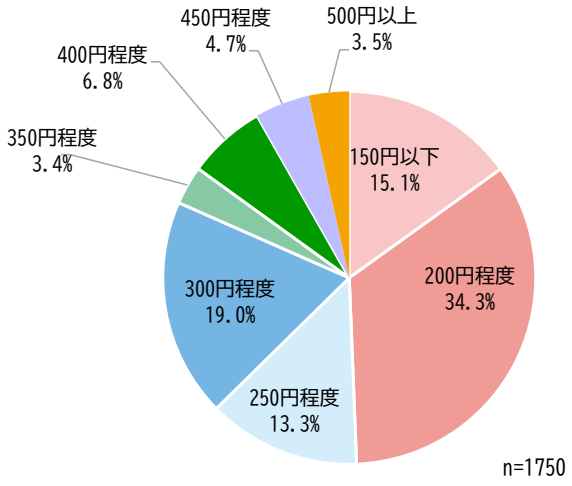


図 1-59　＜市民＞路線バスの望ましい料金

② 地域別の路線バスの料金

- 自宅最寄りバス停から豊橋駅までの望ましい料金を地域別にみると、「地域５中心部東地域」は 250 円程度と 300 円程度の割合が同率で高くなっている。
- 「地域 1 北部地域」「地域 11 臨海部地域」「地域 12 南部地域」では 300 円程度の割合が高くなっている。
- その他の地域は 200 円程度の割合が高くなっている。

＜市民 5-2 自宅の最寄りバス停から豊橋駅までのバスを使いやすい路線とするためには、バスの運賃（片道）はどの程度が望ましいと思いますか？＞

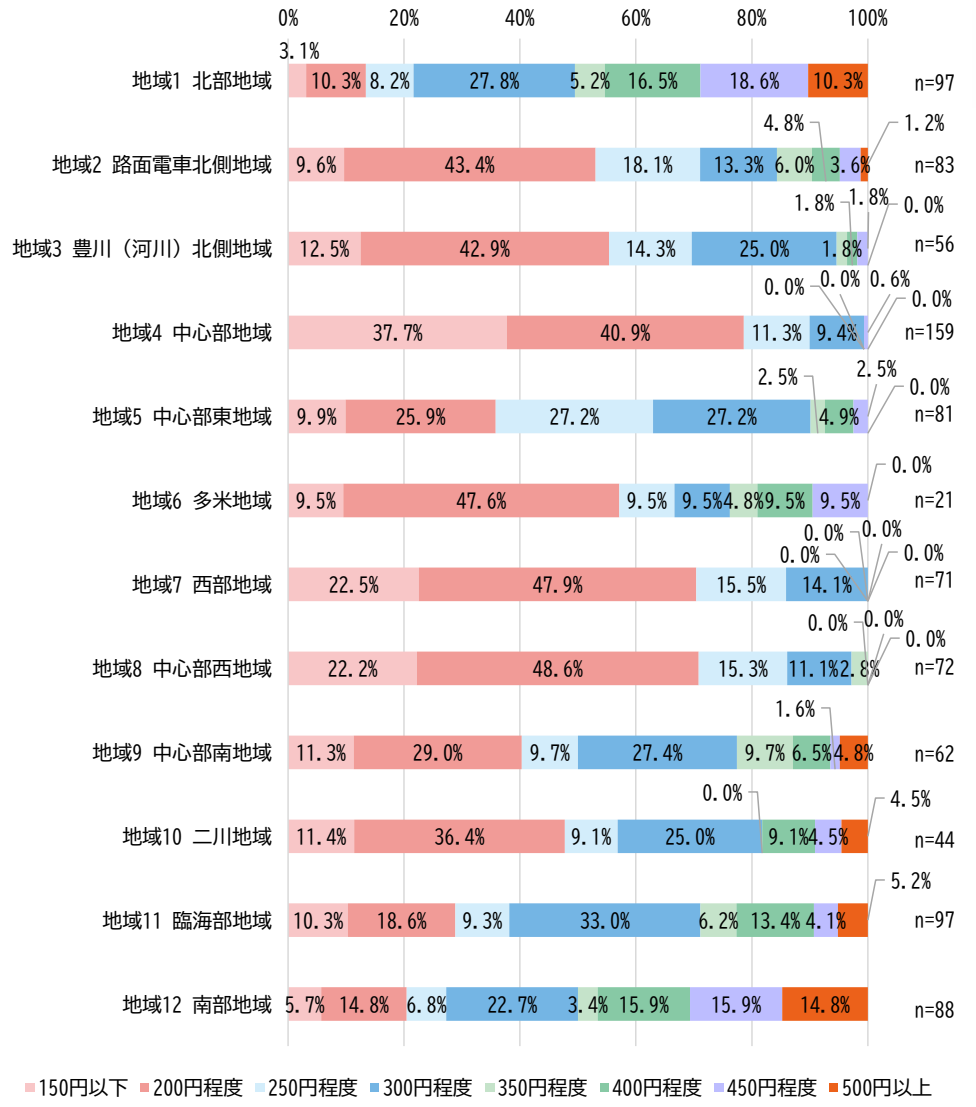


図 1-60　＜市民＞地域別の路線バスの望ましい料金

3) 路線バスの所要時間

① 自宅最寄りバス停から豊橋駅までの所要時間

- 自宅最寄りバス停から豊橋駅までの望ましい所要時間は、30 分以内の割合が高く、約５割を占めており、次いで 15 分以内が約４割を占めている。

＜市民 5-3 自宅の最寄りバス停から豊橋駅までのバスを使いやすい路線とするためには、どのくらいの所要時間（乗換含む）が望ましいと思いますか？＞

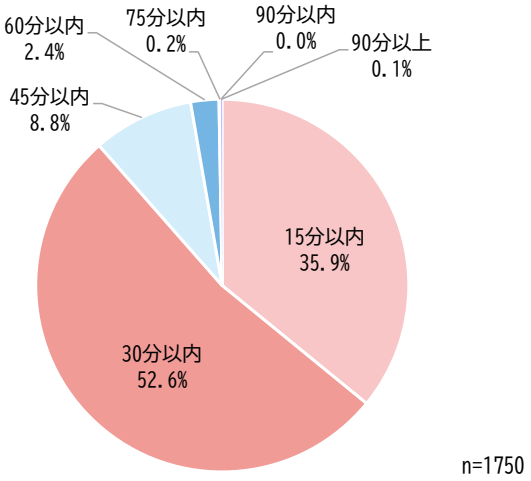


図 1-61　＜市民＞路線バスの望ましい所要時間

② 地域別の路線バスの所要時間

- 自宅最寄りバス停から豊橋駅までの望ましい所要時間を地域別にみると、「地域４中心部地域」や「地域７西部地域」「地域８中心部西地域」では 15 分以内の割合が最も高くなっている。
- その他の地域では、15～30 分以内の割合が最も高くなっている。

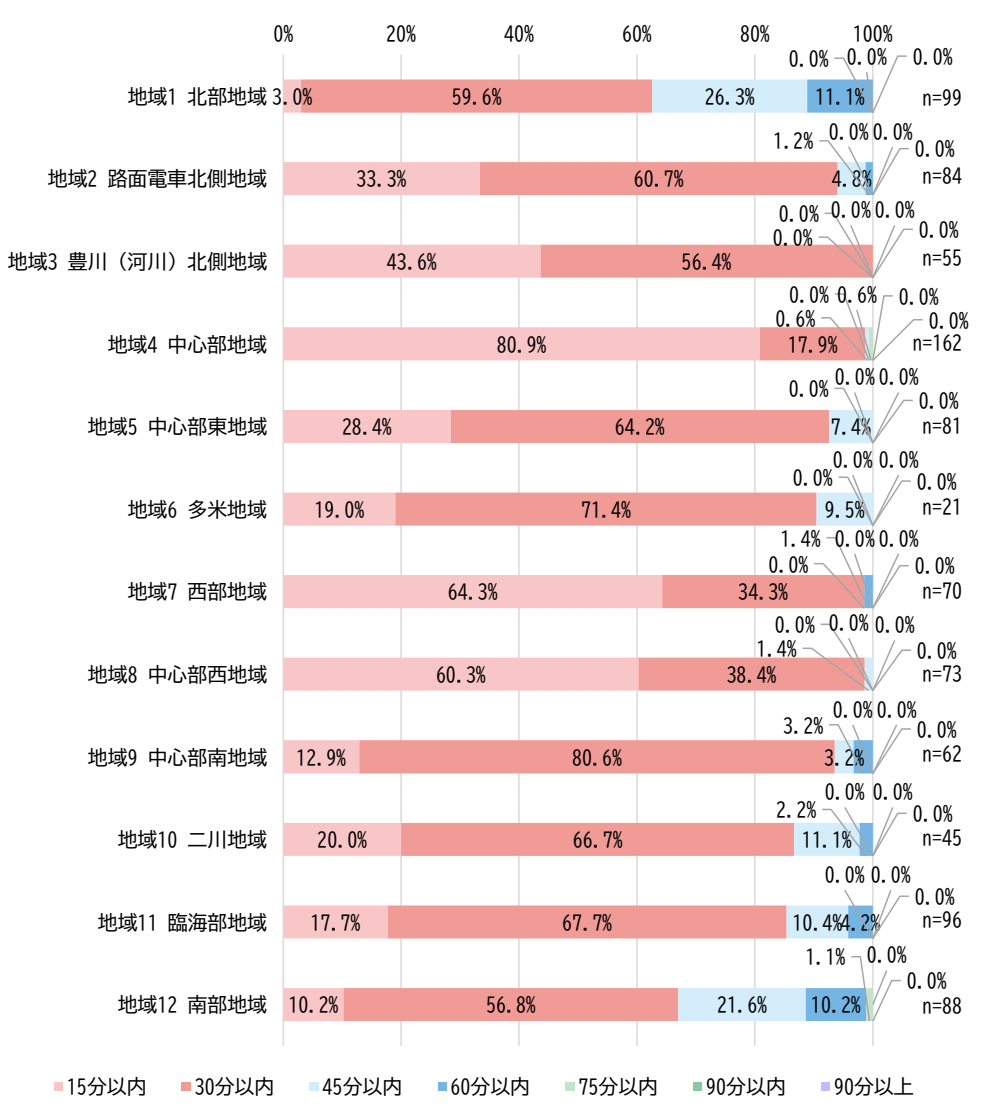


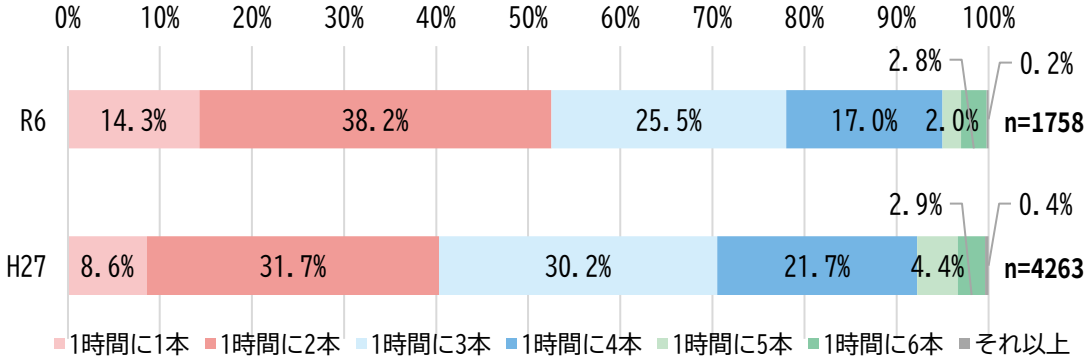
図 1-62　＜市民＞地域別の路線バスの望ましい所要時間

4) 路線バスの運行本数

① 豊橋市の路線バスの運行本数

- 自宅最寄りバス停から豊橋駅までの望ましい運行本数は、１時間に２本の割合が最も高く、約４割を占めており、次いで１時間に３本が約４分の１を占めている。
- 平成 27 年度の計画策定時と比較すると、１時間に２本以下の割合が上昇し、１時間に３本以上の割合が低下している。

＜市民 5-4 自宅の最寄りバス停から豊橋駅までのバスを使いやすい路線とするためには、最低限どれくらいの運行本数（片道）が望ましいと思いますか？＞



資料：【市民アンケート】豊橋市都市・地域総合交通戦略（仮称）策定委託業務報告書（平成 27 年度）

図 1-63　＜市民＞路線バスの望ましい運行本数

② 地域別の路線バスの運行本数

- 自宅最寄りバス停から豊橋駅までの望ましい運行本数を地域別にみると、「地域２路面電車北側地域」「地域３豊川（河川）北側地域」では１時間に３本の割合が最も高くなっている。
- その他の地域では、１時間に２本の割合が最も高くなっている。

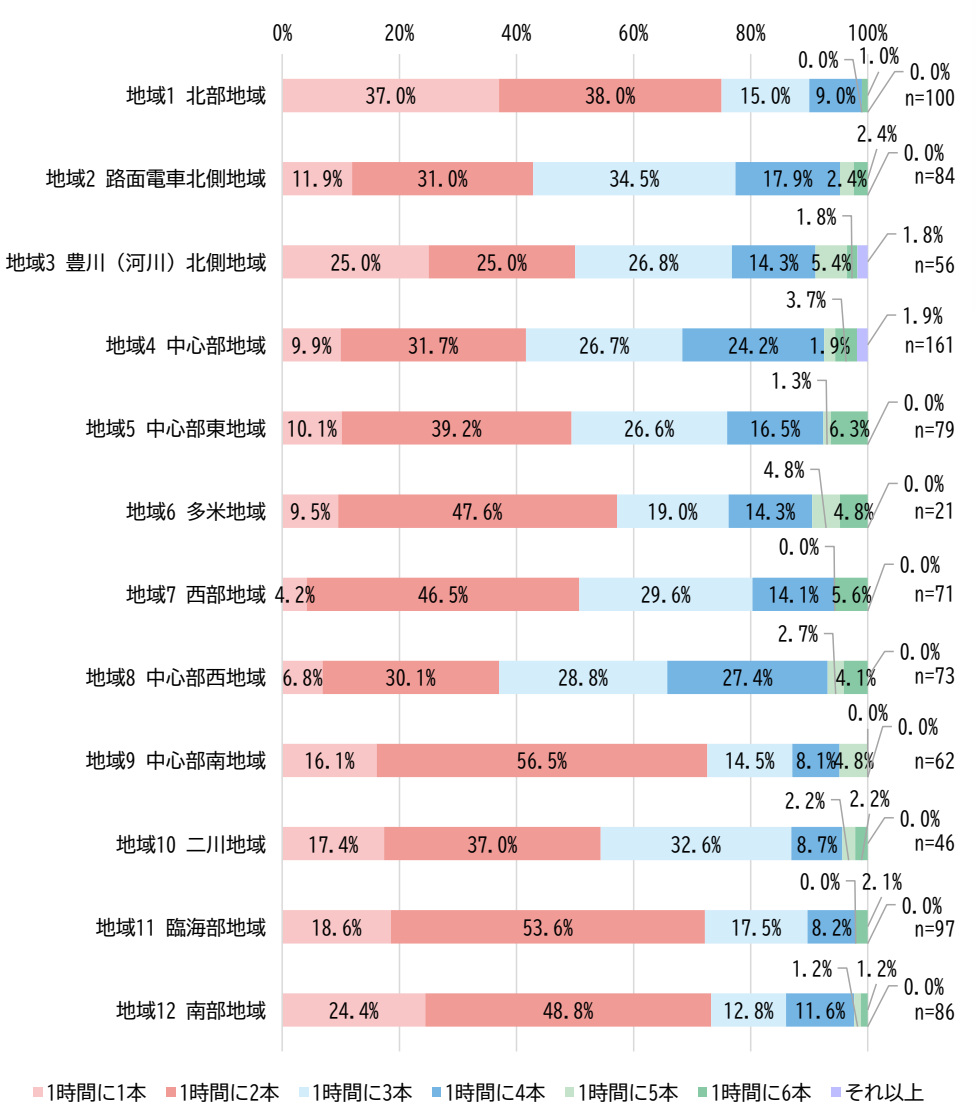


図 1-64　＜市民＞地域別の路線バスの望ましい運行本数

5) 移動に関するアプリについて

- 移動に関するアプリについては、「導入されたことは知らなかったし、利用しようとは思わない」の割合が最も高く、約５割を占めている。次いで、「導入されていることは知らなかったが、今後利用したい」が約３割を占めている。

＜市民 5-5 豊橋市では、公共交通の経路検索に加え、お得なフリー切符をキャッシュレスで購入可能なアプリがあります。これらのサービスについて、どのように感じていますか？＞

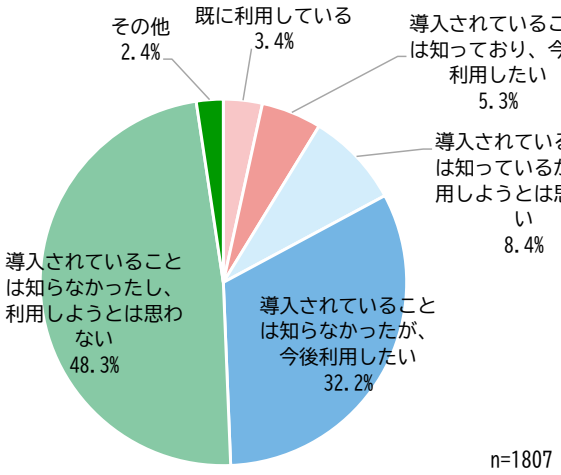


図 1-65　＜市民＞移動に関するアプリについて

6) ＭａａＳについて

- ＭａａＳについては、「特に困っていないので、実現しなくともよい」の割合が最も高く、約４割、次いで「実現すれば便利だが、積極的には推進しなくてもよい」が約２割を占めている。
- 一方、実現に向けて、「市が主体となって積極的に推進すべき」「民間企業の取組を市が積極的に支援すべき」の回答を合わせると約３割となっている。

＜市民 5-6 現在、全国で「ＭａａＳ（マース）」と言われるサービスの導入が検討されています。「ＭａａＳ」が実現すると、１つのアプリで経路検索・様々な乗り物の予約や支払いを一括して行うことができます。このようなサービスが実現することについて、どのように考えますか？＞

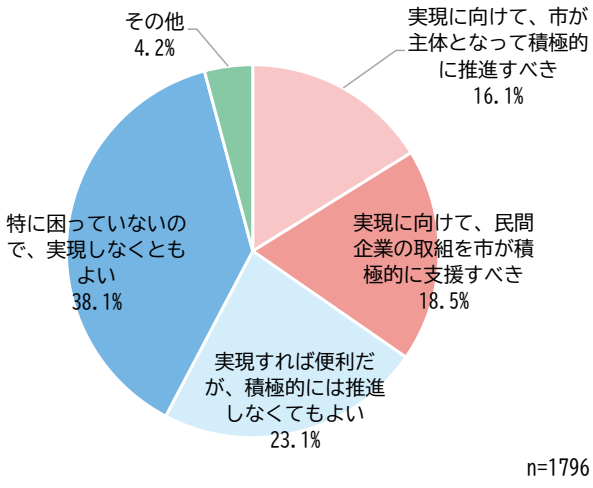


図 1-66　＜市民＞ＭａａＳについて

7) 自動運転バスの実用化について

- 自動運転バスの実用化について期待することは、「過疎地など公共交通が不便な地域での移動支援」の割合が最も高く、４割以上が回答しており、次いで「公共交通のサービス水準向上（運行本数や運行ルートの増加）」が高くなっている。
- 一方、懸念することは、「事故の責任の不明確さ」の割合が最も高く、約５割が回答しており、次いで「車両の信頼性（不具合など）悪化」が高くなっている。

＜市民 5-7 豊橋市では、自動運転バスの導入に向けた取組を行っています。公共交通分野での自動運転バスの実用化に向けて期待することは何ですか？＞

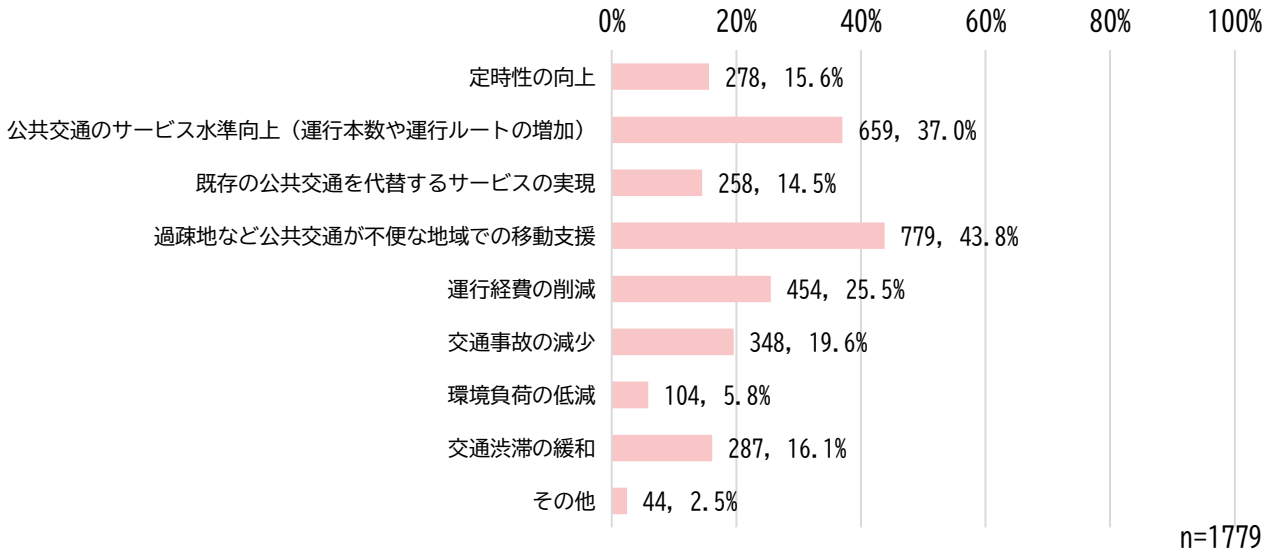


図 1-67　＜市民＞自動運転バスの実用化について（期待すること）

＜市民 5-7 豊橋市では、自動運転バスの導入に向けた取組を行っています。公共交通分野での自動運転バスの実用化に向けて懸念することは何ですか？＞

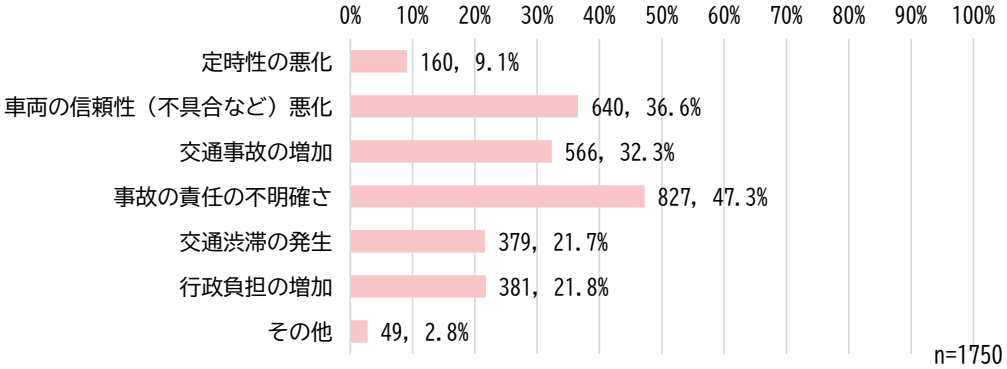


図 1-68　＜市民＞自動運転バスの実用化について（懸念すること）

(5)交通関連施策の満足度･重要度

1) 満足度

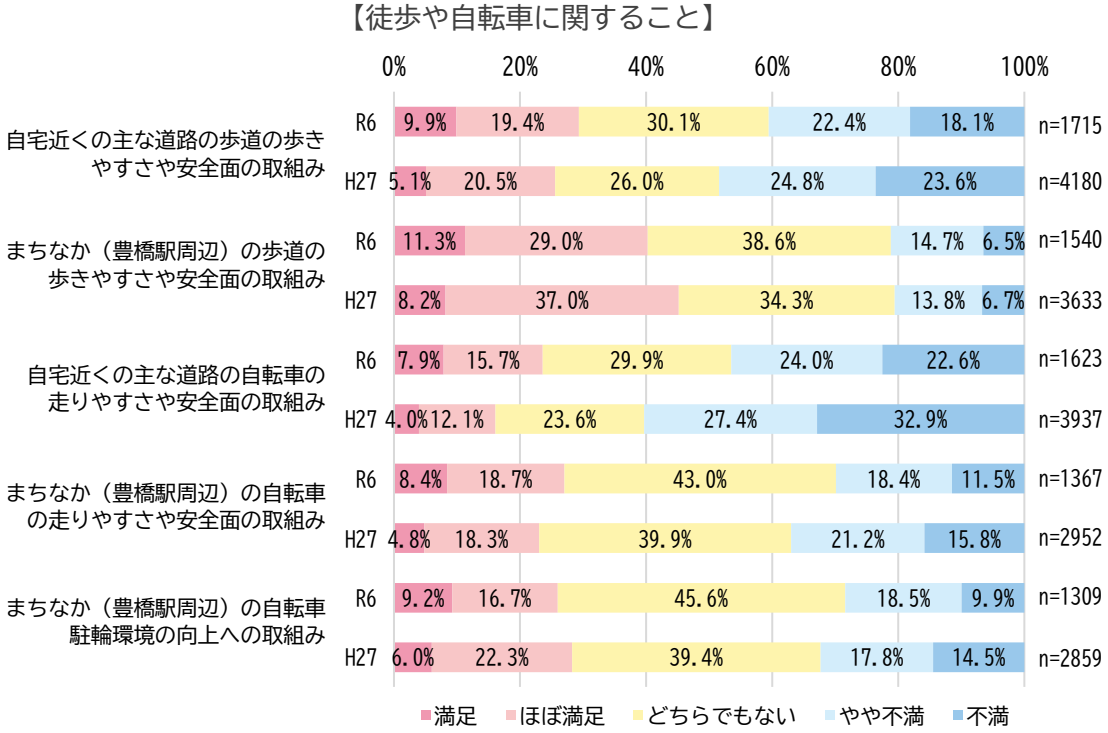
【今回調査の結果】

- 交通関連施策に対する満足度は、【徒歩や自転車に関すること】の「まちなか（豊橋駅周辺）の歩道の歩きやすさや安全面での取組」や【公共交通に関すること】の「バリアフリーな路面電車車両の導入」で満足とほぼ満足の占める割合が高くなっている。
- 一方、【徒歩や自転車に関すること】の「自宅近くの主な道路の歩道の歩きやすさや安全面での取組」や「自宅近くの主な道路の自転車の走りやすさや安全面での取組」、【道路や自動車交通に関すること】の「道路の交通安全対策」や「道路の混雑・渋滞対策」で不満とやや不満の占める割合が高くなっている。

【平成 27 年度の計画策定時との比較】

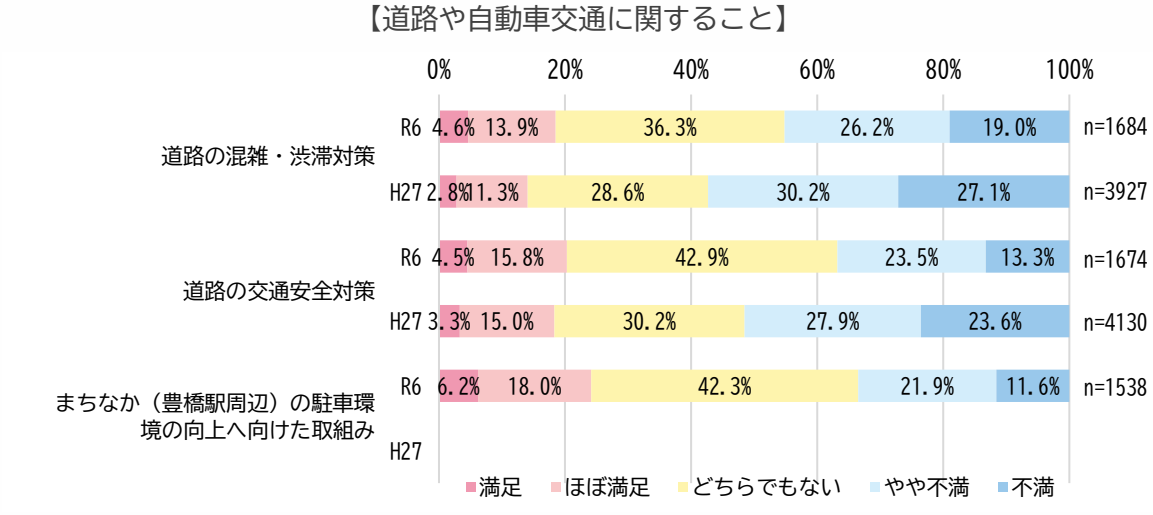
- 【徒歩や自転車に関すること】の「自宅近くの主な道路の自転車の走りやすさや安全面の取組」で満足とほぼ満足の割合が５％以上上昇している。
- 【公共交通に関すること】の「路面電車の運行本数の現状、今後の増便への取組」で不満とやや不満の割合が約５％上昇しているが、その他の多くの項目では低下している。

＜市民 7交通環境に対する現在の満足度について、該当する番号をそれぞれ１つ選んで○をつけてください＞



資料：【市民アンケート】豊橋市都市・地域総合交通戦略（仮称）策定委託業務報告書（平成 27 年度）

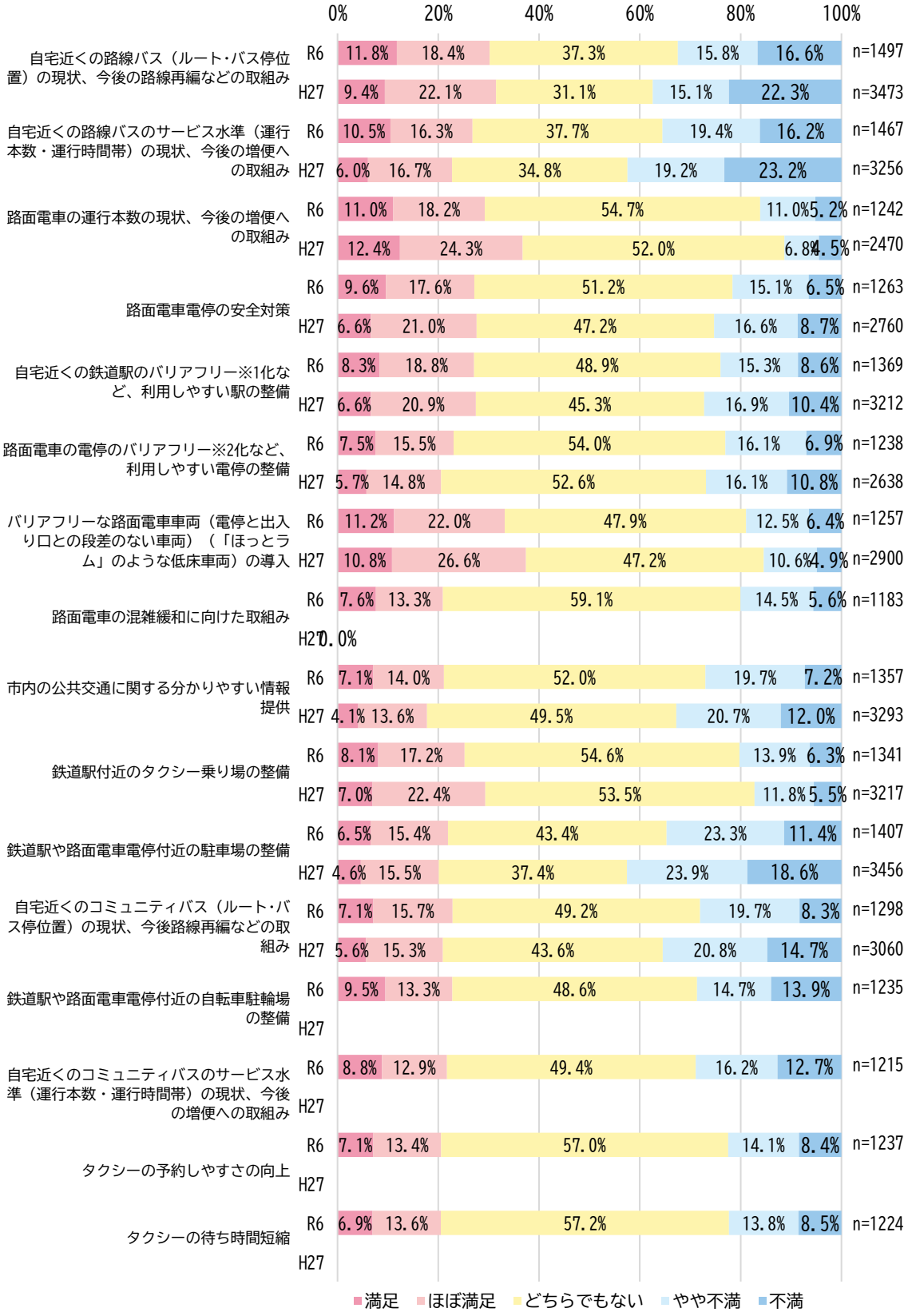
図 1-69　＜市民＞徒歩や自転車に関することの取組の満足度



資料：【市民アンケート】豊橋市都市・地域総合交通戦略（仮称）策定委託業務報告書（平成 27 年度）

図 1-70　＜市民＞道路や自動車交通に関することの取組の満足度

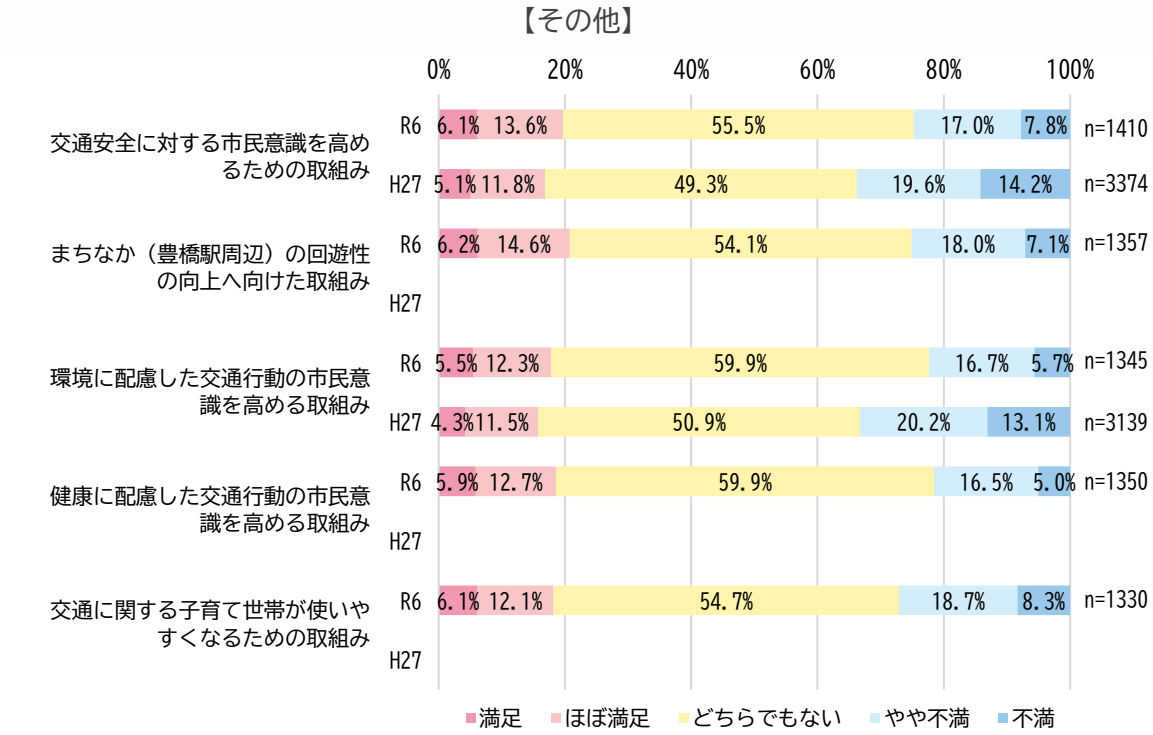
【公共交通に関すること】



※１　スロープやエレベーターを設置して段差をなくすことなど。
※２　スロープを設置して段差をなくす、車いすがすれ違えるホーム幅員にするなど。

資料：【市民アンケート】豊橋市都市・地域総合交通戦略（仮称）策定委託業務報告書（平成 27 年度）

図 1-71　＜市民＞公共交通に関することの取組の満足度



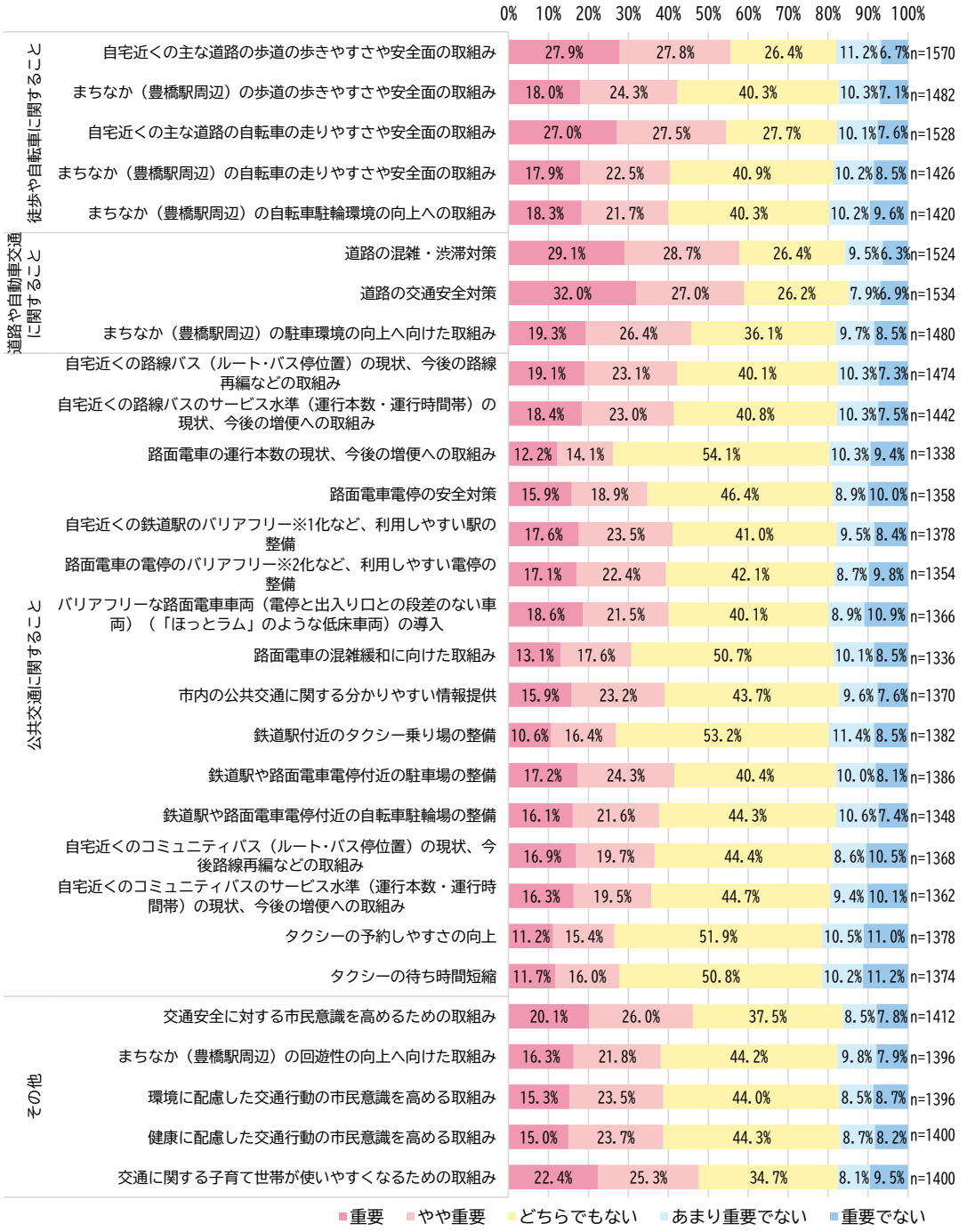
資料：【市民アンケート】豊橋市都市・地域総合交通戦略（仮称）策定委託業務報告書（平成 27 年度）

図 1-72　＜市民＞その他の取組の満足度

2) 重要度

- 交通関連施策に対する重要度は、「自宅近くの主な道路の歩道の歩きやすさや安全面での取組」「自宅近くの主な道路の自転車の走りやすさや安全面での取組」「道路の混雑・渋滞対策」「道路の交通安全対策」で重要とやや重要の割合が高くなっている。
- 一方、タクシーに関連する項目（「鉄道駅付近のタクシー乗り場の整備」「タクシーの予約しやすさの向上」「タクシーの待ち時間短縮」）は総じて重要とやや重要が低くなっている。

＜市民７限られた財源の中で今後取り組むべき施策としての重要度について、該当する番号をそれぞれ１つ選んで○をつけてください＞



※１　スロープやエレベーターを設置して段差をなくすことなど。
※２　スロープを設置して段差をなくす、車いすがすれ違えるホーム幅員にするなど。

図 1-73　＜市民＞取組の重要度

3) 満足度と重要度の関係

＜参考＞満足度と重要度の関係性について

- 市の交通に関する主な取組について、満足度・重要度を得点化し、ＣＳ分析（Ｃｕｓｔｏｍｅｒ Ｓａｔｉｓｆａｃｔｉｏｎ）を行うことで、各施策の満足度と重要度の関係を明確する。
- 満足度と重要度について、それぞれ平均に対する高低を整理することで、取組を主に以下の４つに分類することができる。

◆重点改善分野・・・満足度が平均より低く、重要度が平均より高い取組

◆改善分野　　・・・満足度が平均より低く、重要度が平均より低い取組

◆重点維持分野・・・満足度が平均より高く、重要度が平均より高い取組

◆維持分野　　・・・満足度が平均より高く、重要度：平均より低い取組

※「満足度」と「重要度」の得点化の方法
選択肢の「満足（重要）」＝10 点、「やや満足（やや重要）」＝５点、「やや不満（あまり重要でない）」＝－５点、「不満（重要ではない）」＝－10 点として計算し、合計点を回答者数で割ることで、得点化します。

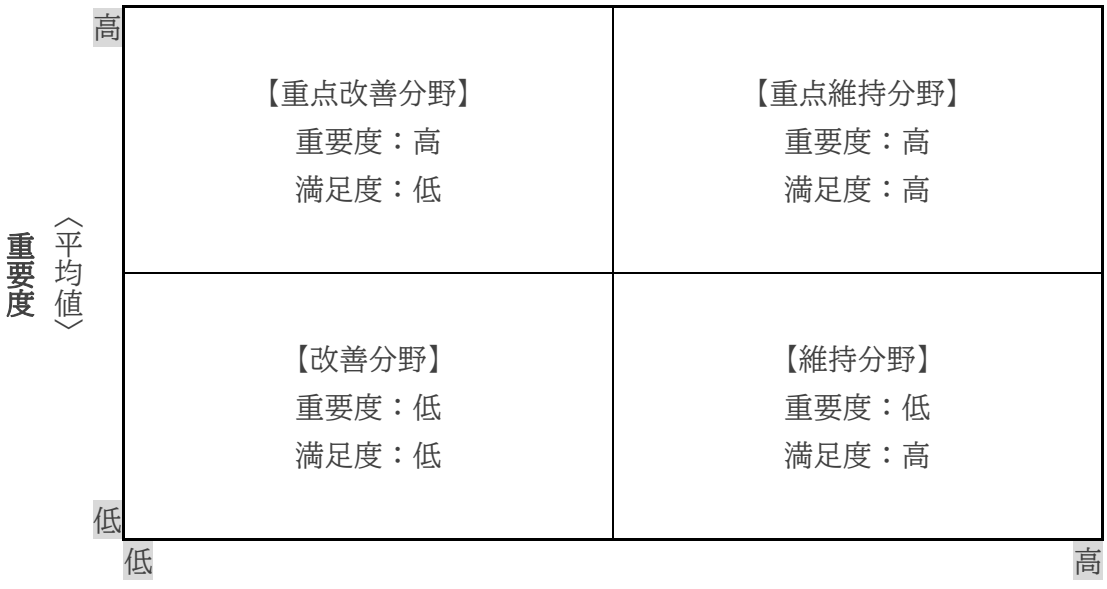


図　満足度と重要度の関係性の考え方

- 満足度と重要度の関係性をみると、重点改善分野のうち、特に「１　自宅近くの主な道路の歩道の歩きやすさや安全面の取組」「３　自宅近くの主な道路の自転車の走りやすさや安全面の取組」「６　道路の混雑・渋滞対策」「７　道路の交通安全対策」で満足度が低く、重要度が高くなっている。

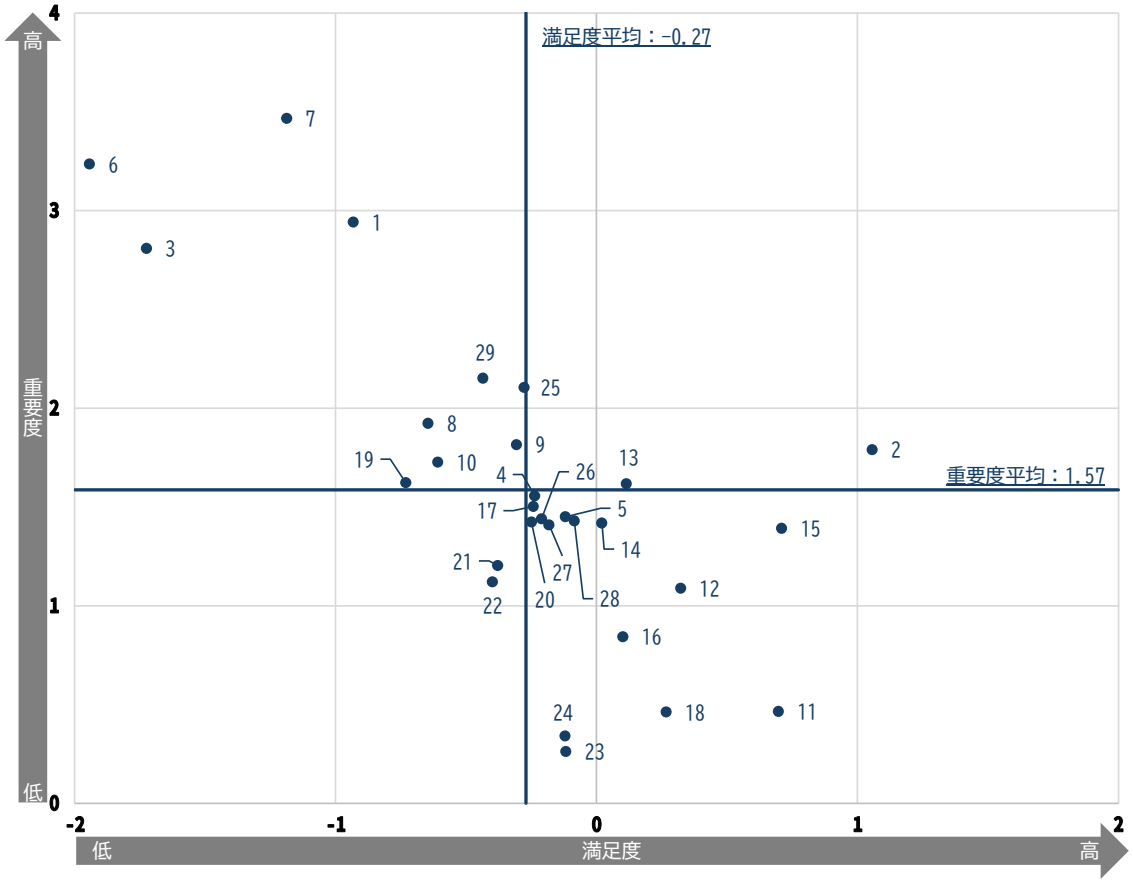


図 1-74　＜市民＞満足度と重要度の関係性

表 1-6　＜市民＞満足度と重要度の関係性

	項目	満足度	重要度
1	自宅近くの主な道路の歩道の歩きやすさや安全面の取組み	-0.93	2.94
2	まちなか（豊橋駅周辺）の歩道の歩きやすさや安全面の取組み	1.06	1.79
3	自宅近くの主な道路の自転車の走りやすさや安全面の取組み	-1.72	2.81
4	まちなか（豊橋駅周辺）の自転車の走りやすさや安全面の取組み	-0.24	1.56
5	まちなか（豊橋駅周辺）の自転車駐輪環境の向上への取組み	-0.12	1.45
6	道路の混雑・渋滞対策	-1.94	3.24
7	道路の交通安全対策	-1.19	3.47
8	まちなか（豊橋駅周辺）の駐車環境の向上へ向けた取組み	-0.65	1.92
9	自宅近くの路線バス（ルート・バス停位置）の現状、今後の路線再編などの取組み	-0.31	1.81
10	自宅近くの路線バスのサービス水準（運行本数・運行時間帯）の現状、今後の増便への取組み	-0.61	1.73
11	路面電車の運行本数の現状、今後の増便への取組み	0.70	0.47
12	路面電車電停の安全対策	0.32	1.09
13	自宅近くの鉄道駅のバリアフリー※1化など、利用しやすい駅の整備	0.11	1.62
14	路面電車の電停のバリアフリー※2化など、利用しやすい電停の整備	0.02	1.42
15	バリアフリーな路面電車車両（電停と出入り口との段差のない車両）（「ほっとラム」のような低床車両）の導入	0.71	1.39
16	路面電車の混雑緩和に向けた取組み	0.10	0.84
17	市内の公共交通に関する分かりやすい情報提供	-0.24	1.50
18	鉄道駅付近のタクシー乗り場の整備	0.27	0.46
19	鉄道駅や路面電車電停付近の駐車場の整備	-0.73	1.62
20	鉄道駅や路面電車電停付近の自転車駐輪場の整備	-0.25	1.42
21	自宅近くのコミュニティバス（ルート・バス停位置）の現状、今後路線再編などの取組み	-0.38	1.20
22	自宅近くのコミュニティバスのサービス水準（運行本数・運行時間帯）の現状、今後の増便への取組み	-0.40	1.12
23	タクシーの予約しやすさの向上	-0.12	0.26
24	タクシーの待ち時間短縮	-0.12	0.34
25	交通安全に対する市民意識を高めるための取組み	-0.28	2.10
26	まちなか（豊橋駅周辺）の回遊性の向上へ向けた取組み	-0.21	1.44
27	環境に配慮した交通行動の市民意識を高める取組み	-0.18	1.41
28	健康に配慮した交通行動の市民意識を高める取組み	-0.08	1.43
29	交通に関する子育て世帯が使いやすくなるための取組み	-0.43	2.15

※1　スロープやエレベーターを設置して段差をなくすことなど。
※2　スロープを設置して段差をなくす、車いすがすれ違えるホーム幅員にするなど。

(6)回答者の属性

1) 性別･年齢

- 回答者の性別は、男性の割合が若干高くなっている。また、回答者の年齢は、約半数を 65 歳以上の高齢者が占めている。

＜市民 8-1 あなたの性別を教えてください＞

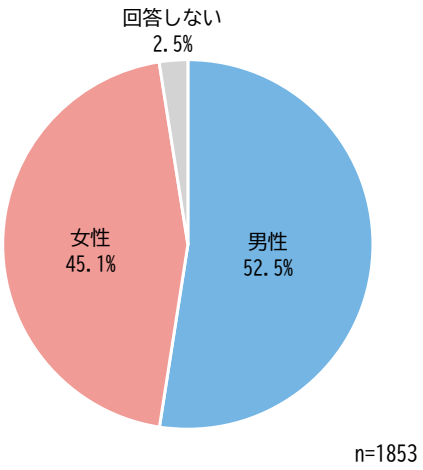


図 1-75　＜市民＞性別

＜市民 8-1 あなたの年齢を教えてください＞

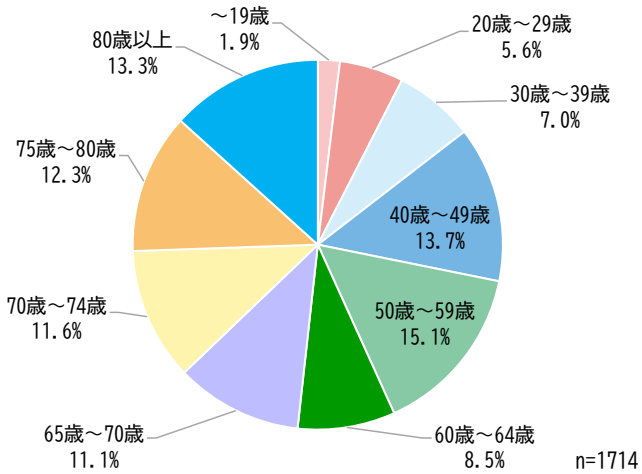


図 1-76　＜市民＞年齢

2) 職業

- 回答者の職業は、会社員・公務員の割合が最も高く、約３割を占めている。次いで、無職も約３割を占めている。

＜市民 8-2 あなたの職業を選んでください＞

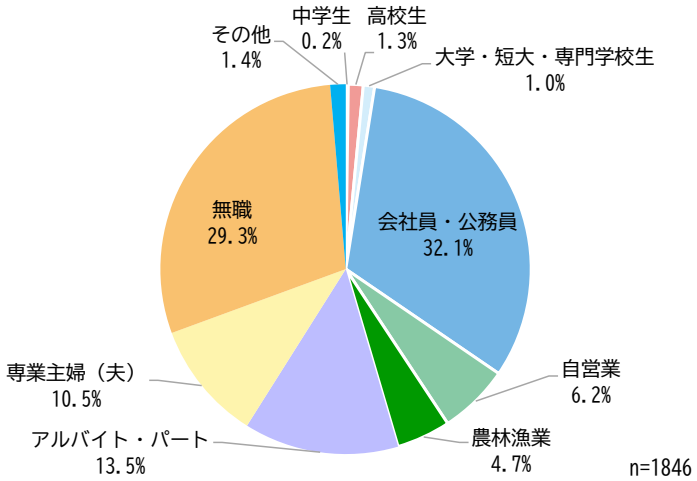


図 1-77　＜市民＞職業

3) 運転免許証及び自動車の保有状況

- 回答者の運転免許証の保有状況は、免許証あり（自由に使える自動車などがある）の割合が最も高く、約８割を占めている。

＜市民 8-3 あなたの自動車の免許証の保有状況を選んでください＞

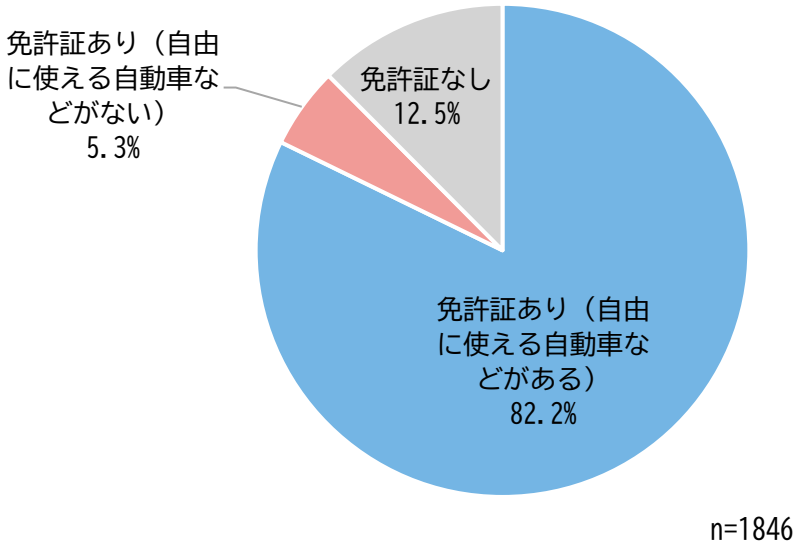


図 1-78　＜市民＞運転免許証の保有状況

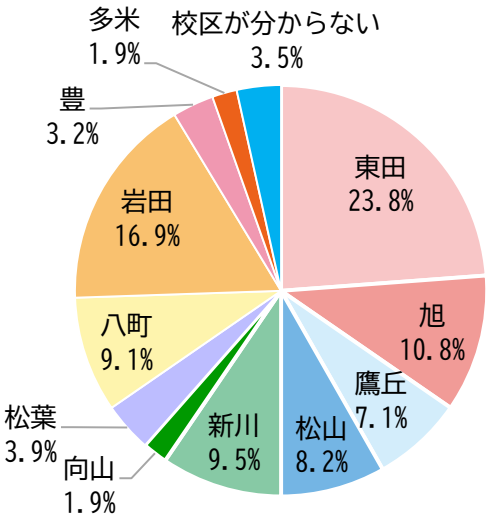
3.3 路面電車沿線地域アンケート調査

（1）世帯の属性

1）居住地

- 回答者の居住地は、東田の割合が最も高く約２割、次いで、岩田も約２割を占めている。

＜沿線 1-2 お住まいの小学校区を選んでください＞



n=449

図 1-79　＜沿線＞小学校区別の居住地

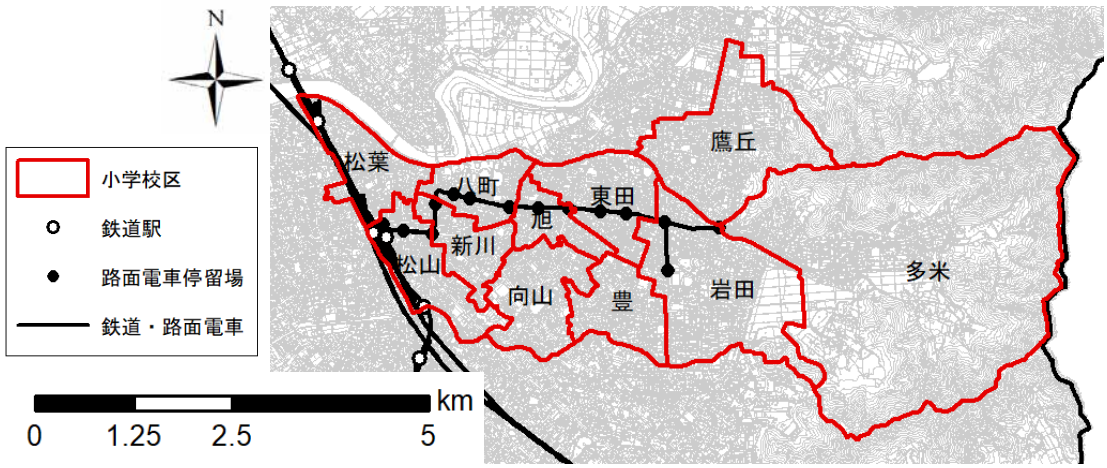


図 1-80　参考　調査対象の小学校区

2) 家族人数

- 回答者世帯の家族の人数は、２人の割合が最も高く約４割、次いで１人が約３割を占めている。
- 家族の年齢別内訳をみると、約６割の世帯が高齢者（65 歳以上）と回答している。

＜沿線 1-3 ご家族の人数を教えてください＞

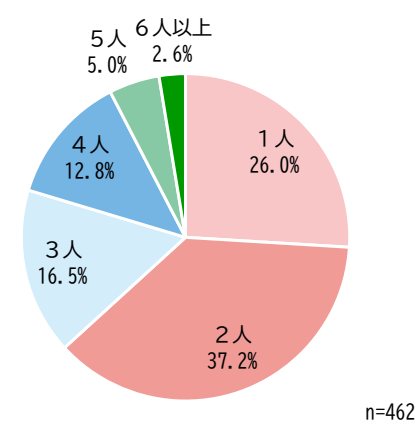


図 1-81　＜沿線＞家族の人数

＜市民 1-3（ご家族の）内訳を教えてください＞

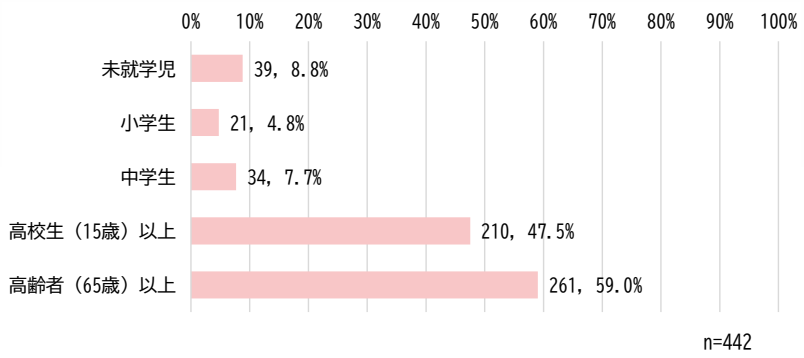


図 1-82　＜沿線＞家族の年齢別内訳

3) 居住歴

- 回答者（世帯）の居住歴は、21 年以上の割合が最も高く、約８割を占めている。

＜沿線 1-4　豊橋市に住み始めてから何年ぐらい経ちますか？＞

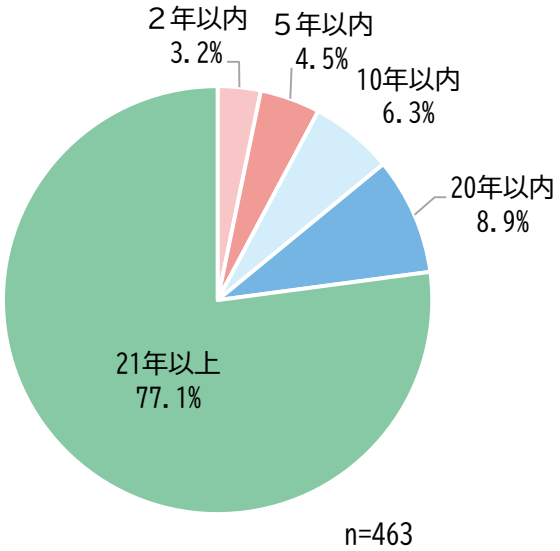


図 1-83　＜沿線＞居住歴

4) 自動車及び自転車の保有台数

- 回答者の世帯での自動車の保有台数は、１台の割合が最も高く約４割、次いで２台が約３割を占めている。
- 回答者の世帯での自転車の保有台数は、１台の割合が最も高く約４割、次いで持っていないが約３割を占めている。

＜沿線 1-5　世帯で所有されている「自動車」の保有台数を選んでください＞

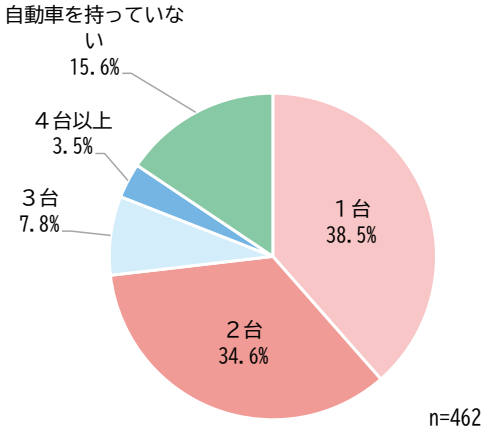


図 1-84　＜沿線＞自動車の保有台数

＜沿線 1-6 世帯で所有されている「自転車」の保有台数を選んでください。＞

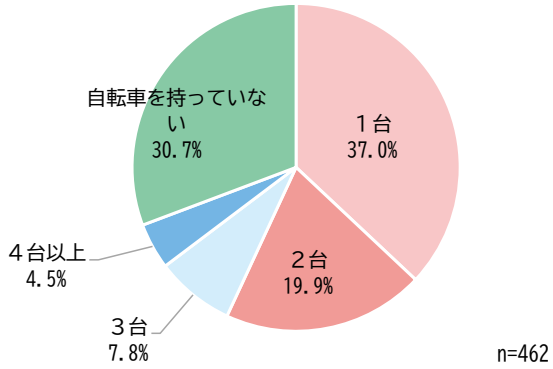


図 1-85　＜沿線＞自転車の保有台数

5) 最寄りの路面電車の電停

- 回答者の最寄り電停は、競馬場前の割合が最も高く約１割、次いで、井原と赤岩口も約１割を占めている。
- 最寄り電停までの所要時間は、５～10 分以内の割合が最も高く約４割、次いで、３～５分以内が約３割を占めている。

＜沿線 1-7　最寄りの路面電車の電停を選んでください＞

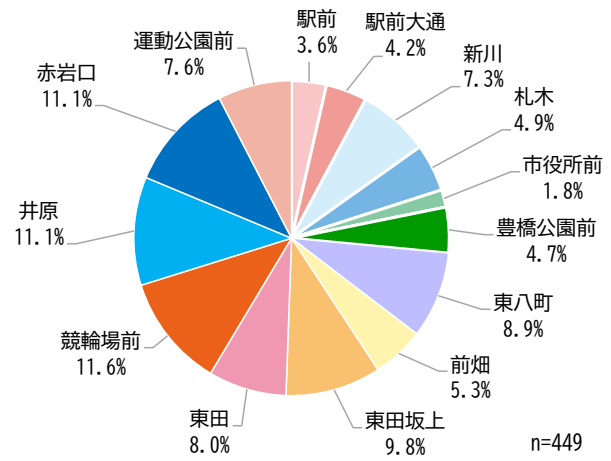


図 1-86　＜沿線＞最寄り電停

＜沿線 1-8　問 1-7 で選んだ最寄の路面電車電停までの、徒歩での所要時間を選んでください＞

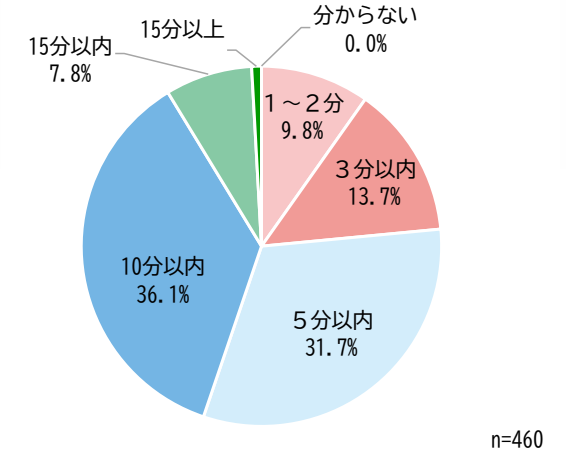


図 1-87＜沿線＞最寄り電停までの所要時間



出典：豊橋市公共交通マップ 2025 年度版（10 月 1 日現在）

図 1-88　参考　豊橋鉄道市内線の路線図

（2）回答者の属性

1）性別

- 回答者の性別は、男性の割合が若干高くなっている。また、回答者の年齢は、65 歳以上の高齢者が約４割を占めている。

＜沿線 2-1 あなたの性別を教えてください＞

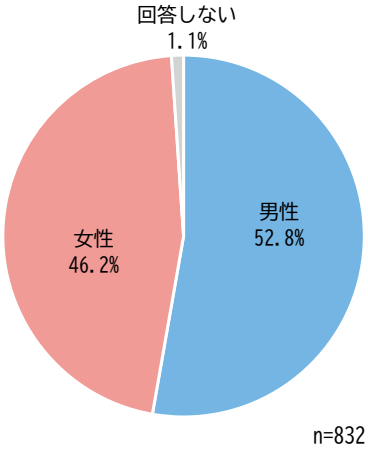


図 1-89　＜沿線＞性別

＜沿線 2-1 あなたの年齢を教えてください＞

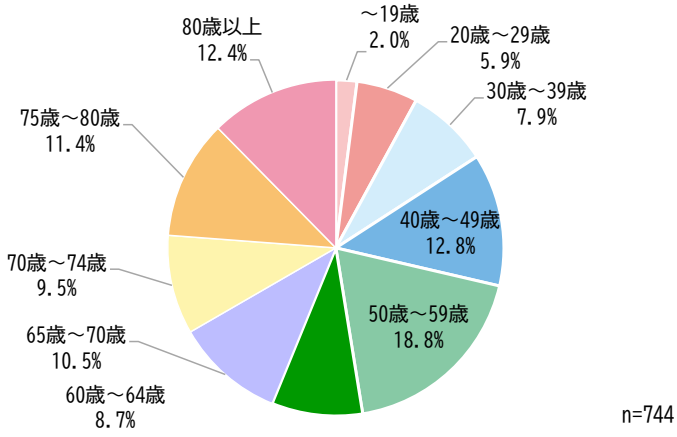


図 1-90　＜沿線＞年齢

2）職業

- 回答者の職業は、会社員・公務員の割合が最も高く、約４割、次いで、無職も約３割を占めている。

＜沿線 2-2 あなたの職業を選んでください＞

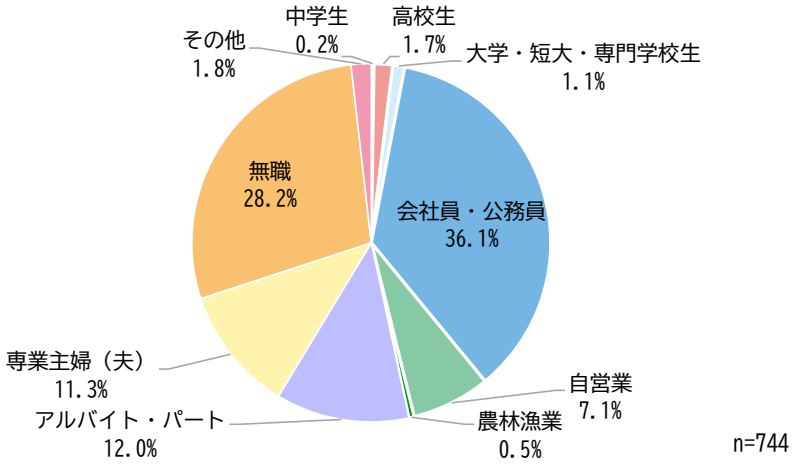


図 1-91　＜沿線＞職業

3) 運転免許証及び自動車の保有状況

- 回答者の運転免許証の保有状況は、免許証あり（自由に使える自動車などがある）の割合が最も高く、約８割を占めている。

＜沿線 2-3 あなたの自動車の免許証の保有状況を選んでください＞

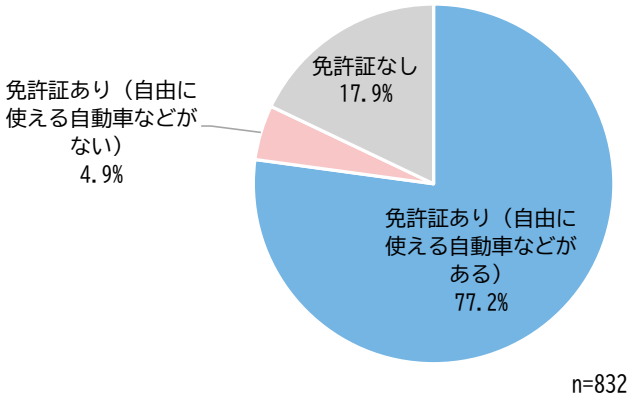


図 1-92　＜沿線＞運転免許証の保有状況

（3）路面電車の利用

1）路面電車の利用頻度

- 路面電車の利用頻度は、年に数回の割合が最も高く、約４割を占めている。

＜沿線 4-1 利用頻度＞

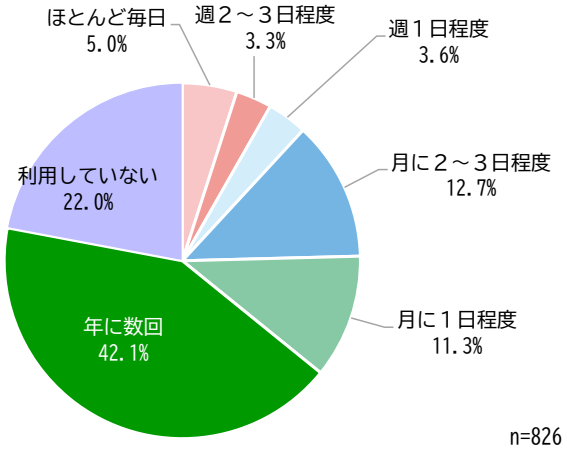


図 1-93　＜沿線＞路面電車の利用頻度

2）路面電車の利用目的

- 路面電車の利用目的は、レジャー・社交の割合が最も高く約６割、次いで、買い物を約３割が回答している。

＜沿線 4-2 利用目的（複数選択可）＞

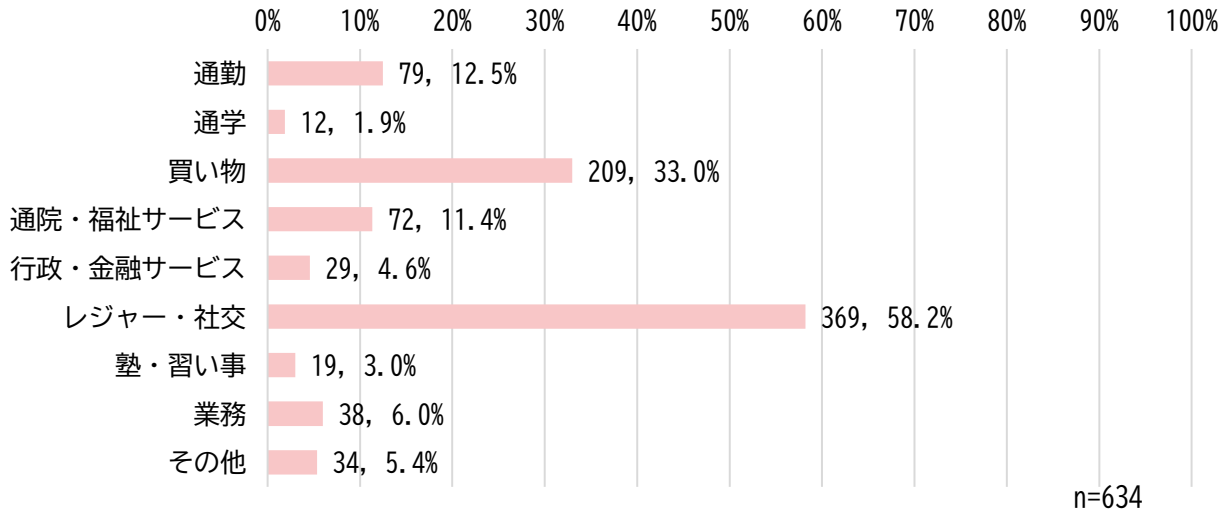


図 1-94　＜沿線＞路面電車の利用目的

3) 最寄り電停以外に利用する電停

- 最寄り電停以外に利用する電停は、駅前の割合が最も高く、約７割が回答している。

＜沿線 4-3 最寄りの電停のほかに、よく利用する電停（複数選択可）＞

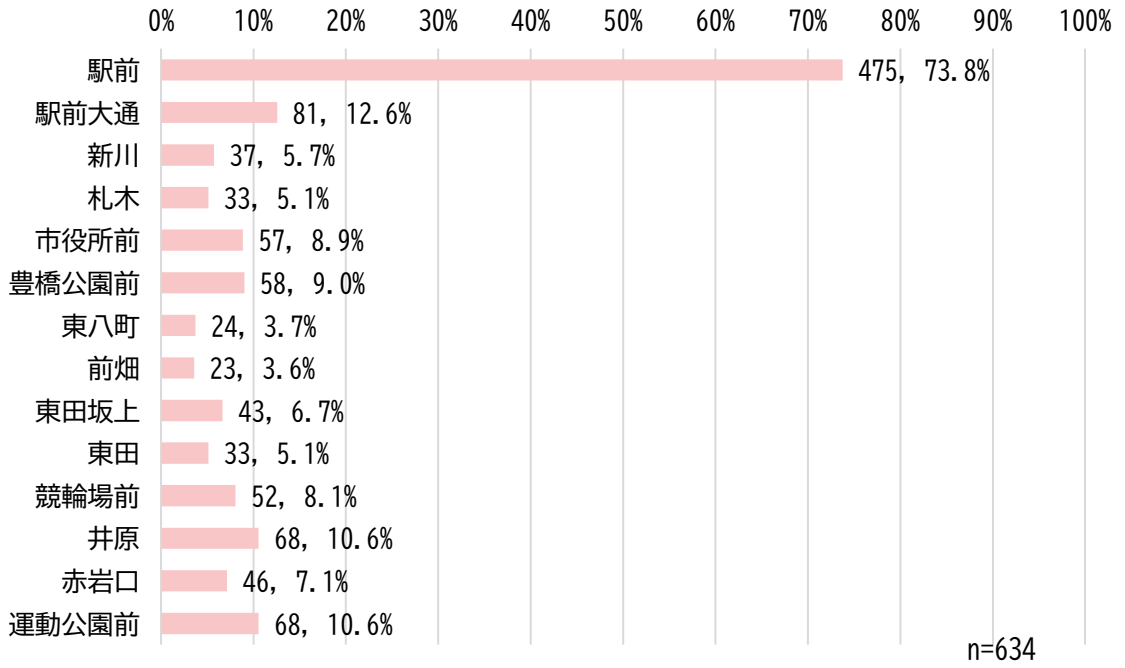


図 1-95　＜沿線＞最寄り電停以外に利用する電停

4) 路面電車を使う理由

- 路面電車を使う理由は、「自宅と電停が近いから」の割合が最も高く約５割、次いで、「運行本数が多いから」を４割が回答している。

＜沿線 4-5 路面電車を使う理由（複数選択可）＞

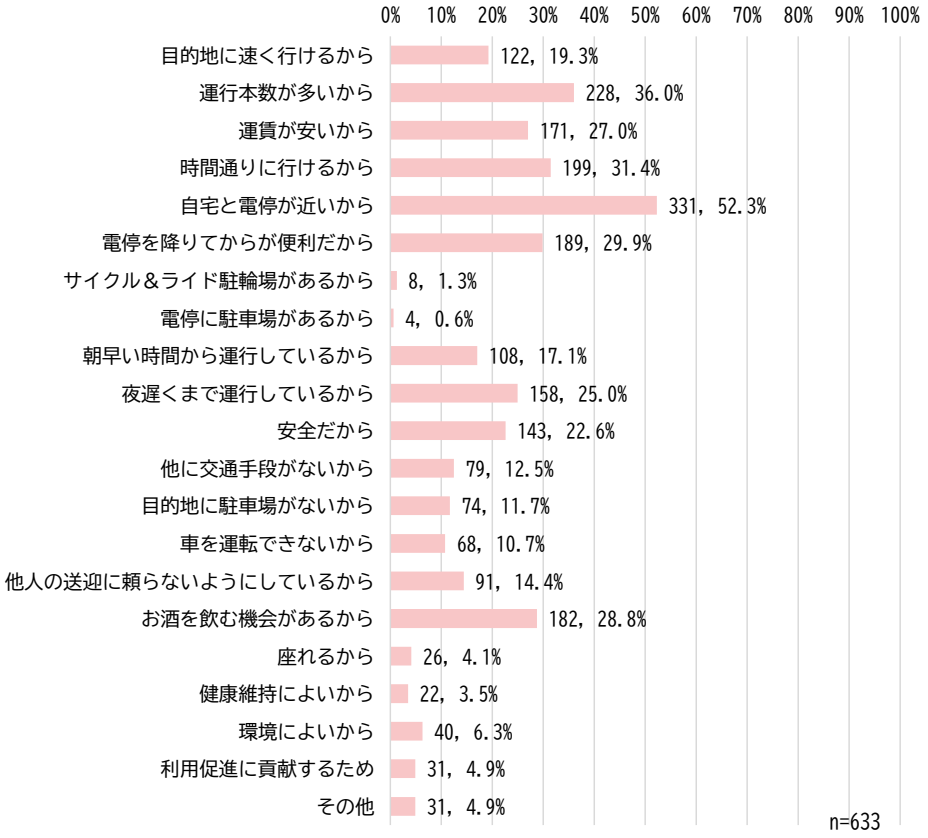


図 1-96　＜沿線＞路面電車を使う理由

5) 路面電車を使わない理由

- 路面電車を使わない理由は、「自由に利用できる車があるから」の割合が最も高く、約 1 割が回答している。

＜沿線 4-6 路面電車を使わない理由（複数選択可）＞



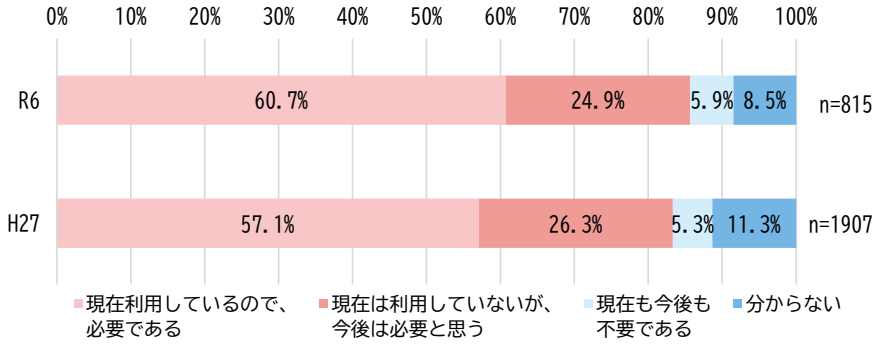
図 1-97　＜沿線＞路面電車を使わない理由

（4）路面電車の必要性

1) 回答者にとっての路面電車の必要性

- 回答者にとっての路面電車の必要性は、「現在利用しているので、必要である」の割合が最も高く約６割を占めている。
- 平成 27 年度の計画策定時と比較しても、大きな変化はない。

＜沿線 5-1 ご自身にとっての必要性＞



資料：【沿線住民アンケート】豊橋市都市・地域総合交通戦略（仮称）策定委託業務報告書（平成 27 年度）

図 1-98　回答者にとっての路面電車の必要性

① 必要と思う理由

- 必要と思う理由は、「車が使えない時の外出を支えるもの」「将来、高齢になって車が運転できなくなった時の外出を支えるもの」の割合が高く、約５割が回答している。

＜沿線 5-1(1)ご自身に必要と思う理由（複数選択可）＞

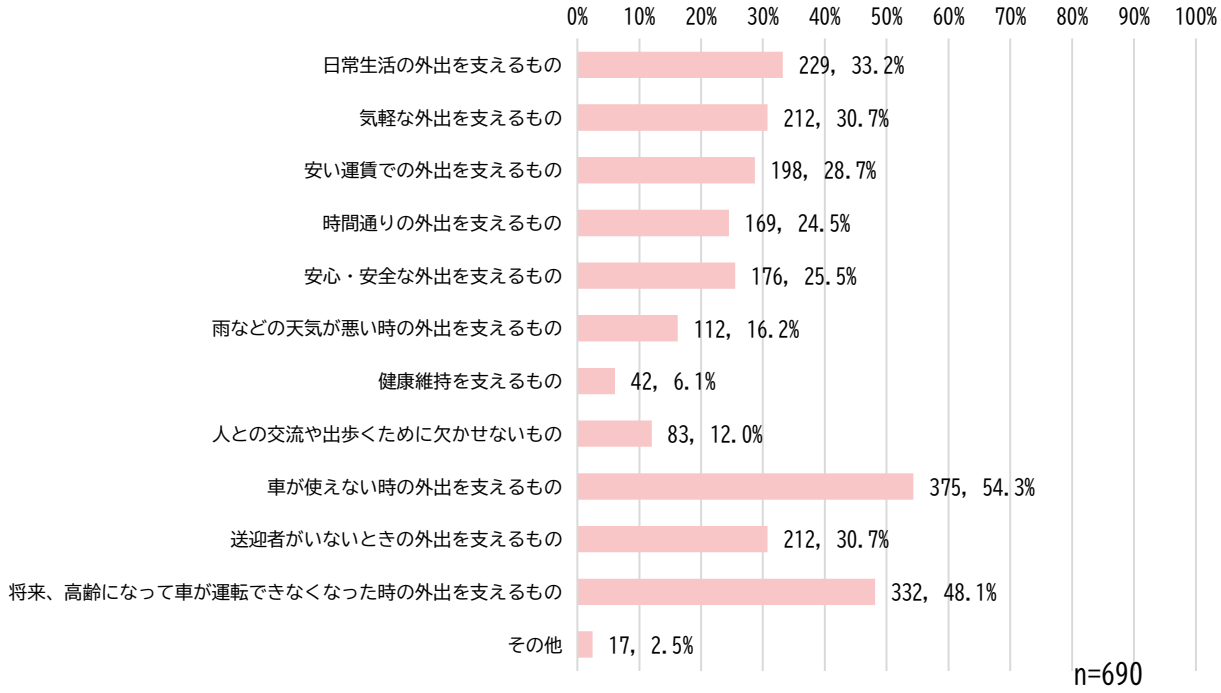


図 1-99　＜沿線＞回答者にとって路面電車が必要と思う理由

② 不要と思う理由

- 不要と思う理由は、「他の交通手段の方が便利だから」の割合が最も高く、約６割が回答している。

＜沿線 5-1(2)ご自身に不要と思う理由（複数選択可）＞

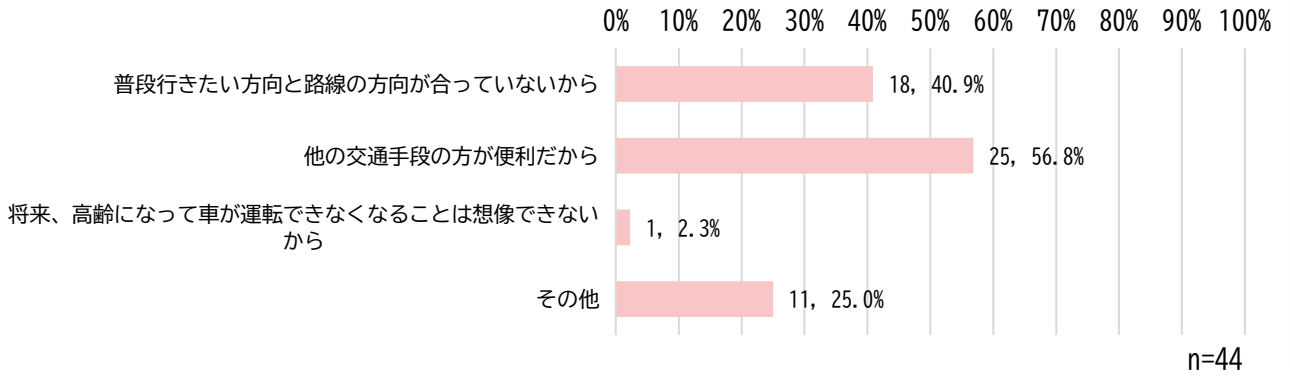
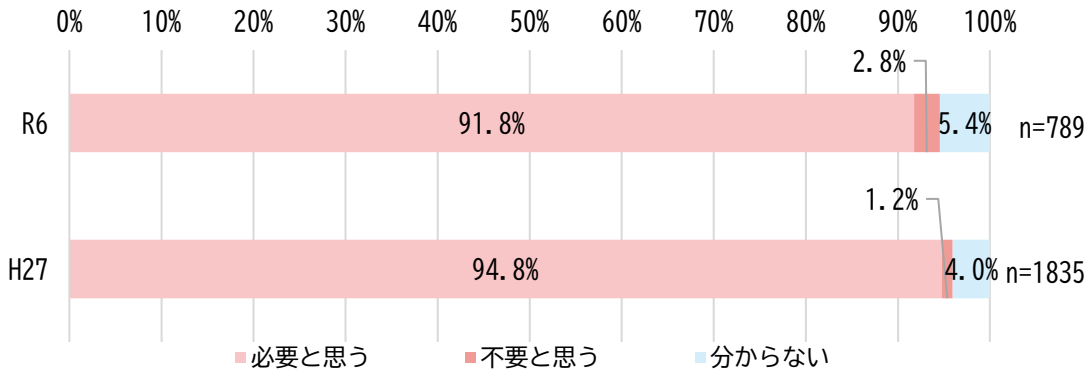


図 1-100　＜沿線＞回答者にとって路面電車が不要と思う理由

2) 地域にとっての路面電車の必要性

- 地域にとっての路面電車の必要性は、「必要と思う」が約９割を占めている。
- 平成 27 年度の計画策定時と比較しても、大きな変化はない。

＜沿線 5-2 地域にとっての必要性＞



資料：【沿線住民アンケート】豊橋市都市・地域総合交通戦略（仮称）策定委託業務報告書（平成 27 年度）

図 1-101　＜沿線＞地域にとっての路面電車の必要性

① 必要と思う理由

- 必要と思う理由は、「高齢者、車がない人、運転できない人などの移動の足を支えるものとして」の割合が最も高く、約９割が回答している。

＜沿線 5-2(1)地域に必要と思う理由（複数選択可）＞

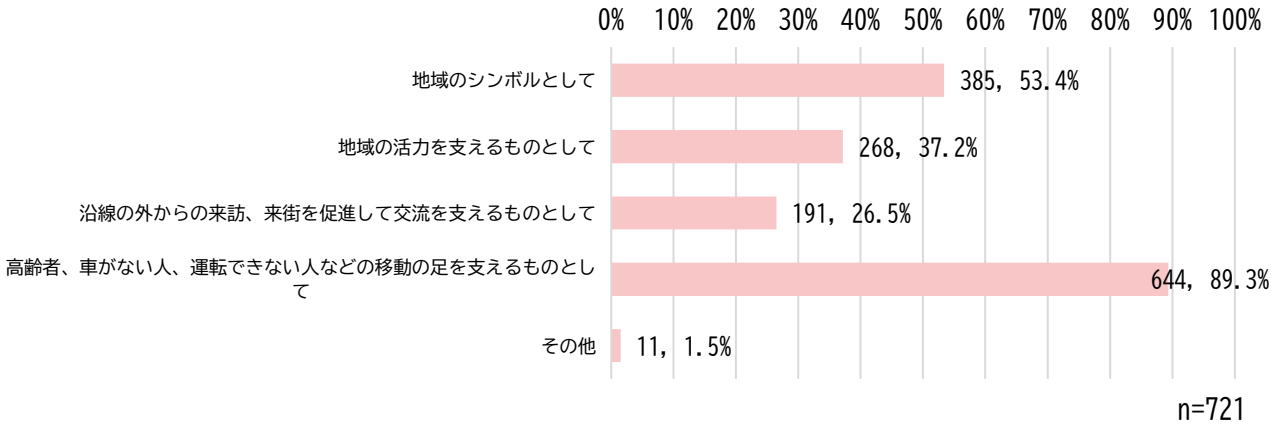


図 1-102　＜沿線＞地域にとって路面電車が必要と思う理由

② 不要と思う理由

- 不要と思う理由は、「路面電車が走る道が狭く、徒歩や自転車で通行しにくいから」の割合が最も高く、約６割が回答している。

＜沿線 5-2(2)地域に不要と思う理由（複数選択可）＞

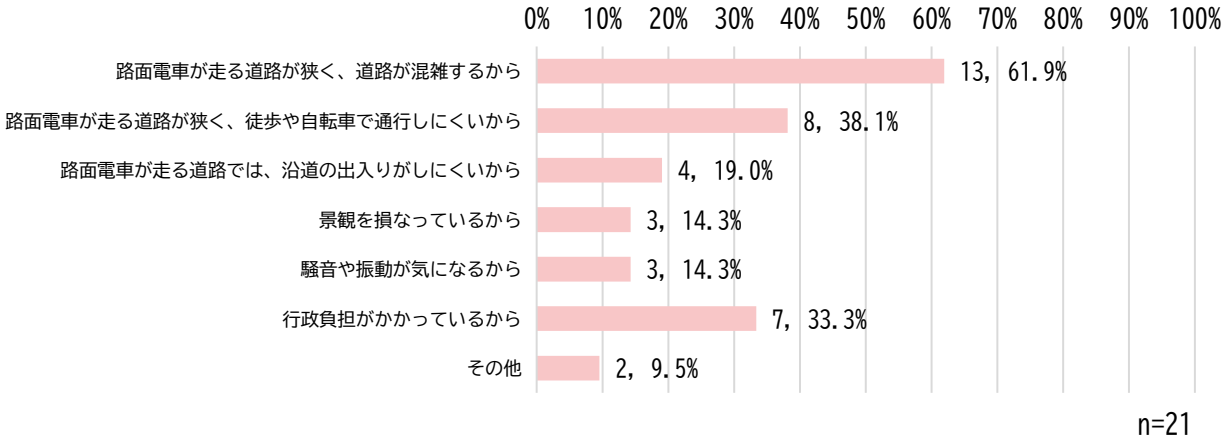


図 1-103　＜沿線＞地域にとって路面電車が不要と思う理由

(5) 路面電車の満足度･重要度

1) 満足度

【今回調査の結果】

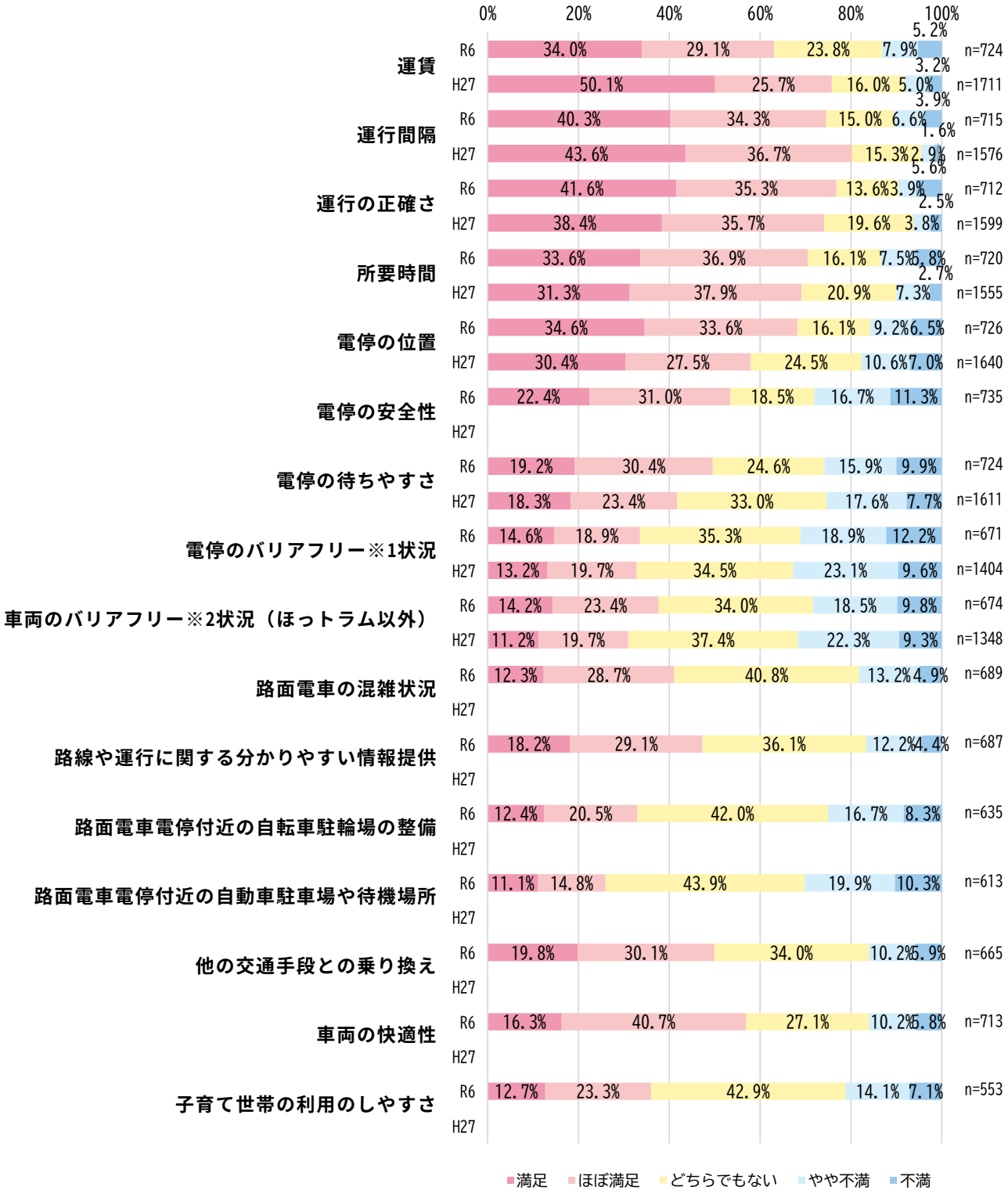
- 公共交通に対する満足度は、【路面電車の利便性】の「運行間隔」「運行の正確さ」「所要時間」で、満足とやや満足の割合が高く、７割以上となっている。
- 一方、【路面電車の利便性】の「電停のバリアフリー状況」や「路面電車電停付近の自動車駐車場や待機場所」【路面電車の魅力向上】の「車や自転車がスムーズに走れるような道路拡幅」「歩行者が快適に歩行できるような歩道整備」「沿線のにぎわい」で不満とやや不満の割合が高く、３割以上となっている。

【平成 27 年度の計画策定時との比較】

- 【路面電車の利便性】の「電停の位置」で、満足とやや満足の割合が約１割上昇しており、「運賃」「運行間隔」で、不満とやや不満の割合が約５％上昇している。

＜沿線７あなたの普段の移動などで、市内の交通施設の状況や利用のしやすさなどの現在の満足度について、該当する番号を１つ選んで○をつけてください。＞

【路面電車の利便性】



※１　スロープを設置して段差をなくすことや、車いすがすれ違えるホーム幅員にするなど。
※２　電停と出入り口の段差のない車両

資料：【沿線住民アンケート】豊橋市都市・地域総合交通戦略（仮称）策定委託業務報告書（平成 27 年度）

図 1-104　＜沿線＞路面電車の利便性の取組の満足度

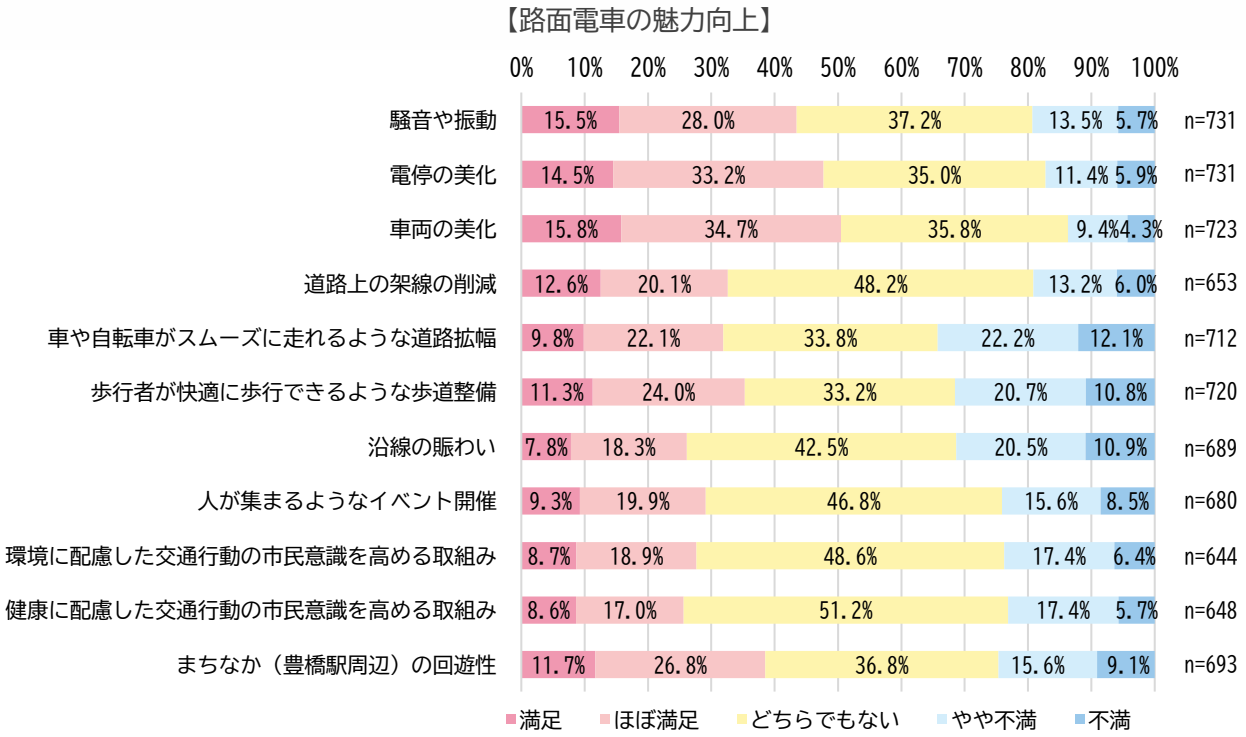
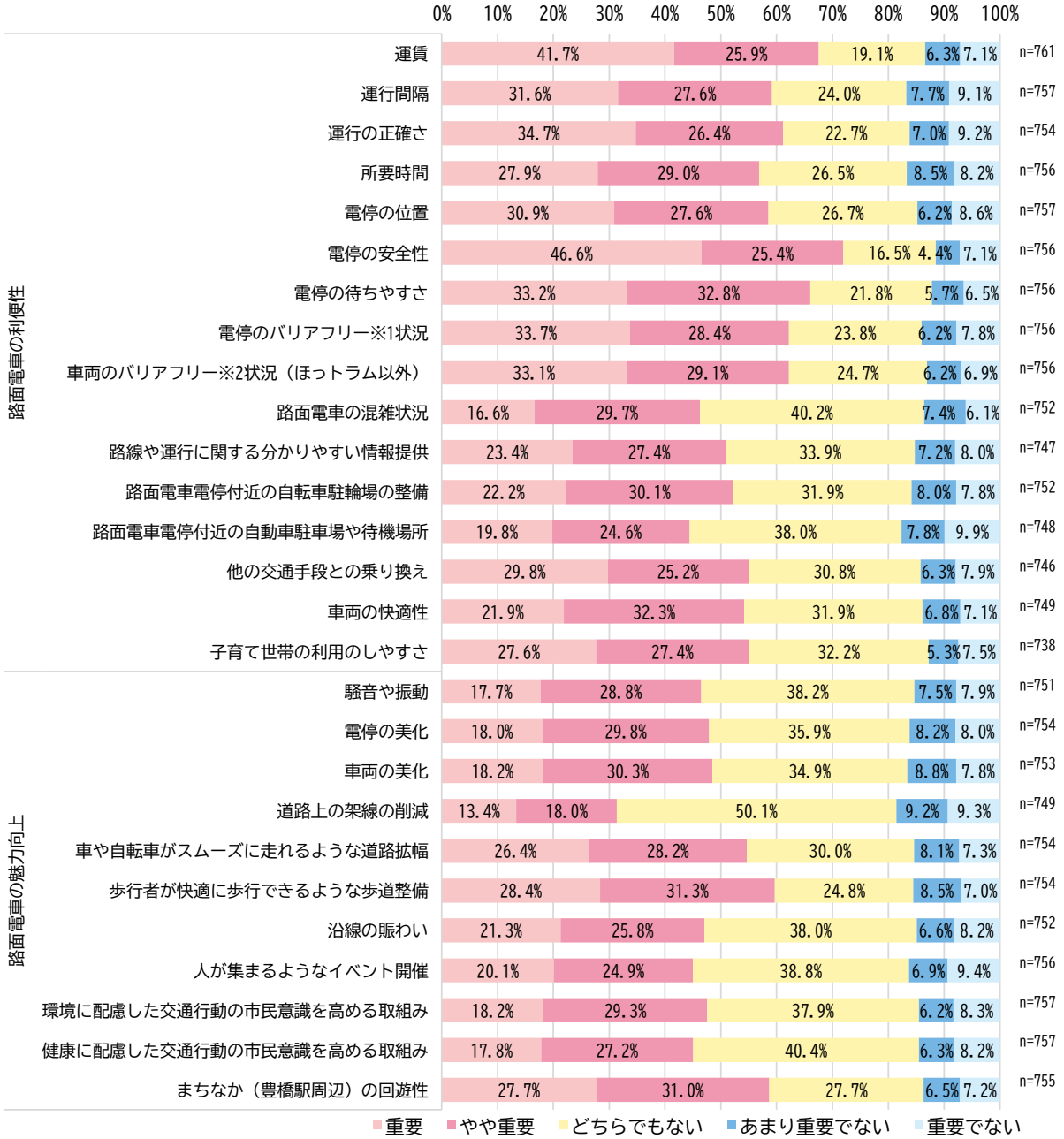


図 1-105　＜沿線＞路面電車の魅力向上の取組の満足度

2) 重要度

- 公共交通に対する重要度は、路面電車の「運賃」「電停の安全性」「歩行者が快適に歩行できるような歩道整備」で重要とやや重要の割合が高くなっている。一方、「路面電車電停付近の自動車駐車場や待機場所」「道路上の架線の削減」では重要とやや重要の割合が低くなっている。
- なお、平成 27 年度の計画策定時では、路面電車の利用者の増加や沿線の魅力を高めるために必要な取組として、「雨風がしのげる電停に改良」や「安全に待てるように電停を改良」の割合が高かった。

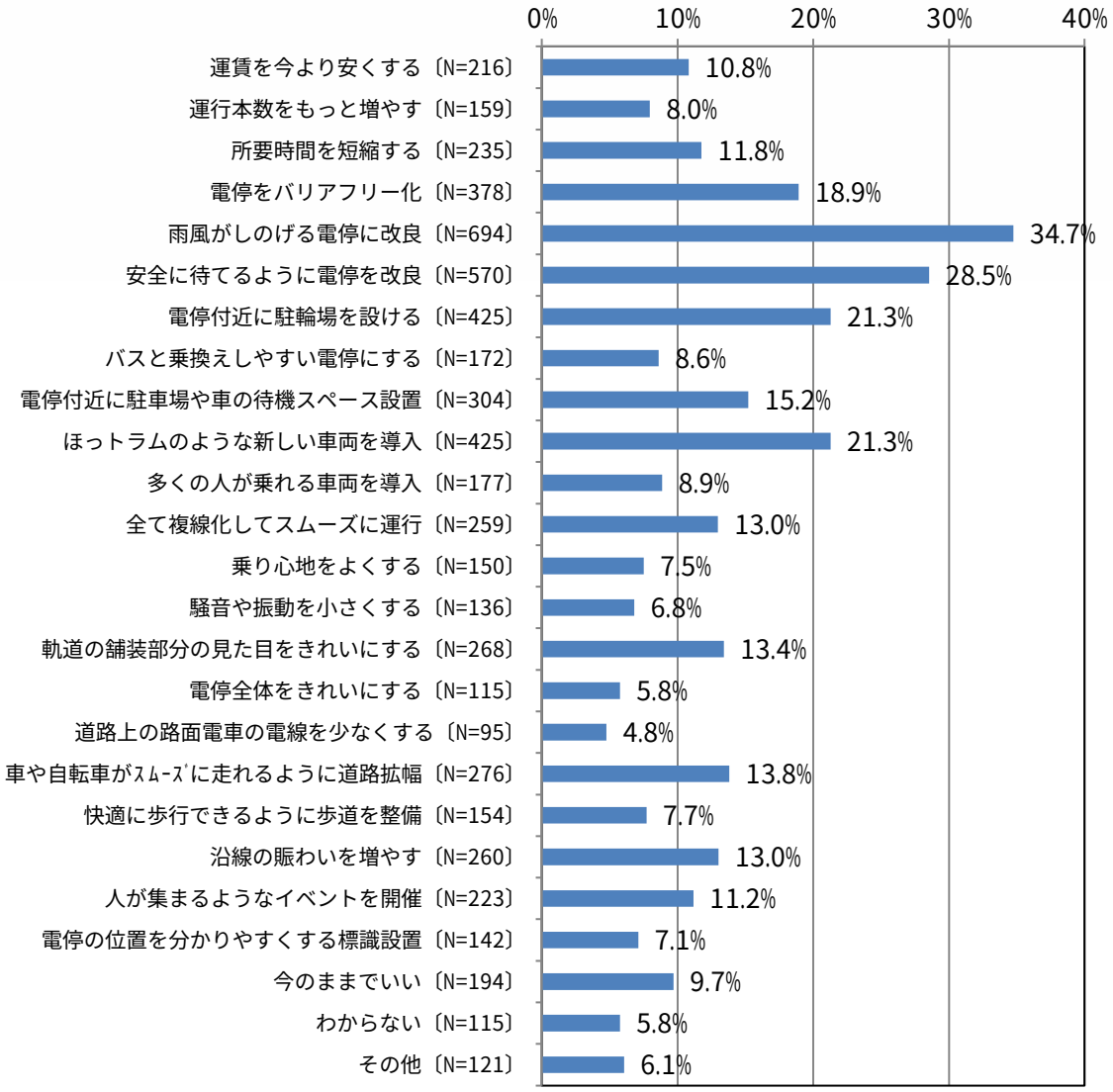
＜沿線７あなたの普段の移動などで、限られた財源の中で今後取り組むべき施策としての重要度について該当する番号を１つ選んで○をつけてください。＞



※１　スロープを設置して段差をなくすことや、車いすがすれ違えるホーム幅員にするなど。
※２　電停と出入り口の段差のない車両

図 1-106　＜沿線＞取組の重要度

＜参考：H27 沿線住民 6-1 路面電車の魅力の向上について　路面電車の利用者の増加や沿線の魅力を高めるために必要な取組について、該当するものを最大５つまで選んでください。＞



資料：豊橋市都市・地域総合交通戦略（仮称）策定委託業務報告書（平成 27 年度）

図 1-107　参考＜H27 沿線住民＞路面電車の魅力向上について

3) 満足度と重要度の関係

※満足度と重要度の関係性の考え方については、3.2（7）3)を参照

- 満足度と重要度の関係性をみると、重点改善分野のうち、特に「８ 電停のバリアフリー」「９ 車両のバリアフリー」「22 歩行者が快適に歩行できるような歩道整備」で満足度が低く、重要度が高くなっている。

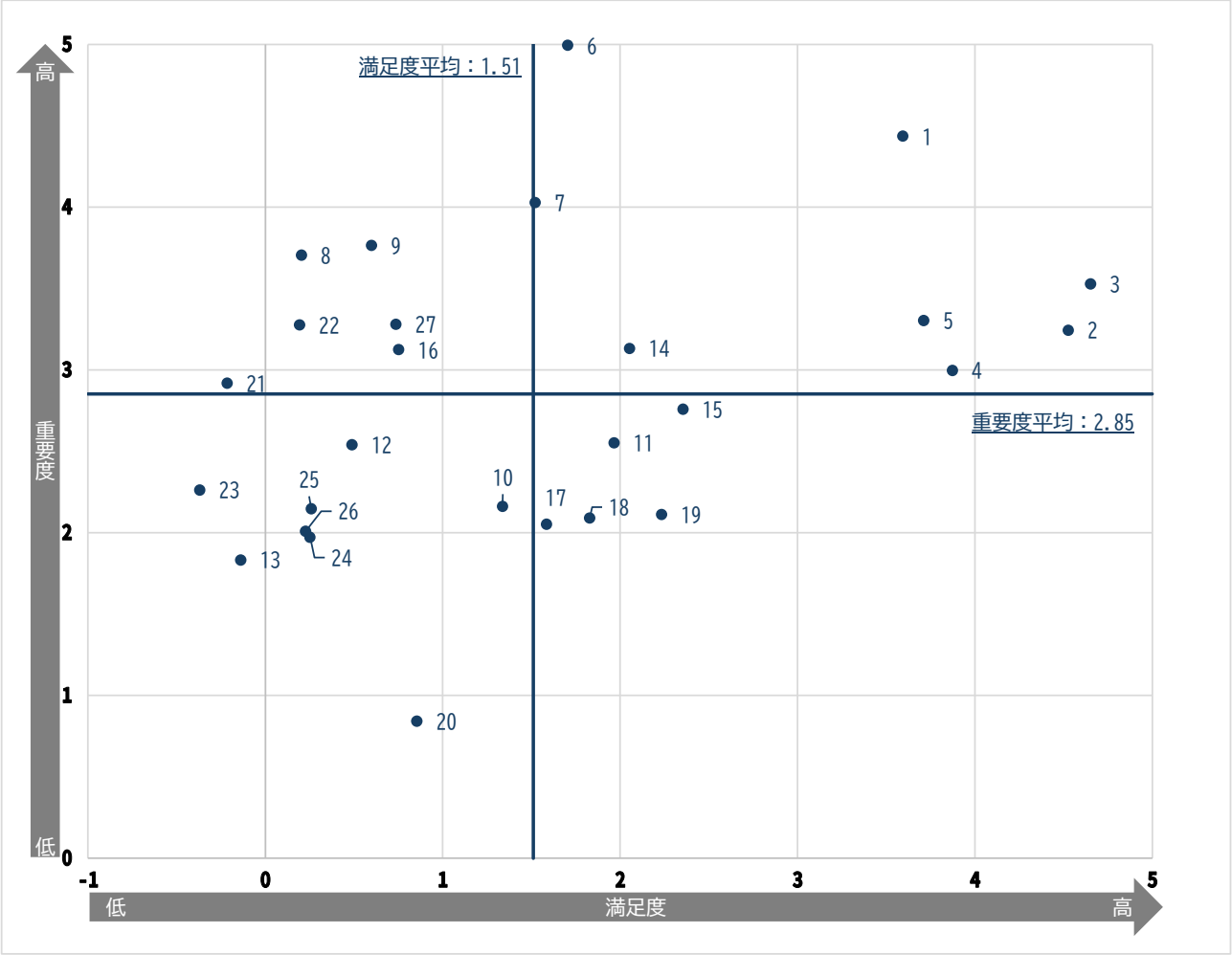


図 1-108　＜沿線＞満足度と重要度の関係性

表 1-7　＜沿線＞満足度と重要度の関係性

	項目	満足度	重要度
1	運賃	3.59	4.43
2	運行間隔	4.53	3.24
3	運行の正確さ	4.65	3.53
4	所要時間	3.87	3.00
5	電停の位置	3.71	3.30
6	電停の安全性	1.70	4.99
7	電停の待ちやすさ	1.52	4.03
8	電停のバリアフリー※状況	0.20	3.70
9	車両のバリアフリー※状況（ほっトラム以外）	0.60	3.76
10	路面電車の混雑状況	1.34	2.16
11	路線や運行に関する分かりやすい情報提供	1.97	2.55
12	路面電車電停付近の自転車駐輪場の整備	0.49	2.54
13	路面電車電停付近の自動車駐車場や待機場所	-0.14	1.83
14	他の交通手段との乗り換え	2.05	3.13
15	車両の快適性	2.36	2.76
16	子育て世帯の利用のしやすさ	0.75	3.12
17	騒音や振動	1.59	2.05
18	電停の美化	1.83	2.09
19	車両の美化	2.23	2.11
20	道路上の架線の削減	0.86	0.84
21	車や自転車がスムーズに走れるような道路拡幅	-0.21	2.92
22	歩行者が快適に歩行できるような歩道整備	0.19	3.28
23	沿線の賑わい	-0.37	2.26
24	人が集まるようなイベント開催	0.25	1.97
25	環境に配慮した交通行動の市民意識を高める取組み	0.26	2.15
26	健康に配慮した交通行動の市民意識を高める取組み	0.23	2.01
27	まちなか（豊橋駅周辺）の回遊性	0.74	3.28

※スロープを設置して段差をなくすことや、車いすがすれ違えるホーム幅員にするなど。
※電停と出入り口の段差のない車両

3.4　公共交通に関する取組のあり方について

(1)豊橋市の公共交通を共に支え育む条例

① 豊橋市の公共交通を共に支え育む条例の認知度

- 公共交通を共に支え育む条例の認知度は、約１～２割の回答者を除き、「全く知らなかった」と回答している。

＜市民 4-1、沿線 3-1　豊橋市では、市民１人ひとりが公共交通への理解と関心を深め、みんなで公共交通を維持・活性化させることを目的とした、「豊橋市の公共交通をともに支え育む条例」（平成 29 年４月１日施行）に基づき、様々な交通施策に取り組んでいます。このことについて、あなたはご存知でしたか。該当する番号を選んでください。（１つ選択）＞

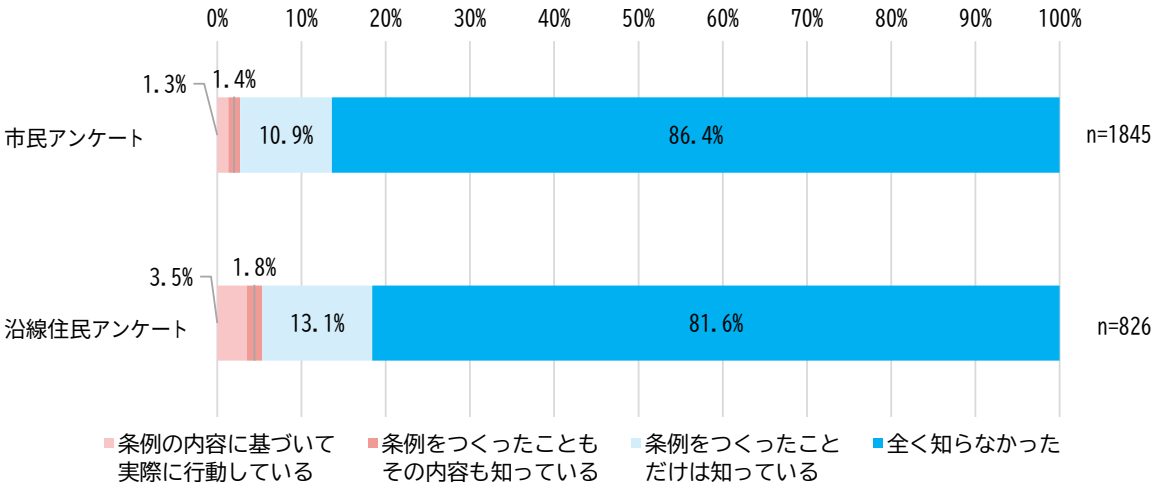


図 1-109　豊橋市の公共交通を共に支え育む条例の認知度

② 豊橋市の公共交通を共に支え育む条例に基づいた行動

- 公共交通を共に支え育む条例に基づいた行動について、市民アンケートでは「特に行動を変えようとは思わない」の割合が最も高く、約５割が回答している。沿線住民アンケートでは、「今後は公共交通への理解を深めようと思う」の割合が最も高く、約３割が回答している。

＜市民 4-2、沿線 3-2　「豊橋市の公共交通をともに支え育む条例」では、市民の役割として「公共交通への理解と関心を深めるよう努める」とともに「過度に自家用車に頼ることなく、公共交通を積極的に利用するよう努める」ことが謳われています。今後、あなたはどのように行動したいか教えてください。（複数選択可）※同封の「豊橋市の公共交通をともに支え育む条例」パンフレットの参照を促したうえで回答＞

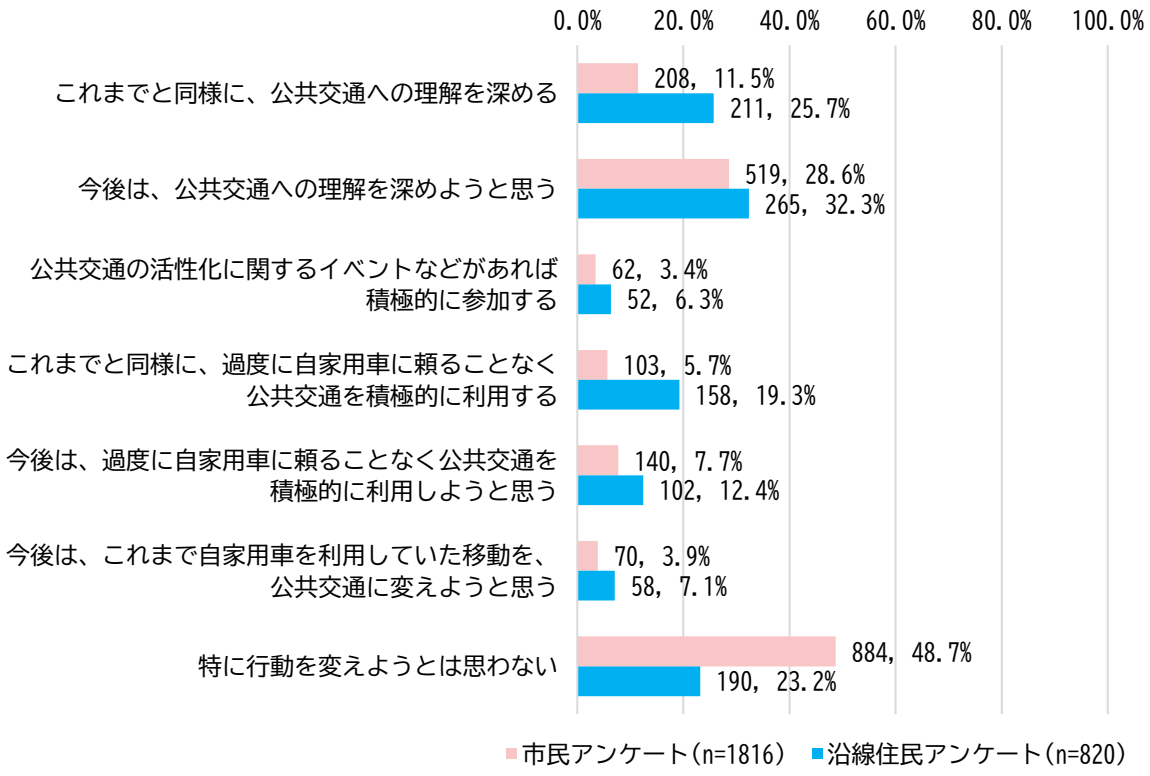


図 1-110　豊橋市の公共交通を共に支え育む条例に基づいた行動

③ 公共交通を支える方策

- 公共交通を支える方策について、市民・沿線住民アンケートともに、「現在市が公共交通に対して行っている同水準の支援を続ける」の割合が最も高く、約４～５割が回答している。

＜市民 4-3、沿線 3-3　市民とともに公共交通を支える方策について、あなたのお考えを教えてください＞

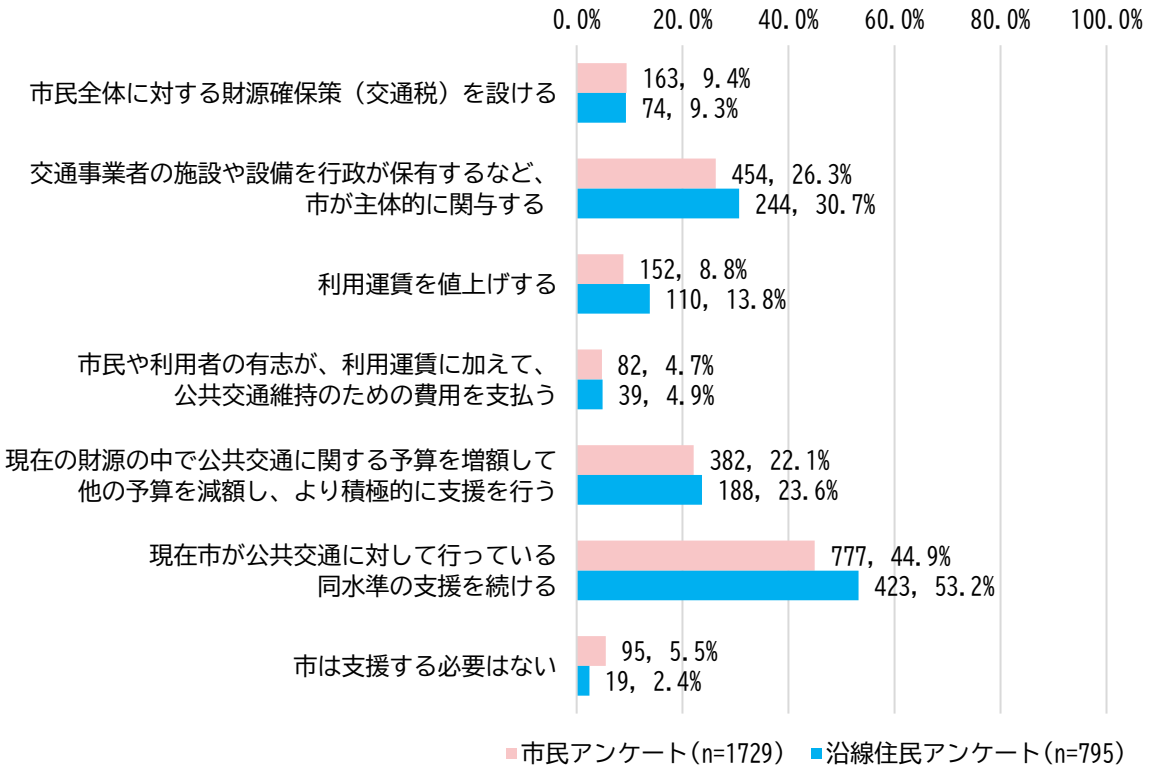


図 1-111　公共交通を支える方策について

④ 自動車に過度に依存しないための方策

- 自動車に過度に依存しないための方策について、市民・沿線住民アンケートともに「公共交通のサービスなどを高め、利用しやすくすること」の割合が最も高く、約６割が回答している。

＜市民 4-4、沿線 3-4　過度に自家用車に依存しないためには、次のうちどれが最も有効と思いますか？（２つまで選択可）＞

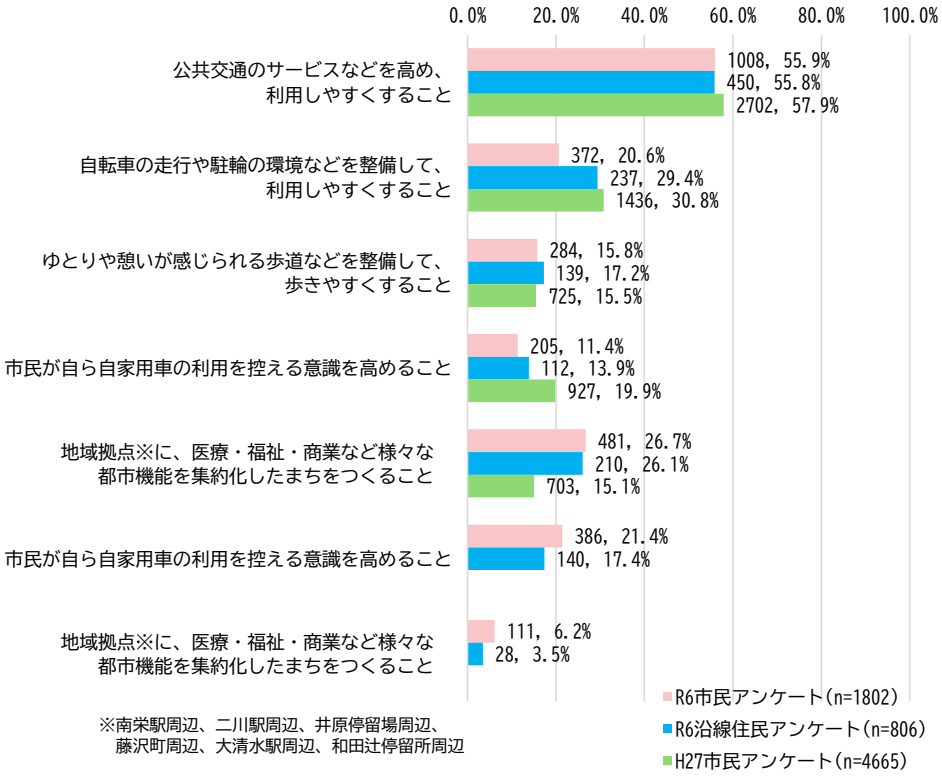


図 1-112　自動車に過度に依存しないための方策について

⑤ 公共交通を維持していくための支援

- 公共交通を維持していくための支援は、いずれの公共交通（渥美線、路面電車、路線バス）に関しても、支援について前向きな回答が半数以上を占めている。特に、沿線住民アンケートにおける路面電車への支援については、「市がより積極的に支援してでも、利便性向上のための取組を行うべき」及び「市が積極的に支援してでも、現状のサービスを維持すべき」の割合が、それぞれ約４割を占めている。

＜市民 4-5、沿線 6-1　公共交通を維持していくために、市が積極的に支援（行政負担など）を行うことについて、あなたの考えを選んでください＞

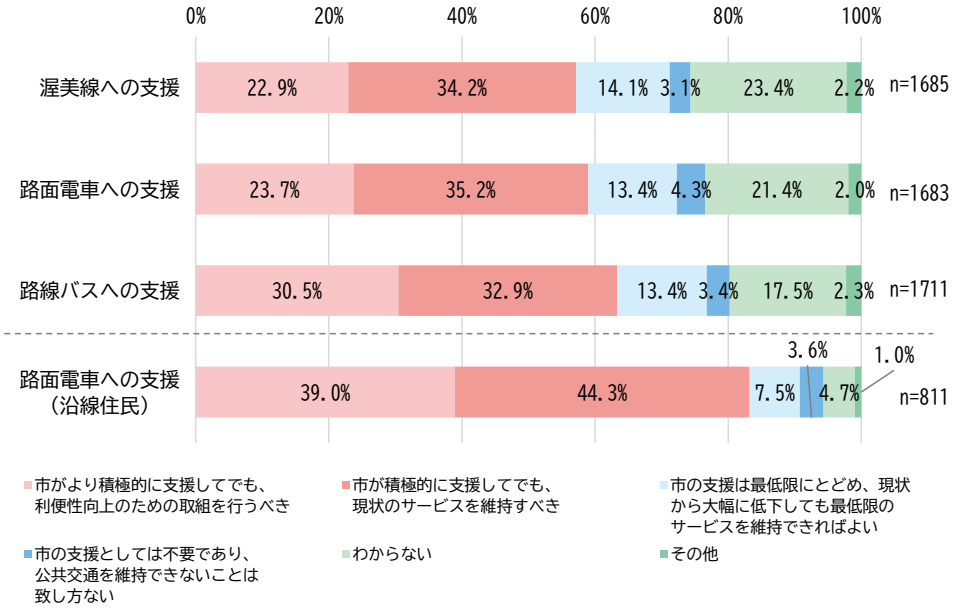
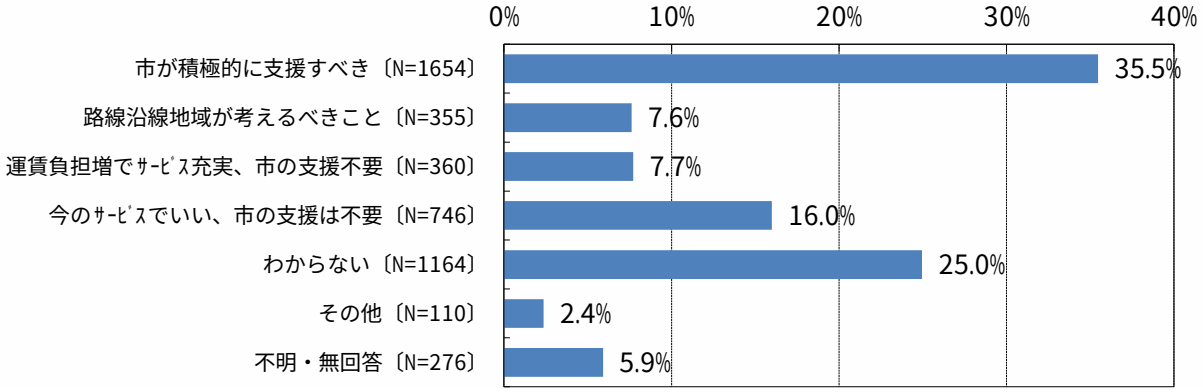


図 1-113　公共交通を維持していくための支援について

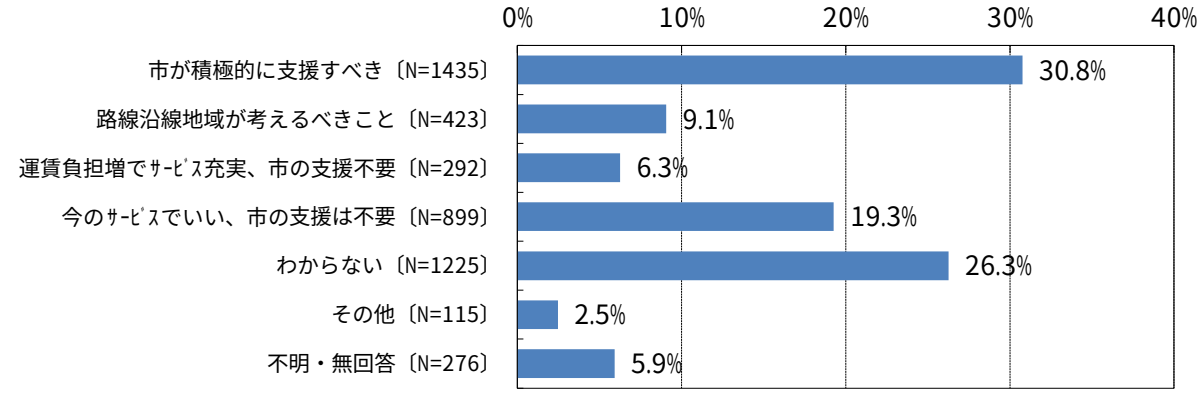
＜参考：H27 市民 6-3 路面電車への支援　今の路面電車を維持し、サービスをより充実させるために、民間交通事業者が運営している路面電車に対し、市が積極的に支援（税金投入など）を行うことについて。＞



資料：豊橋市都市・地域総合交通戦略（仮称）策定委託業務報告書（平成 27 年度）

図 1-114　参考＜H27 市民＞路面電車の維持について

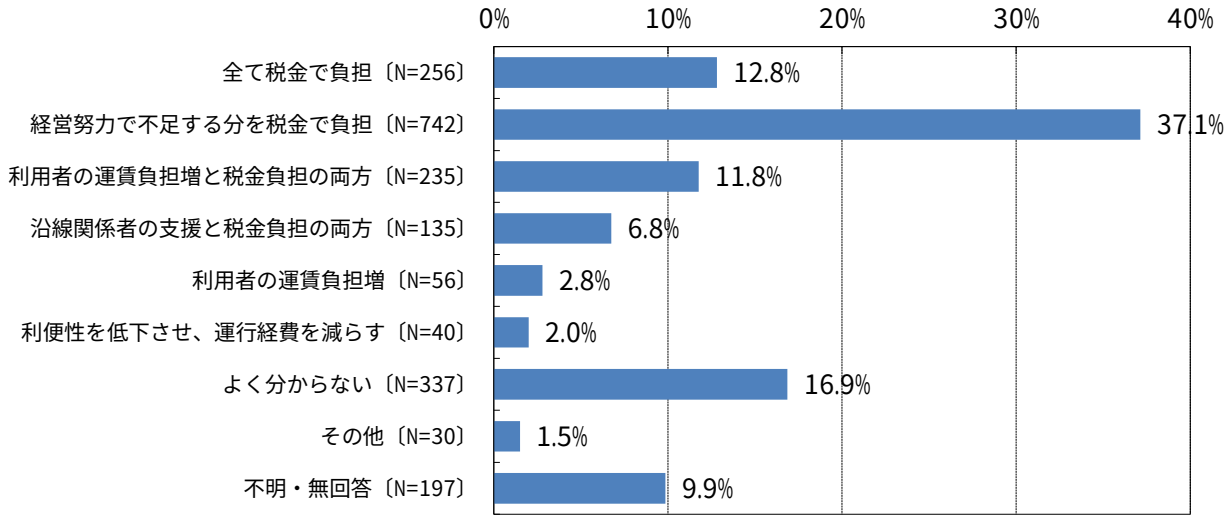
＜参考：H27 市民 6-4 バス路線への支援　現在、豊橋市ではバス路線を維持するために補助を行っていますが、豊橋駅と市内の主要な地域を結ぶバス路線のサービスをより充実させるために、市がさらに支援（税金投入など）を行うことについて。＞



資料：豊橋市都市・地域総合交通戦略（仮称）策定委託業務報告書（平成 27 年度）

図 1-115　参考＜H27 市民＞バス路線の維持について

＜参考：H27 沿線住民 6-2 整備のための行政負担について　路面電車を維持するために、電停のバリアフリー化や損傷が進む軌道敷などの整備が必要となっています。整備の負担の考え方について、当てはまる番号を１つえらんでください。＞



資料：豊橋市都市・地域総合交通戦略（仮称）策定委託業務報告書（平成 27 年度）

図 1-116　参考＜H27 沿線住民＞路面電車の維持について

(2)路面電車の必要性やあり方、価値について

- 路面電車の必要性やあり方について、市民アンケートでは「日々の通勤通学などを支える移動手段」の割合が最も高く、約４割が回答している。沿線住民アンケートでは「駅までの大事な移動手段」の割合が最も高く、約７割が回答している。

＜市民 6-1、沿線 6-2　豊橋市に路面電車があることについて、
あなたが感じる意義を選んでください。＞

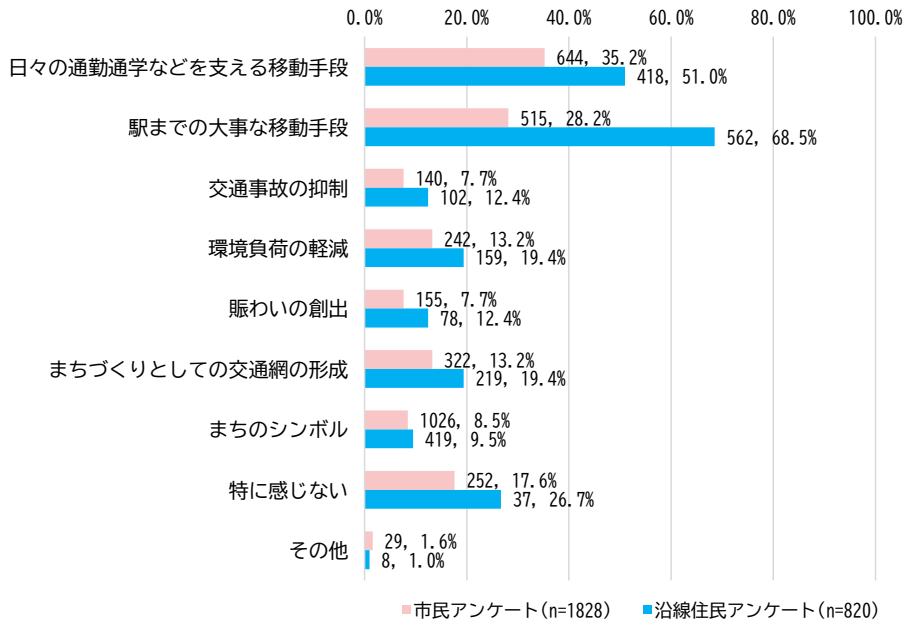
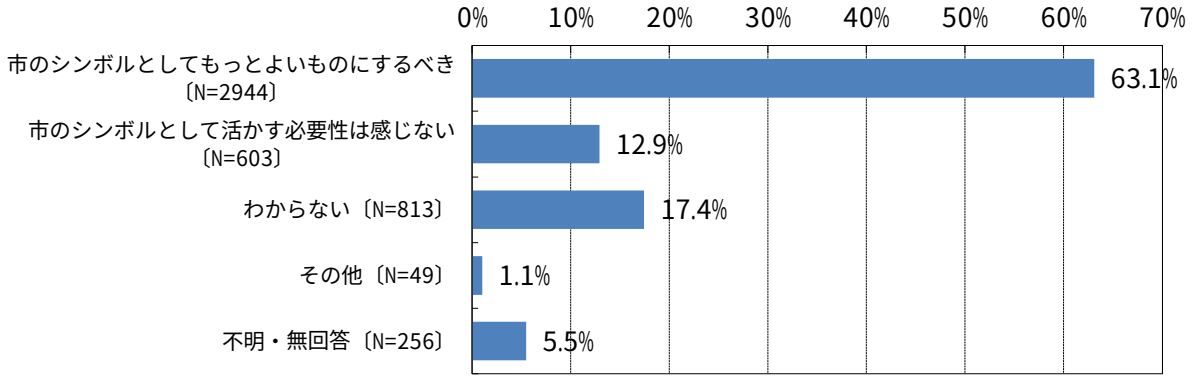


図 1-117　＜市民・沿線＞路面電車の必要性やあり方、価値

＜参考：H27 市民 6-1 路面電車のシンボルとしてのあり方　今ある路面電車を市のシンボルとして活かすことについて。＞



資料：豊橋市都市・地域総合交通戦略（仮称）策定委託業務報告書（平成 27 年度）

図 1-118　参考＜H27 市民＞路面電車のシンボルとしてのあり方

(3)運賃値上げ

- 路面電車の運賃値上げついて、市民アンケートでは「20 円の値上げまでなら良い（約 10%高)」の割合が最も高く、約３割を占めている。一方、沿線住民アンケートでは「今と同じ運賃が良い（値上げ分は行政負担で賄うべき)」の割合が最も高く、約３割を占めている。

＜市民 6-2、沿線 6-3　物価上昇などの社会情勢の変化により仮に運賃の値上げが必要となった場合、将来にわたって路面電車が安全・安心な運行を続けていくために、どのくらいの運賃であれば利用し続けようと思いますか？　　※2024 年 10 月時点の乗車運賃は 200 円＞

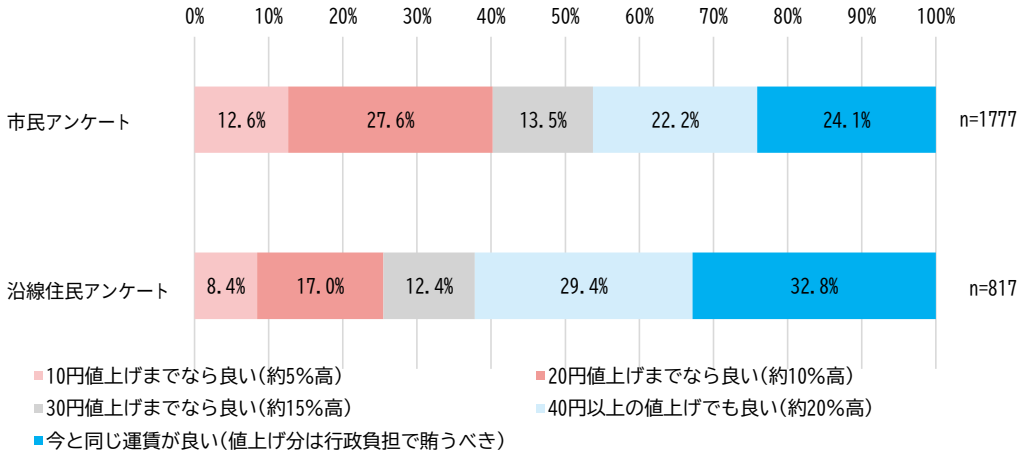


図 1-119　＜市民・沿線＞路面電車の運賃値上げについて

(4)負担金

- 路面電車の負担金について、市民・沿線住民アンケートとともに、支払わないの割合が最も高く、約３割を占めている。

＜市民 6-3、沿線 6-4　路面電車が運行し続けるために、運賃とは別で負担金（協賛金や支援金）を払うとしたら、毎月１人あたり、いくらなら支払うことができますか？＞

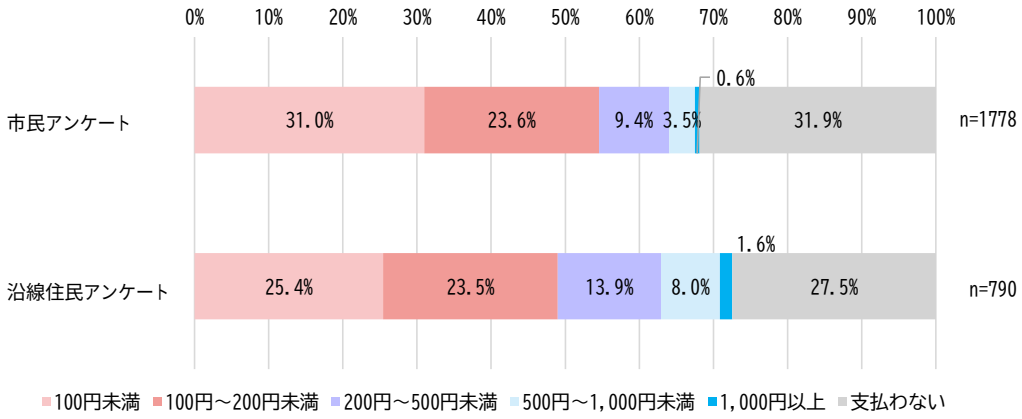


図 1-120　＜市民・沿線＞路面電車の負担金について